

# 第1部

## データ分析WGにおける検討



## 目次

I.データ分析WG 分析概要 .....	15
1. 目的.....	15
2. 実施フロー.....	15
(1)データの整理.....	15
1)分析対象データ.....	15
2)データ統合上の問題点と対応.....	21
(2)データの分析.....	22
(3)データクリーニング.....	23
(4)データ抽出結果.....	23
3. 実施体制.....	24
4. 実施経過.....	25
II.キャリア段位制度アセッサー講習受講者の「トライアル評価」分析 .....	26
1. アセッサー属性.....	26
2. 評価結果(62項目).....	28
(1)「やっていない/実施していない」比率が高いチェック項目 .....	28
(2)「できる」比率が高いチェック項目.....	29
(3)「できる」比率が低いチェック項目.....	30
(4)相関の高いチェック項目.....	32
(5)カテゴリー別.....	33
1)入浴介助(「できる」降順).....	33
2)食事介助(「できる」降順).....	34
3)排泄介助(「できる」降順).....	35
4)移乗・移動・体位変換(「できる」降順).....	36
(6)事業所別.....	37
1)入浴介助.....	37
2)食事介助.....	38
3)排泄介助.....	39
4)移乗・移動・体位変換.....	40
(7)アセッサーの介護職としての経験年数別.....	41
1)入浴介助.....	41
2)食事介助.....	42
3)排泄介助.....	43
4)移乗・移動・体位変換.....	44
III.「統合データ」分析及び「統合データトライアル評価(うちトライアル評価)」分析 .....	45

1. 属性.....	45
1)アセッサー属性.....	45
図表 27 事業所のサービス種別.....	45
2)被評価者属性.....	47
3)利用者属性.....	49
2. 評価結果(62 項目).....	52
(1)「やっていない/実施していない」比率が高いチェック項目.....	52
(2)「できる」比率が高いチェック項目.....	53
(3)「できる」比率が低いチェック項目.....	54
(4)カテゴリー別.....	55
1)入浴介助.....	55
2)食事介助.....	56
3)排泄介助.....	57
4)移乗・移動・体位変換.....	58
(5)入浴介助属性別.....	59
1)認知症高齢者の日常生活自立度別.....	59
2)被評価者の介護福祉士資格の有無別.....	60
3)被評価者の現職場の経験年数別.....	61
(6)食事介助属性別.....	62
1)認知症高齢者の日常生活自立度別.....	62
2)被評価者の介護福祉士資格の有無別.....	63
3)被評価者の現職場の経験年数別.....	64
(7)排泄介助属性別.....	65
1)認知症高齢者の日常生活自立度別.....	65
2)被評価者の介護福祉士資格の有無別.....	66
3)被評価者の現職場の勤務年数別.....	67
(8)移乗・移動・体位変換属性別.....	68
1)認知症高齢者の日常生活自立度別.....	68
2)被評価者の介護福祉士資格の有無別.....	69
3)被評価者の現職場の経験年数別.....	70
IV. 検討委員会における議論のまとめ.....	71
(1)キャリア段位制度に係わるこれまでのデータを用いた分析データの作成プロセスから得られた課題.....	71
(2)データ分析による介護技術評価項目の修正および構成変更の必要について.....	71
(3)今後の課題.....	71

# I.データ分析WG 分析概要

## 1. 目的

「キャリア段位制度」の円滑な運営を図るため、平成 23 年度「介護人材分野におけるキャリア段位制度の評価基準に係る実証事業」、平成 24 年度厚労省老人保健事業推進費等補助金「認知症の人に関わる医療・介護従事者及び家族の共通理解を図るための支援方策や研修の実態把握についての調査研究事業」、平成 24 年度「(富山県) 新人介護職員指導体制整備モデル事業」、平成 24 年及び平成 25 年度のキャリア段位制度アセッサー講習における「トライアル評価」で得られたデータの分析を行い、チェック項目について検討を行うことを目的に実施した。

## 2. 実施フロー

### (1) データの整理

#### 1) 分析対象データ

##### ①回収データ数

使用したデータは以下のとおり。

データを収集した事業名等	レコード数
(ア)平成 23 年度「介護人材分野におけるキャリア段位制度の評価基準に係る実証事業」(H23.実証事業)	1700
(イ)平成 24 年度厚労省老人保健事業推進費等補助金「認知症の人に関わる医療・介護従事者及び家族の共通理解を図るための支援方策や研修の実態把握についての調査研究事業」(H24.補助金事業)	130
(ウ)平成 24 年度「(富山県) 新人介護職員指導体制整備モデル事業」(H24. 富山モデル事業)	28
(エ)平成 24 年度キャリア段位制度アセッサー講習「トライアル評価」(H24. トライアル評価)	338
(オ)平成 25 年度キャリア段位制度アセッサー講習「トライアル評価」(H25. トライアル評価)	3102
	5298

##### ②チェック項目

異なる事業において収集しているため、トライアル評価 (エ) (オ) と他のデータには以下のような違いがあった (図表 1)。

なお、(イ) (ウ) については、5 チェック項目において、わずかに異なる表現が見られたが、回答結果に影響はないと判断し統合している (図表 2)。

(ア)	実証事業後に見直し・統合されたチェック項目について比較できない ⇒ (イ) (ウ) (エ) (オ) と共通している項目は <b>52</b> チェック項目
-----	--

図表 1 トライアル評価チェック項目と実証事業チェック項目の整理

Q	H24.H25 キャリア段位制度トライアル評価項目				H23実証事業				
	共通	中項目	小項目	チェック項目	共通	中項目	小項目	チェック項目	
1	共通	1	入浴介助	1 入浴前の確認ができる	①バイタルサインの測定や利用者へのヒアリング等による体調確認、意向確認を行い、入浴の可否について確認したか。	1	入浴介助	1 入浴前の確認ができる	①バイタルサインの測定や利用者へのヒアリング等による体調確認、意向確認を行い、入浴の可否について確認したか。
2	共通	1	入浴介助	1 入浴前の確認ができる	②バイタルサインや医療職の指示、既往歴などに基づいて、利用者の状態に応じた入浴方法が選択できたか。	1	入浴介助	1 入浴前の確認ができる	②バイタルサインや医療職の指示、既往歴などに基づいて、利用者の状態に応じた入浴方法が選択できたか。
3	新	1	入浴介助	2 衣服の着脱ができる	①体調や気候に配慮しながら、利用者の好みの洋服を選んでもらったか。				
4	新	1	入浴介助	2 衣服の着脱ができる	②スクリーンやバスタオル等を使い、プライバシーに配慮したか。				
5	新	1	入浴介助	2 衣服の着脱ができる	③脱衣の際に、健側から患側の順番で行ったか。				
6	新	1	入浴介助	2 衣服の着脱ができる	④ボタンの取り外し等、自力でできるところは自分で行うよう利用者に促したか。				
7	新	1	入浴介助	2 衣服の着脱ができる	⑤しわやたるみがないか確認したか。				
8	共通	1	入浴介助	3 洗体ができる(浴槽に入ることを含む。)	①末梢から中枢の順番で洗い、陰部は健側の手で洗ってもらったか。	1	入浴介助	9 洗体ができる(浴槽に入ることを含む。)	①末梢から中枢の順番で洗い、陰部は健側の手で洗ってもらったか。
9	新	1	入浴介助	3 洗体ができる(浴槽に入ることを含む。)	②浴槽に入る時は、利用者に手すりや浴槽の縁をつかんでもらうとともに、バランスを崩さないよう身体を支え、入浴できたか。				
10	共通	1	入浴介助	3 洗体ができる(浴槽に入ることを含む。)	③簡易リフト等、入浴機器を用いて入浴した場合、利用者の身体の位置を確認し、手が挟まれる等の事故に注意して、安全に入浴できたか。【訪問介護等は除く。】	1	入浴介助	9 洗体ができる(浴槽に入ることを含む。)	④簡易リフト等、入浴機器を用いて入浴した場合、利用者の身体の位置を確認し、手が挟まれる等の事故に注意して、安全に入浴できたか。
11	共通	1	入浴介助	3 洗体ができる(浴槽に入ることを含む。)	④入浴後、体調の確認をし、十分な水分補給ができたか。	1	入浴介助	9 洗体ができる(浴槽に入ることを含む。)	⑤入浴後、体調の確認をし、十分な水分補給ができたか。
12	共通	1	入浴介助	4 清拭ができる	①バイタルサインの測定、利用者へのヒアリング等による体調確認の結果や医療職の指示等に基づき、清拭の可否について確認したか。	1	入浴介助	12 清拭ができる	①バイタルサインの測定、利用者へのヒアリング等による体調確認を行い、清拭の可否について確認したか。
13	共通	1	入浴介助	4 清拭ができる	②スクリーンやバスタオル等を使い、プライバシーや保温に配慮したか。	1	入浴介助	12 清拭ができる	③スクリーンやバスタオル等を使い、プライバシーや保温に配慮したか。
14	共通	1	入浴介助	4 清拭ができる	③末梢から中枢の順番で洗うなど、適切な手順でできたか。	1	入浴介助	12 清拭ができる	④末梢から中枢の順番で洗うなど、適切な手順でできたか。
15	共通	2	食事介助	1 食事前の準備を行うことができる	①声を掛けたり肩を叩いたりするなどして、利用者の覚醒状態を確認したか。	2	食事介助	1 食事前の準備を行うことができる	①声を掛けたり肩を叩いたりするなどして、利用者の覚醒状態を確認したか。
16	共通	2	食事介助	1 食事前の準備を行うことができる	②嚥下障害のある利用者の食事にとろみをつけたか。	2	食事介助	1 食事前の準備を行うことができる	②嚥下障害のある利用者の食事にとろみをつけたか。
17	共通	2	食事介助	1 食事前の準備を行うことができる	③禁忌食の確認をしたか。	2	食事介助	1 食事前の準備を行うことができる	③禁忌食の確認をしたか。
18	共通	2	食事介助	1 食事前の準備を行うことができる	④飲み込むことができる食べ物の形態かどうかを確認したか。	2	食事介助	1 食事前の準備を行うことができる	④飲み込むことができる食べ物の形態を確認したか。
19	新	2	食事介助	1 食事前の準備を行うことができる	⑤食べやすい座位の位置や体幹の傾きはないか等座位の安定を確認したか。				
20	共通	2	食事介助	1 食事前の準備を行うことができる	⑥顎が引けている状態で食事が取れるようにしたか。	2	食事介助	2 座位で食事をする際の姿勢の介助ができる	②顎が引けている状態で食事が取れるようにしたか。
21	共通	2	食事介助	2 食事介助ができる	①食事の献立や中身を利用者に説明する等食欲がわくように声かけを行ったか。	2	食事介助	4 食事介助ができる	①食事の献立や中身を利用者に説明する等食欲がわくように声かけを行ったか。
22	共通	2	食事介助	2 食事介助ができる	②利用者の食べたいものを聞きながら介助したか。	2	食事介助	4 食事介助ができる	②利用者の食べたいものを聞きながら介助したか。
23	新	2	食事介助	2 食事介助ができる	③利用者と同じ目線の高さで介助し、しっかり咀嚼して飲み込んだことを確認してから次の食事を口に運んだか。				
24	共通	2	食事介助	2 食事介助ができる	④自力での摂食を促し、必要時に介助を行ったか。	2	食事介助	4 食事介助ができる	⑤自力での摂食を促し、必要時に介助を行ったか。
25	新	2	食事介助	2 食事介助ができる	⑤食事の量や水分量の記録をしたか。				
26	共通	2	食事介助	3 口腔ケアができる	①出来る利用者には、義歯の着脱、自分で磨ける部分のブラッシング、その後のうがいを行ったか。	2	食事介助	5 口腔ケアができる	①出来る利用者には、義歯の着脱、自分で磨ける部分のブラッシング、その後のうがいを促したか。
27	共通	2	食事介助	3 口腔ケアができる	②義歯の着脱の際、利用者に着脱を理解してもらい、口を大きく開けて口腔内に傷をつけないよう配慮しながら、無理なく行ったか。	2	食事介助	5 口腔ケアができる	②義歯の着脱の際、利用者に着脱を理解してもらい、口を大きく開けて口腔内に傷をつけないよう配慮しながら、無理なく行ったか。
28	共通	2	食事介助	3 口腔ケアができる	③スポンジブラシやガーゼ等を用いた清拭について、速やかにを行い、利用者に不快感を与えなかったか。	2	食事介助	5 口腔ケアができる	③スポンジブラシやガーゼ等を用いた清拭について、速やかにを行い、利用者に不快感を与えなかったか。
29	共通	2	食事介助	3 口腔ケアができる	④歯磨きや清拭の後、口腔内を確認し、磨き残し、歯茎の腫れ、出血等がないか確認したか。	2	食事介助	5 口腔ケアができる	④歯磨きや清拭の後、口腔内を確認し、磨き残し、歯茎の腫れ、出血等がないか確認したか。
30	共通	3	排泄介助	1 排泄の準備を行うことができる	①排泄の間隔を確認したか。	3	排泄介助	1 排泄の準備を行うことができる	①排泄の間隔を確認したか。
31	共通	3	排泄介助	1 排泄の準備を行うことができる	②排泄介助に当たり、介助内容を伝え、利用者の同意を得たか。	3	排泄介助	1 排泄の準備を行うことができる	②排泄介助に当たり、介助内容を伝え、利用者の同意を得たか。
32	共通	3	排泄介助	1 排泄の準備を行うことができる	③利用者のADLを把握し、排泄する上で、できる部分は利用者に行ってもらようとしたか。	3	排泄介助	1 排泄の準備を行うことができる	③利用者のADLを把握し、排泄する上で、できる部分は利用者に行ってもらようとしたか。
33	共通	3	排泄介助	2 トイレ(ポータブルトイレ)での排泄介助ができる	①トイレ(ポータブルトイレ)で、利用者の足底がついているか、前屈姿勢がとれているか等座位の安定を確認したか。	3	排泄介助	2 トイレ(ポータブルトイレ)への移乗を行うことができる	①トイレ(ポータブルトイレ)で、利用者の足底がついているか、前屈姿勢がとれているか等座位の安定を確認したか。
34	共通	3	排泄介助	2 トイレ(ポータブルトイレ)での排泄介助ができる	②トイレ(ポータブルトイレ)での排泄の際、カーテンやスクリーンを使用したり、排泄時にはその場を離れ、排泄終了時には教えてくださいと説明する等してプライバシーに配慮したか。	3	排泄介助	3 トイレ(ポータブルトイレ)での排泄介助を行うことができる	①トイレ(ポータブルトイレ)での排泄の際、カーテンやスクリーンを使用したり、排泄時にはその場を離れ、排泄終了時には教えてくださいと説明する等してプライバシーに配慮したか。
35	共通	3	排泄介助	2 トイレ(ポータブルトイレ)での排泄介助ができる	③ズボン、下着を下ろす了承を得て、支えながら下ろしたか。	3	排泄介助	2 トイレ(ポータブルトイレ)への移乗を行うことができる	②ズボン、下着を下ろす了承を得て、支えながら下ろしたか。
36	共通	3	排泄介助	2 トイレ(ポータブルトイレ)での排泄介助ができる	④排泄後、利用者にトイレトペーパー等で拭いてもらい、拭き残しがあれば清拭を行うとともに、利用者の手洗いを見守る等により清潔保持をしたか。	3	排泄介助	3 トイレ(ポータブルトイレ)での排泄介助を行うことができる	②排泄後、利用者にトイレトペーパー等で拭いてもらい、拭き残しがあれば清拭を行うとともに、利用者の手洗いを見守る等により清潔保持をしたか。
37	共通	3	排泄介助	2 トイレ(ポータブルトイレ)での排泄介助ができる	⑤失禁かトイレでの排泄かや、排泄物の量や性状について記録をしたか。	3	排泄介助	3 トイレ(ポータブルトイレ)での排泄介助を行うことができる	③失禁かトイレでの排泄かや、排泄物の量や性状について記録をしたか。
38	共通	3	排泄介助	2 トイレ(ポータブルトイレ)での排泄介助ができる	⑥排泄後、利用者の体調確認を行ったか。	3	排泄介助	3 トイレ(ポータブルトイレ)での排泄介助を行うことができる	⑤排泄後、利用者の体調確認を行ったか。
39	共通	3	排泄介助	3 おむつ交換を行うことができる	①利用者に尿意、便意の有無、排泄した感じの有無を聞き、おむつ・パッドを換えることなどの介助内容を伝え、承諾を得ているか。	3	排泄介助	5 おむつ交換を行うことができる	①利用者に尿意、便意の有無、排泄した感じの有無を聞き、おむつ・パッドを換えることなどの介助内容を伝え、承諾を得ているか。
40	共通	3	排泄介助	3 おむつ交換を行うことができる	②おむつ・パッド交換の際、カーテンやスクリーンを使用する等してプライバシーに配慮したか。	3	排泄介助	5 おむつ交換を行うことができる	②おむつ・パッド交換の際、カーテンやスクリーンを使用する等してプライバシーに配慮したか。
41	共通	3	排泄介助	3 おむつ交換を行うことができる	③おむつ・パッドを装着後、衣服、寝具等にわがないように整えたか。	3	排泄介助	5 おむつ交換を行うことができる	④おむつ・パッドを装着後、衣服、寝具等にわがないように整えたか。
42	共通	3	排泄介助	3 おむつ交換を行うことができる	④排泄時刻、排泄物の量や性状の異常について記録をしたか。	3	排泄介助	5 おむつ交換を行うことができる	⑤排泄時刻、排泄物の量や性状、陰部部の皮膚の異常について記録をしたか。
43	共通	4	移乗・移動・体位変換	1 起居の介助ができる	①起きる前に、利用者の疾病等に応じて、体調や顔色を確認したか。	1	入浴介助	2 起居の介助ができる	①起きる前に、利用者に体調確認をしたか。
44	共通	4	移乗・移動・体位変換	1 起居の介助ができる	②全介助が必要な利用者の上体がカーブを描くように起こしたか。	1	入浴介助	2 起居の介助ができる	②全介助が必要な利用者の上体がカーブを描くように起こしたか。
45	共通	4	移乗・移動・体位変換	1 起居の介助ができる	③一部介助が必要な利用者について、足を曲げてもらう、柵をつかんでもらう等利用者の残存機能を活かしながら起居の支援を行ったか。	1	入浴介助	2 起居の介助ができる	③一部介助が必要な利用者について、足を曲げてもらう、柵をつかんでもらう等利用者の残存機能を活かしながら起居の支援を行ったか。
46	共通	4	移乗・移動・体位変換	1 起居の介助ができる	④利用者を側臥位にし、テコの原理を活用しながら、無理のない起居の介助を行ったか。	1	入浴介助	2 起居の介助ができる	④利用者を側臥位にし、テコの原理を活用しながら、無理のない起居の介助を行ったか。
47	共通	4	移乗・移動・体位変換	2 一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる	①介助を始める前に、車いすのフットレスト(フットサポート)やブレーキに動作不良がないか、車いすにブレーキがかかっているか、フットレスト(フットサポート)が上がっているか、タイヤの空気が十分かを予め確認したか。	1	入浴介助	3 一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる	①介助を始める前に、車いすのフットレスト(フットサポート)やブレーキに動作不良がないか、車いすにブレーキがかかっているか、フットレスト(フットサポート)が上がっているか、タイヤの空気が十分かを予め確認したか。
48	共通	4	移乗・移動・体位変換	2 一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる	②利用者に健側の手でベッドから遠い方のアームレスト(アームサポート)をつかんでもらう、患側を保護しながら前傾姿勢で立ちあがるよう、声かけ、介助を行ったか。	1	入浴介助	3 一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる	④利用者に健側の手でベッドから遠い方のアームレスト(アームサポート)をつかんでもらう、患側を保護しながら前傾姿勢で立ちあがるよう、声かけ、介助を行ったか。
49	共通	4	移乗・移動・体位変換	2 一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる	③利用者の健側の足を軸にして体を回転させて、車いすに移乗することができたか。	1	入浴介助	3 一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる	⑥利用者の健側の足を軸にして体を回転させて、車いすに移乗することができたか。
50	共通	4	移乗・移動・体位変換	2 一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる	④スライディングボードやスライディングシート等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。	1	入浴介助	3 一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる	⑦スライディングボードやスライディングシート等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。
51	共通	4	移乗・移動・体位変換	3 全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる	①介助を始める前に、車いすのフットレスト(フットサポート)やブレーキに動作不良がないか、車いすにブレーキがかかっているか、フットレスト(フットサポート)が上がっているか、タイヤの空気が十分かを予め確認したか。	1	入浴介助	4 全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる	①介助を始める前に、車いすのフットレスト(フットサポート)やブレーキに動作不良がないか、車いすにブレーキがかかっているか、フットレスト(フットサポート)が上がっているか、タイヤの空気が十分かを予め確認したか。
52	共通	4	移乗・移動・体位変換	3 全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる	②移乗がしやすいよう、ベッドの高さを調整するとともに、利用者の足底がついた状態での介助を行ったか。	1	入浴介助	4 全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる	③移乗がしやすいよう、ベッドの高さを調整するとともに、利用者の足底がついた状態での介助を行ったか。
53	共通	4	移乗・移動・体位変換	3 全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる	③利用者の体と密着させる。利用者の腰に手を回す、利用者に介護者の肩に手をまわしてもらう等、移乗がしやすい体勢をとったか。	1	入浴介助	4 全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる	④利用者の体と密着させる。利用者の腰に手を回す、利用者に介護者の肩に手を回してもらう等、移乗がしやすい体勢をとったか。
54	共通	4	移乗・移動・体位変換	3 全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる	④利用者の体をゆっくりと回転させ、車いすに深く座らせることができたか。	1	入浴介助	4 全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる	⑥利用者の体をゆっくりと回転させ、車いすに深く座らせることができたか。
55	共通	4	移乗・移動・体位変換	3 全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる	⑤移乗用リフト等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。	1	入浴介助	4 全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる	⑦移乗用リフト等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。
56	共通	4	移乗・移動・体位変換	4 杖歩行の介助ができる	①利用者の杖を持つ手と反対側のやや斜め後ろに立ったか。	1	入浴介助	6 杖歩行の介助ができる	②利用者の杖を持つ手と反対側のやや斜め後ろに立ったか。
57	新	4	移乗・移動・体位変換	4 杖歩行の介助ができる	②二動作歩行や三動作歩行の声かけを行えたか。				
58	共通	4	移乗・移動・体位変換	4 杖歩行の介助ができる	③急がせず、利用者のペースに合った介助・誘導を行ったか。	1	入浴介助	6 杖歩行の介助ができる	④急がせず、利用者のペースに合った介助・誘導を行ったか。
59	共通	4	移乗・移動・体位変換	5 体位変換ができる	①利用者の膝を立て、テコの原理を活用しながら、体位変換したか。	3	排泄介助	4 体位変換ができる	①利用者の膝を立て、テコの原理を活用しながら、体位変換したか。
60	共通	4	移乗・移動・体位変換	5 体位変換ができる	②横向きになることができる人には自力で横にならしてもらったり、膝を自分で曲げられる人には自分で曲げてもらうなど、利用者の残存機能を活かしながら体位変換したか。	3	排泄介助	4 体位変換ができる	③横向きになることができる人には自力で横にならしてもらったり、膝を自分で曲げられる人には自分で曲げてもらうなど、利用者の残存機能を活かしながら体位変換したか。
61	共通	4	移乗・移動・体位変換	5 体位変換ができる	③ベッドの下の方にずり落ちた場合には姿勢を正すなど、身体に摩擦を与えないように体位変換したか。	3	排泄介助	4 体位変換ができる	④ベッドの下の方にずり落ちた場合には姿勢を正すなど、身体に摩擦を与えないように体位変換したか。
62	共通	4	移乗・移動・体位変換	5 体位変換ができる	④体位変換後、クッションやタオルなどを使用し、安楽な体位保持への介助を行ったか。	3	排泄介助	4 体位変換ができる	⑤体位変換後、クッションやタオルなどを使用し、安楽な体位保持への介助を行ったか。

Q	H24.H25 キャリア段位制度トライアル評価項目				H23実証事業				
	実施年度	実施期	中項目	小項目	実施年度	実施期	中項目	小項目	チェック項目
	実証事業				1		入浴介助	3	一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ②利用者の健側かつ、利用者の手がアームレスト(アームサポート)に届く位置に車いすを配置したか(ベッドの配置等で困難な場合は、利用者の手がアームレスト(アームサポート)に届く範囲に配置したか)。 ③利用者の患側に立ち、利用者の足底がきちんとついた状態で介助を行ったか。
	実証事業				1		入浴介助	3	一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ⑤利用者の患側の膝折れが起こらないよう手で支える等、バランスが崩れないよう支え、立ち上がり介助したか。
	実証事業				1		入浴介助	4	全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ②利用者や介護者の体の大きさ等を勘案し、ベッドと車いすの角度が15～45度となる範囲で安全に移乗できる位置に車いすを配置したか。
	実証事業				1		入浴介助	4	全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ⑤利用者に前傾姿勢をとらせ、利用者の体をゆっくりと引き寄せながら立ち上がることができたか。
	実証事業				1		入浴介助	5	車いすの移動ができる ①事故防止の観点から、利用者の足がフットレストに、健側の手がアームレスト(アームサポート)に乗っているか、患側の手が膝の上に乗っているかを確認し、安全を確認したか。
	実証事業				1		入浴介助	5	車いすの移動ができる ②段差や道幅、往来等を考慮しながら、安全な進路を選択して移動したか。
	実証事業				1		入浴介助	6	杖歩行の介助ができる ①利用者の歩く方向を確認しながら、段差等の安全に対するリスクを考慮し、予め利用者へ声かけをしたか。
	実証事業				1		入浴介助	6	杖歩行の介助ができる ③利用者に片まひがある場合、二動作歩行や三動作歩行の声かけを行えたか。
	実証事業				1		入浴介助	7	一部介助が必要な利用者の衣服の着脱ができる ①体調や気候に配慮しながら、利用者の好みの洋服を選んでもらったか。
	実証事業				1		入浴介助	7	一部介助が必要な利用者の衣服の着脱ができる ②スクリーン等を使い、プライバシーに配慮したか。
	実証事業				1		入浴介助	7	一部介助が必要な利用者の衣服の着脱ができる ③前開き衣類の脱衣の際に、健側から患側の順番で行ったか。
	実証事業				1		入浴介助	7	一部介助が必要な利用者の衣服の着脱ができる ④前開き衣類の着衣の際に、患側から健側の順番で行ったか。
	実証事業				1		入浴介助	7	一部介助が必要な利用者の衣服の着脱ができる ⑤③④の場合、ボタンの取り外し等、自力でできるところは自分で行うよう利用者に促したか。
	実証事業				1		入浴介助	7	一部介助が必要な利用者の衣服の着脱ができる ⑥しわやたるみがないか確認したか。
	実証事業				1		入浴介助	8	全介助が必要な利用者の衣服の着脱ができる ①体調や気候に配慮しながら、利用者の好みの洋服を選んでもらったか。
	実証事業				1		入浴介助	8	全介助が必要な利用者の衣服の着脱ができる ②スクリーン等を使い、プライバシーに配慮したか。
	実証事業				1		入浴介助	8	全介助が必要な利用者の衣服の着脱ができる ③かぶり上衣の脱衣の際に、健側から患側の順番で行ったか。
	実証事業				1		入浴介助	8	全介助が必要な利用者の衣服の着脱ができる ④かぶり上衣の着衣の際に、患側から健側の順番で行ったか。
	実証事業				1		入浴介助	8	全介助が必要な利用者の衣服の着脱ができる ⑤しわやたるみがないか確認したか。
	実証事業				1		入浴介助	9	洗体ができる(浴槽に入ることを含む。) ②利用者に片まひがある場合、浴槽に入る時は、バランスを気をつけながら、介護者が片手を胸にまわし、患足をもう一方の手で介助して、健側の足から入浴できたか。
	実証事業				1		入浴介助	9	洗体ができる(浴槽に入ることを含む。) ③利用者に片まひがある場合、浴槽から出る時は、バランスを崩さないよう、ゆっくり立ち上がり、介護者が片手をしっかりと胸に回し、健側の足を出して床面につけ、次に患側の足を出すことができたか。
	実証事業				1		入浴介助	10	一部介助が必要な利用者のベッドへの移乗ができる ①介助を始める前に、車いすにブレーキがかかっているか、フットレスト(フットサポート)から足が降りているか、フットレスト(フットサポート)が上がっているかを確認したか。
	実証事業				1		入浴介助	10	一部介助が必要な利用者のベッドへの移乗ができる ②利用者の健側がベッド側となるよう、かつ、移乗する際に活用できる欄等が手の届く位置に車いすを配置したか(ベッドの配置等で困難な場合は、移乗の際に活用できる欄等が手の届く範囲に車いすを配置したか)。 ③利用者の患側に立ち、利用者の足底がきちんとついた状態で介助を行ったか。
	実証事業				1		入浴介助	10	一部介助が必要な利用者のベッドへの移乗ができる ④利用者に健側の手で欄をつかんでもらい、患側を保護しながら前傾姿勢で立ちあがるよう、声かけ、介助を行ったか。(欄を使用していない場合には、健側の手をベッドの健側の膝より高い位置についてもらい、患側を保護しながら立ちあがるよう、声かけ、介助を行ったか。)
	実証事業				1		入浴介助	10	一部介助が必要な利用者のベッドへの移乗ができる ⑤利用者の患側の膝折れが起こらないよう手で支える等、バランスが崩れないよう支え、立ち上がり介助したか。
	実証事業				1		入浴介助	10	一部介助が必要な利用者のベッドへの移乗ができる ⑥利用者の健側の足を軸にして体を回転させて、ベッドに座ることができたか。
	実証事業				1		入浴介助	10	一部介助が必要な利用者のベッドへの移乗ができる ⑦スライディングボードやスライディングシート等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。
	実証事業				1		入浴介助	11	全介助が必要な利用者のベッドへの移乗ができる ①介助を始める前に、車いすにブレーキがかかっているか、フットレスト(フットサポート)から足が降りているか、フットレスト(フットサポート)が上がっているかを確認したか。
	実証事業				1		入浴介助	11	全介助が必要な利用者のベッドへの移乗ができる ②利用者や介護者の体の大きさ等を勘案し、ベッドと車いすの角度が15～45度となる範囲で安全に移乗できる位置に車いすを配置したか。
	実証事業				1		入浴介助	11	全介助が必要な利用者のベッドへの移乗ができる ③移乗がしやすいよう、ベッドの高さを調整し、利用者の足底がついた状態で介助を行ったか。
	実証事業				1		入浴介助	11	全介助が必要な利用者のベッドへの移乗ができる ④利用者の体と密着させる、利用者の腰に手を回す、利用者に介護者の肩に手を回してもらう等、移乗がしやすい体勢をとったか。
	実証事業				1		入浴介助	11	全介助が必要な利用者のベッドへの移乗ができる ⑤利用者に前傾姿勢をとらせ、利用者の体をゆっくりと引き寄せながら立ち上がることができたか。
	実証事業				1		入浴介助	11	全介助が必要な利用者のベッドへの移乗ができる ⑥利用者の体をゆっくりと回転させ、ベッドに座らせることができたか。
	実証事業				1		入浴介助	11	全介助が必要な利用者のベッドへの移乗ができる ⑦移乗用リフト等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。
	実証事業				1		入浴介助	12	清拭ができる ②バイタルサインや医療職の指示、既往歴などに基づいて、利用者の状態に応じた清拭方法が選択できたか。
	実証事業				2		食事介助	2	座位で食事をする際の姿勢の介助ができる ①体幹の傾きはどうか、足底が床についているか、椅子に深く腰を掛けお尻が安定して座っているかなど座位の安定を確認したか。
	実証事業				2		食事介助	3	寝たまま食事をする際の姿勢の介助ができる ①ベッドをギャッチアップし、食べやすい座位の位置や安定(体幹の傾きはどうか)を確認したか。
	実証事業				2		食事介助	3	寝たまま食事をする際の姿勢の介助ができる ②利用者の頭部が前傾姿勢になるように枕やクッションで調整したか。
	実証事業				2		食事介助	4	食事介助ができる ②多すぎる量を一度に口に入れなかったか。
	実証事業				2		食事介助	4	食事介助ができる ③利用者と同じ目線の高さで介助する等、利用者の飲み込みが確認できるような姿勢で介助を行ったか。
	実証事業				2		食事介助	4	食事介助ができる ④利用者がしっかりと咀嚼して飲み込んだことを確認してから次の食事を口に運んだか。
	実証事業				3		排泄介助	2	トイレ(ポータブルトイレ)への移乗を行うことができる ①利用者が健側の手足に重心をかけ立ち上がり、身体の向きを変える際、腰を支えたか。
	実証事業				3		排泄介助	3	トイレ(ポータブルトイレ)での排泄介助を行うことができる ④事業所・施設内の手順に沿って排泄物を処理したか。
	実証事業				3		排泄介助	4	体位変換ができる ②顔、腕、足の位置を確認し、腕の巻き込みなどに注意しながら、ベッド欄などにぶつけないよう、利用者に痛みや傷を与えないように体位変換したか。
	実証事業				3		排泄介助	5	おむつ交換を行うことができる ③おむつ・パッドを尿漏れしない位置に装着したか。

図表 2 チェック項目の表現の違い(エ)(オ)と(イ)(ウ)

	(エ)(オ)	(イ)(ウ)
1-(2)-②	②スクリーンやバスタオル等を使い、プライバシーに配慮したか。	②スクリーンやバスタオルを使い、プライバシーに配慮したか。
1-(3)-③	③簡易リフト等、入浴機器を用いて入浴した場合、利用者の身体の位置を確認し、手が挟まれる等の事故に注意して、安全に入浴できたか。【訪問介護等は除く。】	③簡易リフト等、入浴機器を用いて入浴した場合、利用者の身体の位置を確認し、手が挟まれる等の事故に注意して、安全に入浴できたか。
1-(4)-①	①バイタルサインの測定、利用者へのヒアリング等による体調確認の結果や医療職の指示等に基づき、清拭の可否について確認したか。	①バイタルサインの測定、利用者へのヒアリング、医療職の指示によって体調確認を行い、清拭の可否について確認したか。
4-(2)-①	①介助を始める前に、車いすのフットレスト(フットサポート)やブレーキに動作不良がないか、車いすにブレーキがかかっているか、フットレスト(フットサポート)が上がっているか、タイヤの空気が十分かを予め確認したか。	①介助を始める前に、車いすのフットレストやブレーキに動作不良がないか、車いすにブレーキがかかっているか、フットレストが上がっているか、タイヤの空気が十分かを予め確認したか。
4-(3)-①	①介助を始める前に、車いすのフットレスト(フットサポート)やブレーキに動作不良がないか、車いすにブレーキがかかっているか、フットレスト(フットサポート)が上がっているか、タイヤの空気が十分かを予め確認したか。	①介助を始める前に、車いすのフットレストやブレーキに動作不良がないか、車いすにブレーキがかかっているか、フットレストが上がっているか、タイヤの空気が十分かを予め確認したか。

### ③属性情報

また、各調査の収集している属性情報は以下のとおりで、異なっている。

一番の違いは、(エ)及び(オ)には被評価者属性がないということであり、分析を行うために(エ)及び(オ)の被評価者属性について本事業において調査を行い(図表3)、トライアル調査対象の被評価者の属性情報の収集を行った。

	事業所属性	アセッサー属性	被評価者属性	利用者属性
(ア)H23 実証事業				2名(困難/普通) 困難事例については理由を標記。但し事業所によって利用者属性なし
(イ)H24 補助金事業	(ア)と共通 但し(ア)に比べ情報量は少ない	(ア)と共通	(ア)と共通	1名 利用者の状態像を事前に設定
(ウ)富山モデル事業	(ア)と共通	(ア)と共通	(ア)と共通	同上
(エ)H24 トライアル評価	(ア)(イ)(ウ) と一部重複	(ア)(イ)(ウ) と一部重複	なし 実施においては最大5名まで	5名 選定理由記載
(オ)H25 トライアル評価	(ア)(イ)(ウ) と一部重複 (エ)と共通	(ア)(イ)(ウ) と一部重複 (エ)と共通	なし 実施においては最大5名まで (エ)と共通	5名 要介護度3以下については理由を記載

図表 3 (エ)(オ)の被評価者属性情報の収集(WEB 画面)

トライアル評価「被評価者」情報調査票 A	
<p><b>【問 1】</b>                      アセッサー講習にご参加いただくに当たり実施いただいた「トライアル評価」における「被評価者」の情報について入力をお願いします。                      なお、2名以上の被評価者を対象にトライアル評価を行った場合には、主に評価をされた方、1名についてご回答ください。</p>	
<p>(1) トライアル評価主たる「被評価者」について、トライアル評価実施時の年齢を入力してください。(必須)</p> <p>□ 歳</p>	<p>(8) トライアル評価実施時の主たる「被評価者」の施設・事業所での役職について選択してください。(必須)</p> <p><input type="checkbox"/> 施設長・管理者  <input type="checkbox"/> ユニットリーダー  <input type="checkbox"/> サービス提供者  <input type="checkbox"/> その他 具体的な役職名 ⇒ <input type="text"/></p>
<p>(2) 主たる「被評価者」について、性別を選択してください。(必須)</p> <p><input type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性</p>	<p>(9) トライアル評価実施時の主たる「被評価者」の資格と実務経験について、該当する資格・実務経験の欄を選択してください。(必須)</p> <p><input type="radio"/> ホームヘルパー2級研修等(当該資格等取得後実務経験1年以内)  <input type="radio"/> ホームヘルパー2級研修等(当該資格等取得後実務経験1-3年)  <input type="radio"/> ホームヘルパー2級研修等(当該資格等取得後実務経験3年以上)  <input type="radio"/> 介護福祉士(養成施設卒業者)(当該資格等取得後実務経験1年以内)  <input type="radio"/> 介護福祉士(養成施設卒業者)(当該資格等取得後実務経験1-3年)  <input type="radio"/> 介護福祉士(実務者ルート)  <input type="radio"/> 3年程度以上の実務経験を有するサービス提供者、主任等</p>
<p>(3) トライアル評価実施時の主たる「被評価者」の保有資格について選択してください。(複数可) (必須)</p> <p><input type="checkbox"/> 看護師  <input type="checkbox"/> 准看護師  <input type="checkbox"/> 介護福祉士  <input type="checkbox"/> 社会福祉士  <input type="checkbox"/> 介護支援専門員  <input type="checkbox"/> 訪問介護員1級  <input type="checkbox"/> 訪問介護員2級  <input type="checkbox"/> 訪問介護員3級  <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p>	<p><b>【問 2】</b>                      問1でご回答いただいた被評価者は、トライアル評価全項目のうち、何割程度、評価していますか。1～10の整数でお答えください。(必須)</p> <p>約 □ 割</p> <p>最後に、上記ご回答内容、並びにアセッサー講習会でご提出いただいた各種資料につきまして、今後のキャリア段位の推進に資する調査研究事業において活用したいと考えております。                      活用する場合には、〇〇のご回答が、△△%というように統計的に処理をし、活用させていただきます。                      個人やご所属機関が特定されることは一切ございません。                      ご承諾の有無をお教えください。(必須)</p>
<p>(4) トライアル評価実施時の主たる「被評価者」の介護職員基礎研修の受講経験の有無について選択してください。(必須)</p> <p><input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし</p>	<p><input type="radio"/> 承諾する <input type="radio"/> 承諾しない</p>
<p>(5) 主たる「被評価者」の勤務形態について選択してください。(兼務の場合はその勤務先、非常勤の場合は週あたりの勤務回数についてお答えください) (必須)</p> <p><input type="checkbox"/> 常勤専任  <input type="checkbox"/> 常勤兼務 ⇒ 勤務先 <input type="text"/>  <input type="checkbox"/> 非常勤専任 ⇒ 週回数 <input type="text"/>  <input type="checkbox"/> 非常勤兼務 ⇒ 週回数と勤務先 <input type="text"/></p>	
<p>(6) トライアル評価実施時の主たる「被評価者」の介護職員としての経験年数(実務経験の通算年数)について入力してください。(必須)</p> <p>□ 年</p>	
<p>(7) トライアル評価実施時の主たる「被評価者」の施設・事業所における経験年数について入力してください。(必須)</p> <p>□ 年</p>	

## 2) データ統合上の問題点と対応

データの統合は、後述する「(2) データの分析」の方針を踏まえ、「評価に対しアセッサー、被評価者、利用者が特定できる（属性情報がある）」よう統合を行っている。これは、アセッサー、被評価者、利用者が特定できなければ、評価の差に何が影響しているか判別しにくいためである。

評価に対し、アセッサー、被評価者、利用者が特定できる

上記のデータ統合の方針に対して、以下の点が課題として挙げられた。

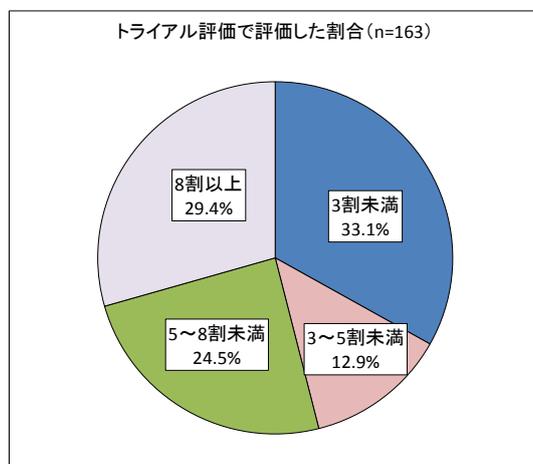
- ・(エ) 及び (オ) については、トライアル評価を行う際、利用者を最大 5 名まで選定できるとしており、どの利用者に対する介護技術の評価したか把握できない。なお、自由記述に明記するよう依頼はしていたものの、任意の記載のため記述がまちまちである。
- ・(エ) 及び (オ) については、被評価者を最大 5 名まで選定できるとしており、誰の介護技術の評価したか把握できない。

そこで、(エ) 及び (オ) のデータ整備については、利用者を 1 名に限定しトライアル評価を行っているデータに絞ることとした。

被評価者については、被評価者属性を収集する際、被評価者が 2 名以上で評価を行っている場合、主に評価している被評価者 1 名の属性を収集し、回答のあったデータを使用することとした。

なお、被評価者属性を収集する際、当該の被評価者でどの程度、評価を行ったか尋ねており、割合ができるだけ高い被評価者に絞り分析を行うことが望ましいと考えたが、後述する「(3) データクリーニング」を行った場合、(エ) 及び (オ) のデータが相当数対象外となること、また被評価者 1 名でトライアル評価を行っている評価が極めて少なかったことから (図表 4)、被評価者属性を回答した被評価者の評価割合に関わらず分析対象とした。

図表 4



## (2) データの分析

データ分析については、以下の視点で分析を行うこととした。

### ①キャリア段位制度アセッサー講習受講者の「トライアル評価」分析

分析の視点	事業所別、アセッサー介護職員としての経験年数別で通過率に違いがあるか。
分析対象データ	(エ)H24.トライアル評価 (オ)H25.トライアル評価
分析内容	①事業所別 (施設・訪問・通所別) ②アセッサー介護職員としての経験年数別 (10年以上/10年未満)

### ②「統合データ」分析

分析の視点	利用者や被評価者によって通過率に違いがあるか。
分析対象データ	(ア)H23.実証事業 (イ)H24.補助金事業 (ウ)H24.富山モデル事業 (エ)H24.トライアル評価 (オ)H25.トライアル評価
分析内容	①利用者の認知症日常生活自立度別 (Ⅱ以下/Ⅲ以上) ②被評価者の資格 (介護福祉士) 有無別 ③被評価者の当該事業所の勤務経験別 (その事業所に 3 年以上勤務/3 年未満)

### ③「統合データ」における「統合データトライアル評価」分析

分析の視点	アセッサー講習参加者のトライアル評価が利用者や被評価者によって通過率に違いがあるか。
分析対象データ	統合データの、(エ)H24.トライアル評価 (オ)H25.トライアル評価
分析内容	①利用者の認知症日常生活自立度別 (Ⅱ以下/Ⅲ以上) ②被評価者の資格 (介護福祉士) 有無別 ③被評価者の当該事業所の勤務経験別 (その事業所に 3 年以上勤務/3 年未満)

### (3) データクリーニング

#### ①「トライアル評価分析」分析のためのデータ抽出

「(2) データ分析」における 1) キャリア段位制度アセッサー講習受講者の「トライアル評価」分析を行うために、以下のデータの抽出を行った。

チェック項目	62 チェック項目すべてに回答している (ア) については (イ) ~ (オ) 共通の 52 チェック項目
--------	--

なお、(ア) については、想定する段位のレベルで回答するチェック項目が異なっていたため、相当数のデータが対象外となった。

#### ②「統合データ」及び「統合データトライアル評価」分析のためのデータ抽出

「(2) データ分析」における 2) 「統合データ」分析及び 3) 「統合データ」における「統合データトライアル評価」分析を行うために、以下のデータの抽出を行った。

チェック項目	・(イ) 及び (ウ) については 62 チェック項目、(ア) については 52 チェック項目すべてに回答している
利用者属性	・利用者属性未回答削除 ・利用者属性の「要介護度」及び「日常生活自立度」がないデータ削除
被評価者属性	・被評価者の介護職経験年数がないものを削除 ・資格と実務経験がないものを削除 ・(ア) の「実習生」削除
アセッサー属性	・アセッサーの通算経験年数がないもの及び 0 年を削除

### (4) データ抽出結果

	分析対象 データ数
1) トライアル評価分析	2611
2) 統合データ分析	600
3) 統合データトライアル評価分析	163

### 3. 実施体制

本調査研究の実施に際しては、WGを設置し、具体的な検討を行っている。

役割	氏名	所属・職位
リーダー	筒井 孝子	国立保健医療科学院 統括研究官
	大冢賀 政昭	国立保健医療科学院 協力研究員
	西川 正子	国立保健医療科学院 研究情報支援センター 上席主任研究官
	東野 定律	静岡県立大学 経営情報学部 講師

(敬称略・リーダーを除き五十音順)

＜事務局支援＞ 株式会社日本能率協会総合研究所

## 4. 実施経過

WG での検討スケジュールは以下のとおり。

日程	検討内容
第1回(平成25年12月6日)	現在、収集されているキャリア段位制度に関連する調査データの概要について共有し、今年度分析すべき内容について検討を行った。 (出席者：筒井・西川・東野・大冢賀)
第2回(平成25年12月18日)	前回検討した今年度分析すべき介護技術評価項目の評価にあたって、整備すべき属性(被評価者・評価者・利用者)データ形式について検討し、追加の調査票の作成を行った。 (出席者：筒井・東野・大冢賀)
第3回(平成26年2月12日)	追加調査によって作成された属性(被評価者・評価者・利用者)データとトライアル評価データの結合版データの作成状況の途中経過を踏まえて、今後実施すべきクリーニングや新規に作成すべきデータ形式の検討を行った。 (出席者：筒井・西川)
第4回(平成26年2月21日)	属性(被評価者・評価者・利用者)データとトライアル評価データの結合版データを用いた基礎集計の結果を踏まえ、今後の分析方法について、検討を行った。 (出席者：筒井・西川・大冢賀)
第5回(平成26年3月3日)	前回の検討において指摘された項目の評価にあたって、項目別の通過率分析を行うために扱うデータセット・データ形式の特定を行うとともに、どの属性(被評価者・評価者・利用者)と通過率の関連をみるかについて検討を行った。 (出席者：筒井・大冢賀)
第6回(平成26年3月6日)	介護技術評価項目の評価にあたって、認知症に関連した介護技術評価項目の追加について検討を行い、これに関して実施すべきデータ分析について検討を行った。 (出席者：筒井・東野・大冢賀)
第7回(平成26年3月11日)	前回の検討によって決定した認知症に関連した介護技術評価項目に係わるデータ分析の基礎集計結果を踏まえ、今後の方法についての検討を行った。 (出席者：筒井・東野・大冢賀)
第8回(平成26年3月19日)	まず、介護技術項目の選定にあたっての条件について検討を行った。具体的には「できる」割合90%、項目間の相関0.85以上、「やっていない」の割合70%以上といった実証事業における項目選定の条件が今回のデータ分析において有効かどうかの検討をした。これに加えて、難易度の選定にあたって必要な利用者の状態像の類型化を行うためのデータ分析の方法論についての検討を行った。 (出席者：筒井・西川・大冢賀)

## Ⅱ. キャリア段位制度アセッサー講習受講者の「トライアル評価」分析

(エ)H24トライアル評価及び(オ)H25トライアル評価統合(標本数 2611)

### 1. アセッサー属性

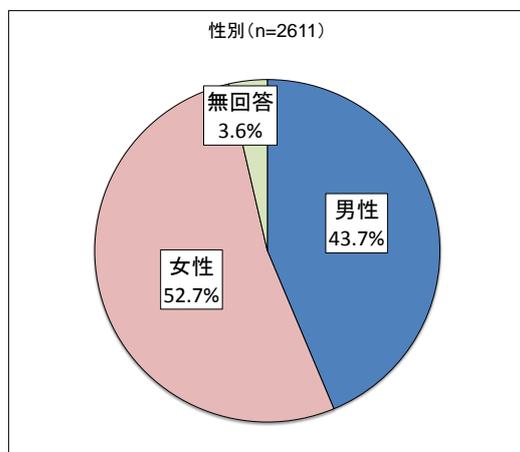
H24年及びH25年のキャリア段位アセッサー講習に参加したアセッサーが所属している事業所は、「施設系」55.3%、「通所系」20.6%、「訪問系」16.1%、「その他」8.0%である。「施設系」55.3%のうち「老健」23.4%、「特養」15.0%の比率が高い。「通所系」ではうち「通所介護」が14.9%、「訪問系」ではうち「訪問介護」が15.5%と比率が高い。

図表 5

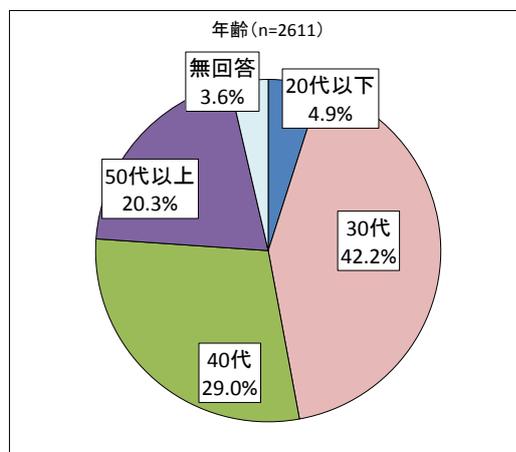
サービス種別 (n=2611)					
施設系 55.3%	介護老人保健施設	23.4%	通所系 20.6%	通所介護	14.9%
	介護老人福祉施設(特養)	15.0%		通所リハ	3.6%
	認知症対応型共同生活介護	6.1%		認知症対応型通所介護	2.1%
	特定施設入居者生活介護	2.9%	訪問系 16.1%	訪問介護	15.5%
	小規模多機能型居宅介護	2.9%		訪問入浴介護	0.4%
	短期入所生活介護	2.8%		定期巡回随時対応訪問介護看護	0.2%
	介護療養型医療施設	1.3%		夜間対応型訪問介護	0.0%
	地域密着型介護老人福祉施設入所者	0.7%	その他 8.0%	複合型サービス	0.3%
	短期入所療養介護	0.1%		その他	4.1%
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0.1%		無回答	3.6%

アセッサーの属性を見ると、性別では「女性」の比率が52.7%と高く、年代別では「30代」42.2%、「40代」29.0%の比率が高く、両方で7割を占める。

図表 6



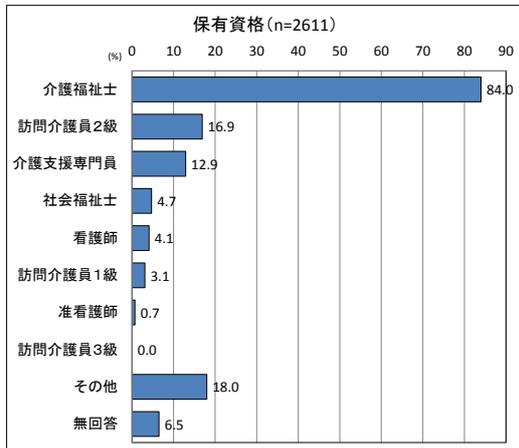
図表 7



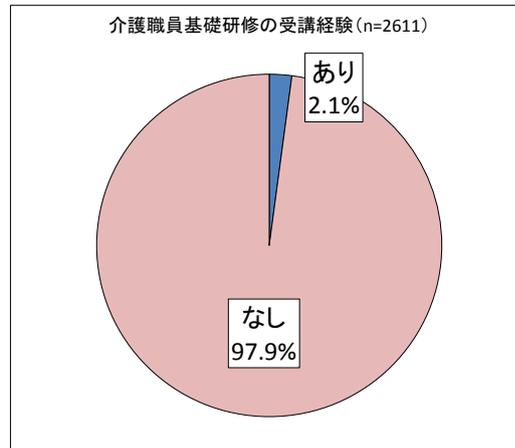
保有資格を見ると、「介護福祉士」が84.0%と保有比率が高い。「介護職員基礎研修」の受講経験「あり」は2.1%と僅かである。

介護職員としての経験年数は「10年以上」が51.3%と比率が高く、次いで「5年以上10年未満」が23.4%と経験年数が長い割合が高い一方、「1年未満」も16.7%見られた。現在の施設・事業所での役職は「施設長・管理者」が23.3%と比率が高い。

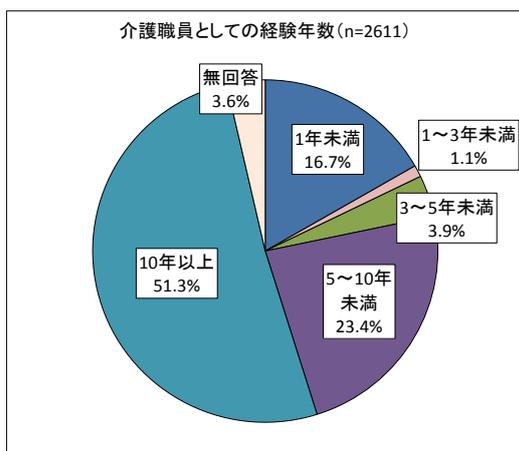
図表 8



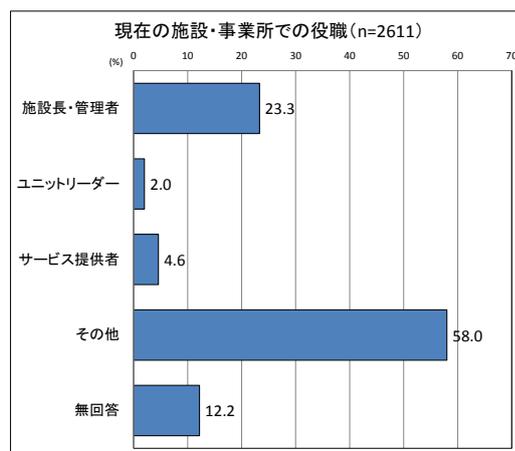
図表 9



図表 10



図表 11



## 2. 評価結果（62項目）

### （1）「やっていない/実施していない」比率が高いチェック項目

「やっていない/実施していない」比率が8割を超えた項目は2項目で、いずれも「移乗・移動・体位変換」の項目である。

#### 【移乗・移動・体位変換】

2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる

④スライディングボードやスライディングシート等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。

3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる

⑤移乗用リフト等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。

2項目に次いで、「やっていない/実施していない」比率が高かった項目は、「入浴介助」の「清拭ができる」であるが、少なくとも半数以上は実施している。

#### 【入浴介助】

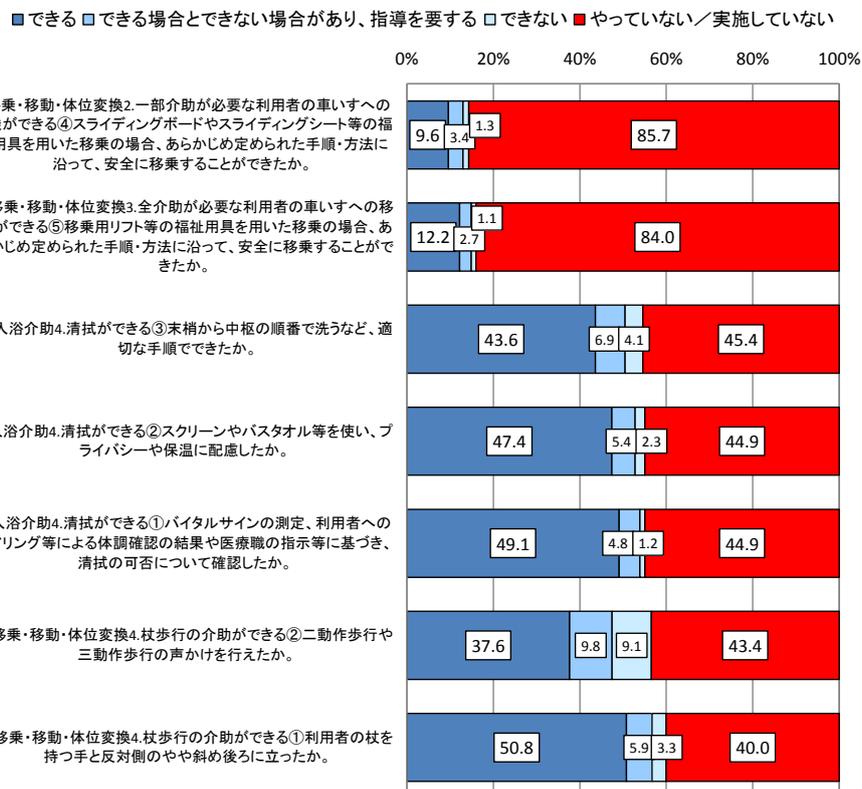
4.清拭ができる

③末梢から中枢の順番で洗うなど、適切な手順でできたか。

②スクリーンやバスタオル等を使い、プライバシーや保温に配慮したか。

①バイタルサインの測定、利用者へのヒアリング等による体調確認の結果や医療職の指示等に基づき、清拭の可否について確認したか。

図表 12 「やっていない/実施していない」比率が高いチェック項目（n=2611）



## (2) 「できる」比率が高いチェック項目

「できる」比率が8割を超えた項目は22項目で、そのうち9割を超えた項目は2項目で、いずれも「食事介助」の「1.食事前の準備を行うことができる」である。

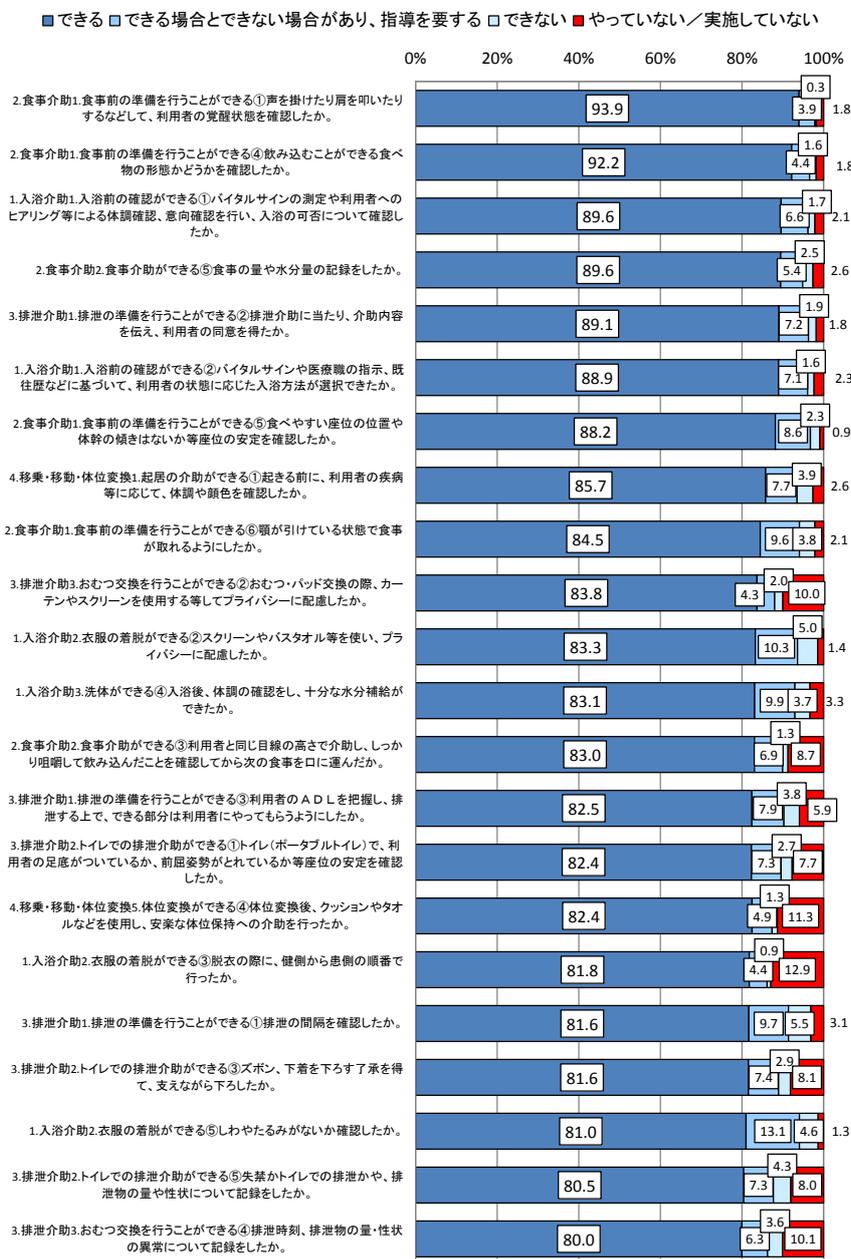
### 【食事介助】

#### 1.食事前の準備を行うことができる

- ①声を掛けたり肩を叩いたりするなどして、利用者の覚醒状態を確認したか。
- ④飲み込むことができる食べ物の形態かどうかを確認したか。

利用者の疾病の状況が変化し意識障害をきたしていた場合、それに気付かないことは重大な問題を生じる。そのため、「出来る比率」が高いとはいえ、この項目を外すべきではないであろう。

図表 13 「できる」比率が高いチェック項目 (n=2611)



### (3) 「できる」比率が低いチェック項目

「できる」比率が6割を下回った項目は14項目で、その中でも特に2項目が低くなっているが、いずれも「やっていない/実施していない」が8割と高い。

#### 【移乗・移動・体位変換】

2. 一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる
  - ④ スライディングボードやスライディングシート等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。
3. 全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる
  - ⑤ 移乗用リフト等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。

no lift policy も推奨されていることを勧案すると、スライディングボード等の使用項目は削除しない方が良い。ただし、スライディングボードやスライディングシートを用いるべき患者に用いるような指導内容に変更しておくべきであろう。具体的には、スライディングボードやスライディングシートを用いるのは全介助患者の場合とすることを提案したい。

その他の12項目中7項目についても「やっていない/実施していない」比率が比較的高い項目であり、そのうち6項目については実施している人に占める「できる」割合は8割程度またはそれ以上となっている。(図表14の点線で囲んだチェック項目)

#### 【入浴介助】

4. 清拭ができる
  - ③ 末梢から中枢の順番で洗うなど、適切な手順でできたか。
  - ② スクリーンやバスタオル等を使い、プライバシーや保温に配慮したか。
  - ① バイタルサインの測定、利用者へのヒアリング等による体調確認の結果や医療職の指示等に基づき、清拭の可否について確認したか。

#### 【移乗・移動・体位変換】

4. 杖歩行の介助ができる
  - ① 利用者の杖を持つ手と反対側のやや斜め後ろに立ったか。
  - ③ 急がせず、利用者のペースに合った介助・誘導を行ったか。

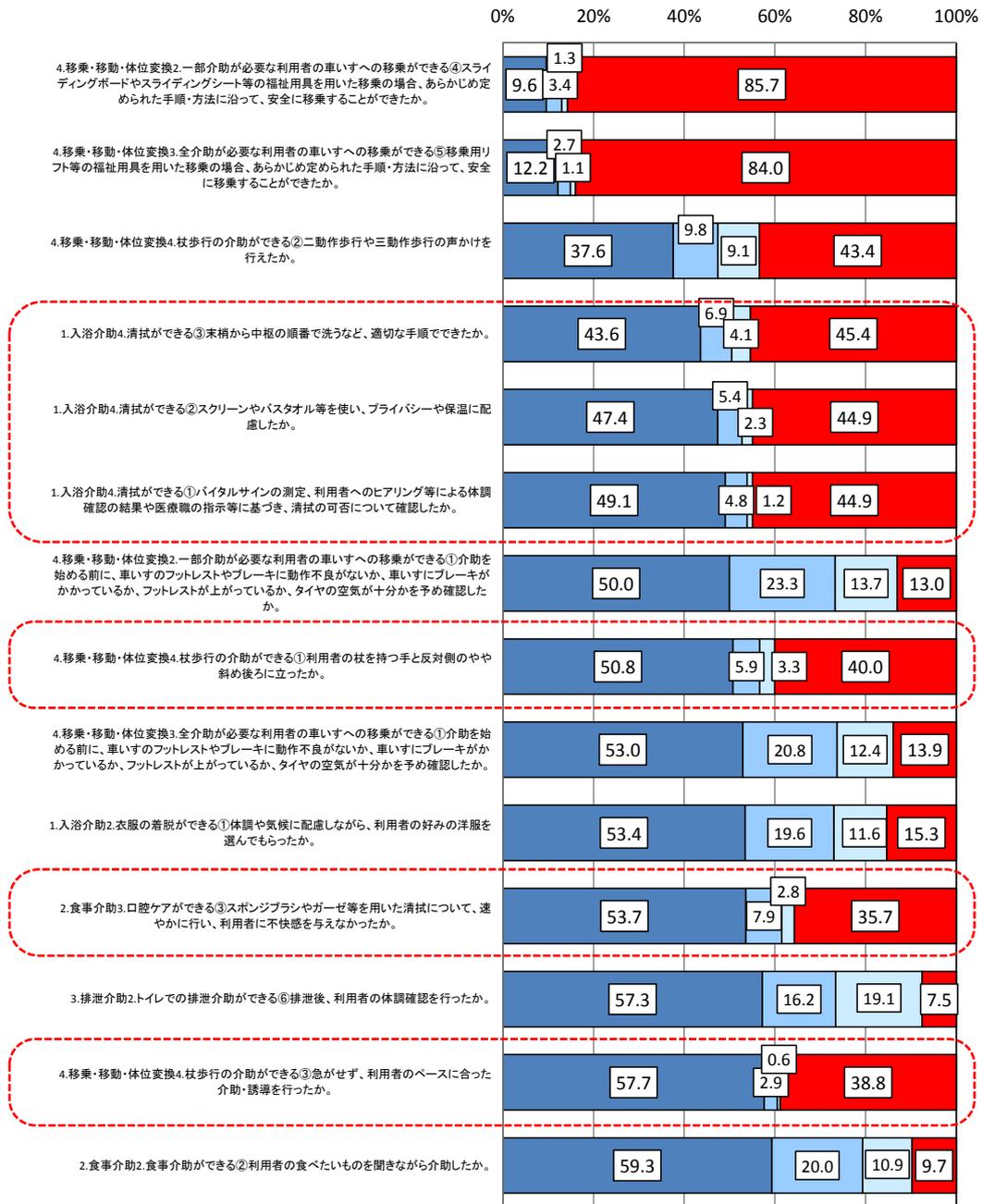
#### 【食事介助】

3. 口腔ケアができる
  - ③ スポンジブラシやガーゼ等を用いた清拭について、速やかに行い、利用者に不快感を与えなかったか。

「できる」比率が低い項目のなかには、部分介助の利用者に関する設問が多く、「難易度が高い」すなわち高い段位の時点で達成すべき設定にするとという対策も考えられる。

図表 14 「できる」比率が低いチェック項目 (n=2611)

■ できる □ できる場合とできない場合があり、指導を要する □ できない ■ やっていない／実施していない



#### (4) 相関の高いチェック項目

項目間の相関を解析したところ、相関が高かった項目は以下の項目である。

チェック項目		係数
<b>【移乗・移動・体位変換】</b> 2. <u>一部介助</u> が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ①介助を始める前に、車いすのフットレストやブレーキに動作不良がないか、車いすにブレーキがかかっているか、フットレストが上がっているか、タイヤの空気が十分かを予め確認したか。	<b>【移乗・移動・体位変換】</b> 3. <u>全介助</u> が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ①介助を始める前に、車いすのフットレストやブレーキに動作不良がないか、車いすにブレーキがかかっているか、フットレストが上がっているか、タイヤの空気が十分かを予め確認したか。	0.806**
<b>【移乗・移動・体位変換】</b> 2. <u>一部介助</u> が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ④ <u>スライディングボードやスライディングシート等の福祉用具を用いた移乗の場合</u> 、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。	<b>【移乗・移動・体位変換】</b> 3. <u>全介助</u> が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ⑤ <u>移乗用リフト等の福祉用具を用いた移乗の場合</u> 、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。	0.769**

\*\*：有意差水準 5%

移乗介助を始める前の注意は、部分介助であろうと全介助であろうと同じであり、いずれかを省略するわけにもいかないであろう。排泄介助も同様である。ただし、移乗介助のテキストの言い回しは冗長の嫌いがあり、「介助を始める前に、車いすのフットレスト(フットサポート)やブレーキに動作不良がないか、車いすにブレーキがかかっているか、フットレスト(フットサポート)が上がっているか、タイヤの空気が十分かを予め確認したか。」を、「介助を始める前に、車いすのフットレスト(フットサポート)の位置や、ブレーキの止め忘れや動作不良の有無、タイヤの空気圧を予め確認したか。」と短くもできるであろう。

スライディングボードやスライディングシートに関しては、前述のように、用いるのは全介助患者の場合のみとすべきであろう。

(変更案)

チェック項目		係数
<b>【移乗・移動・体位変換】</b> 2. 一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ①介助を始める前に、車いすのフットレスト(フットサポート)の位置や、ブレーキの止め忘れや動作不良の有無、タイヤの空気圧を予め確認したか。	<b>【移乗・移動・体位変換】</b> 3. 全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ①介助を始める前に、車いすのフットレスト(フットサポート)の位置や、ブレーキの止め忘れや動作不良の有無、タイヤの空気圧を予め確認したか。	0.806**
<del> <b>【移乗・移動・体位変換】</b>            2. 一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる            ④ <u>スライディングボードやスライディングシート等の福祉用具を用いた移乗の場合</u>、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。         </del>	<del> <b>【移乗・移動・体位変換】</b>            3. 全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる            ⑤ <u>スライディングボードやスライディングシート、移乗用リフト等の福祉用具を用いた移乗の場合</u>、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。         </del>	0.769**

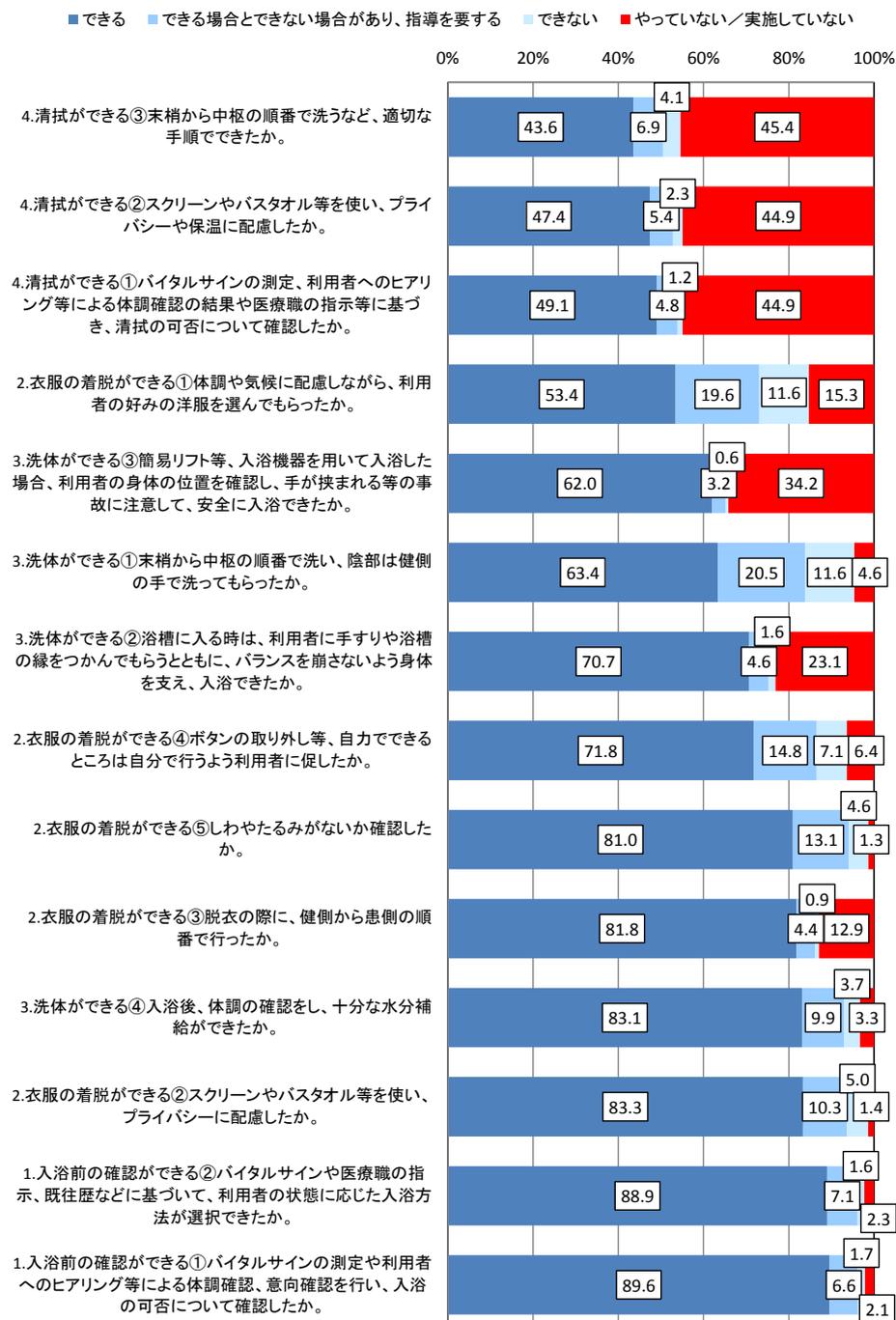
## (5) カテゴリー別

### 1) 入浴介助（「できる」降順）

入浴介助 14 項目の評価結果を見ると、14 項目中 6 項目が 8 割以上「できる」と評価している。一方、「できる」比率が低かったのは 3 項目で 5 割を下回っているが、いずれも「やっていない/実施していない」比率が 45%前後と高くなっている。

キャリア段位アセッサー講習のトライアル評価においては、利用者や被評価者を 5 名まで選定して評価できるとしたものの実施率に差が見られ、留意が必要である。

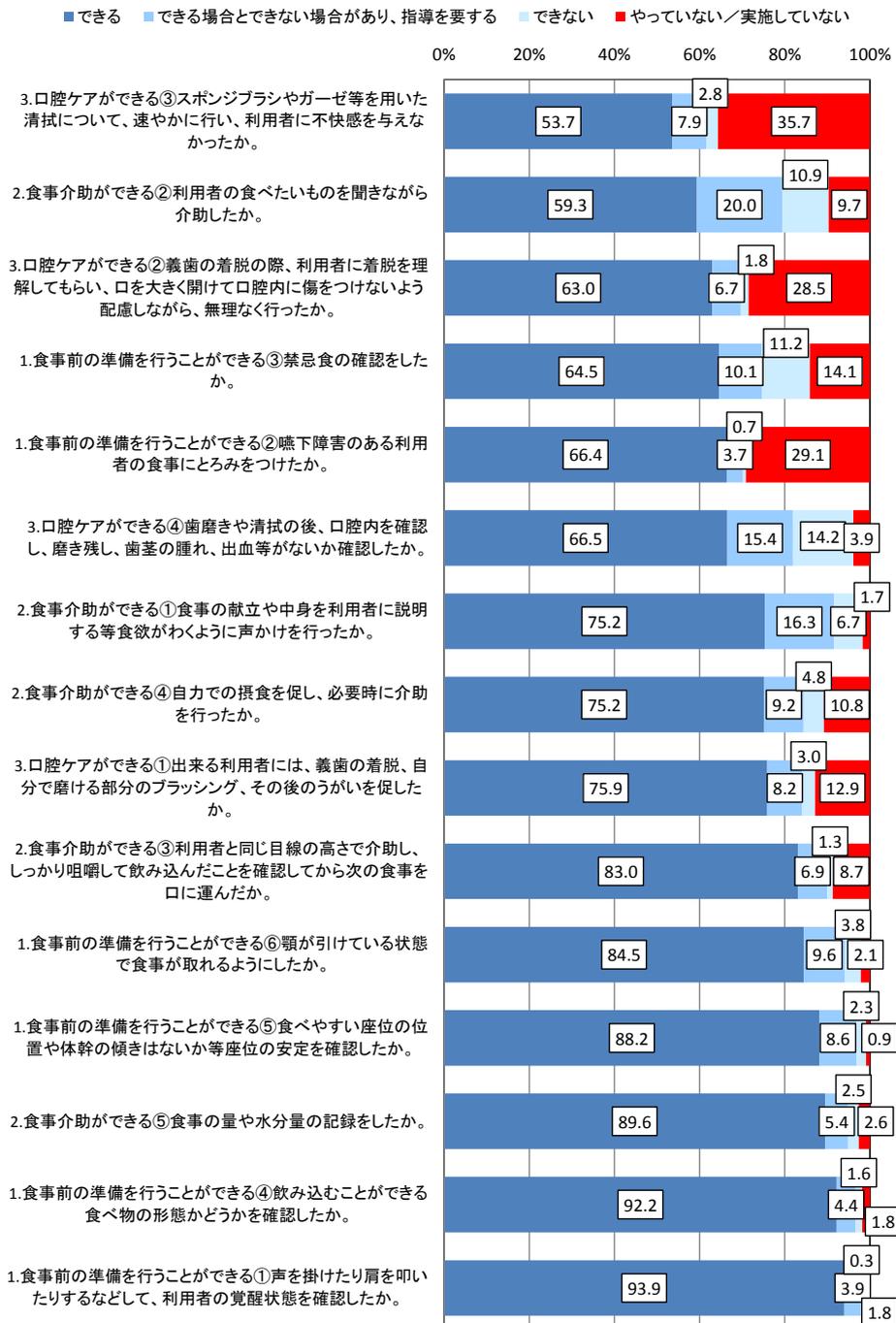
図表 15 入浴介助 (n=2611)



## 2) 食事介助（「できる」降順）

食事介助 15 項目の評価結果を見ると、15 項目中 6 項目が 8 割以上「できる」と評価している。一方、「できる」比率が 5 割を下回った項目は見られず、入浴介助に比べ「できる」水準は高い。なお、「できる」比率が低い項目のうち 3 項目については、「やっていない/実施していない」比率が高くなっている。

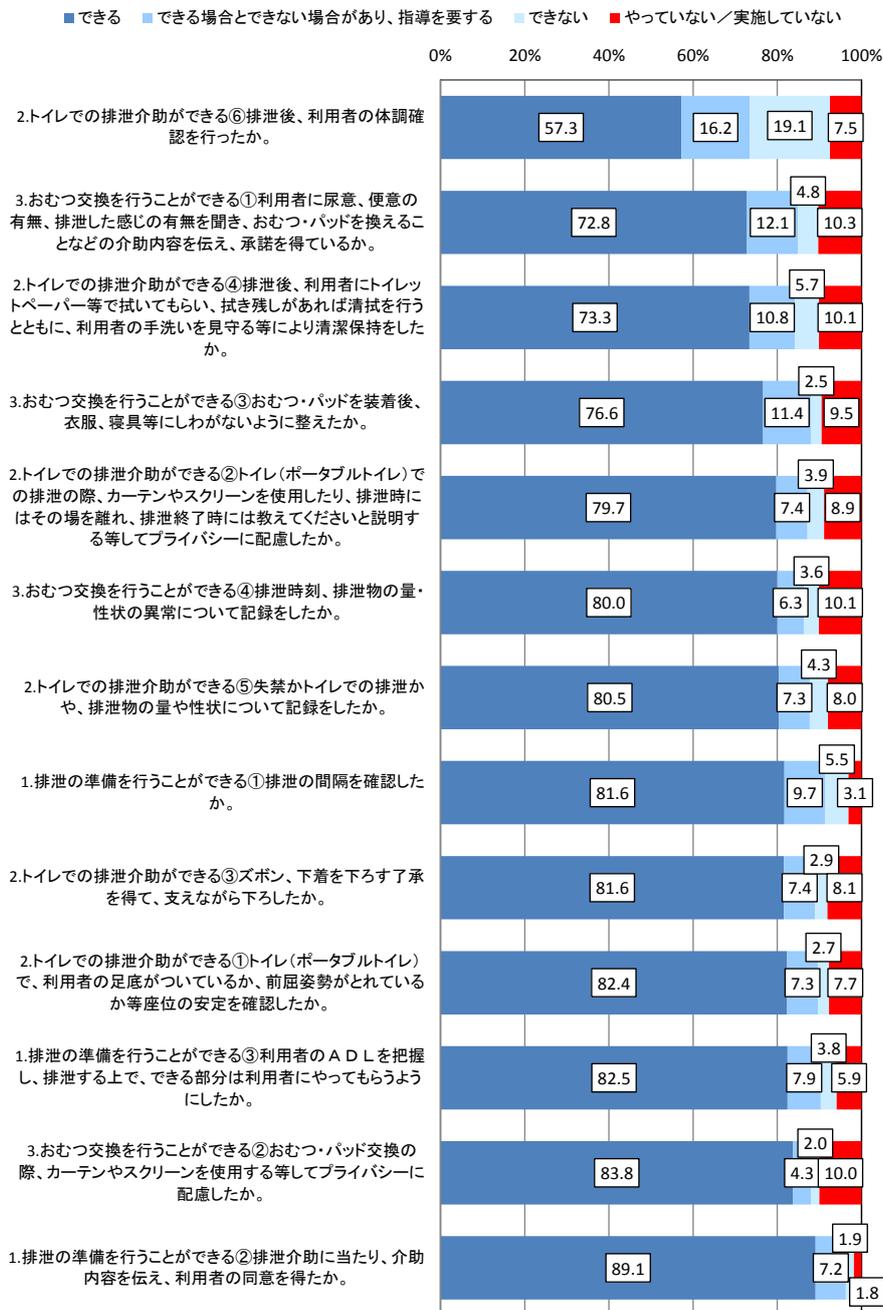
図表 16 食事介助 (n=2611)



### 3) 排泄介助（「できる」降順）

排泄介助 13 項目の評価結果を見ると、13 項目中 8 項目が 8 割以上「できる」と評価している。また、その他の項目についても、「2.トイレでの排泄介助ができる」の「⑥排泄後、利用者の体調確認を行ったか。」が 57.3%と低くなっているものの、その他の項目については 7 割以上が「できる」としており水準は高い。なお、「やっていない/実施していない」比率はいずれも低く、「やっていない/実施していない」比率が高いものでも 1 割程度にとどまっている。

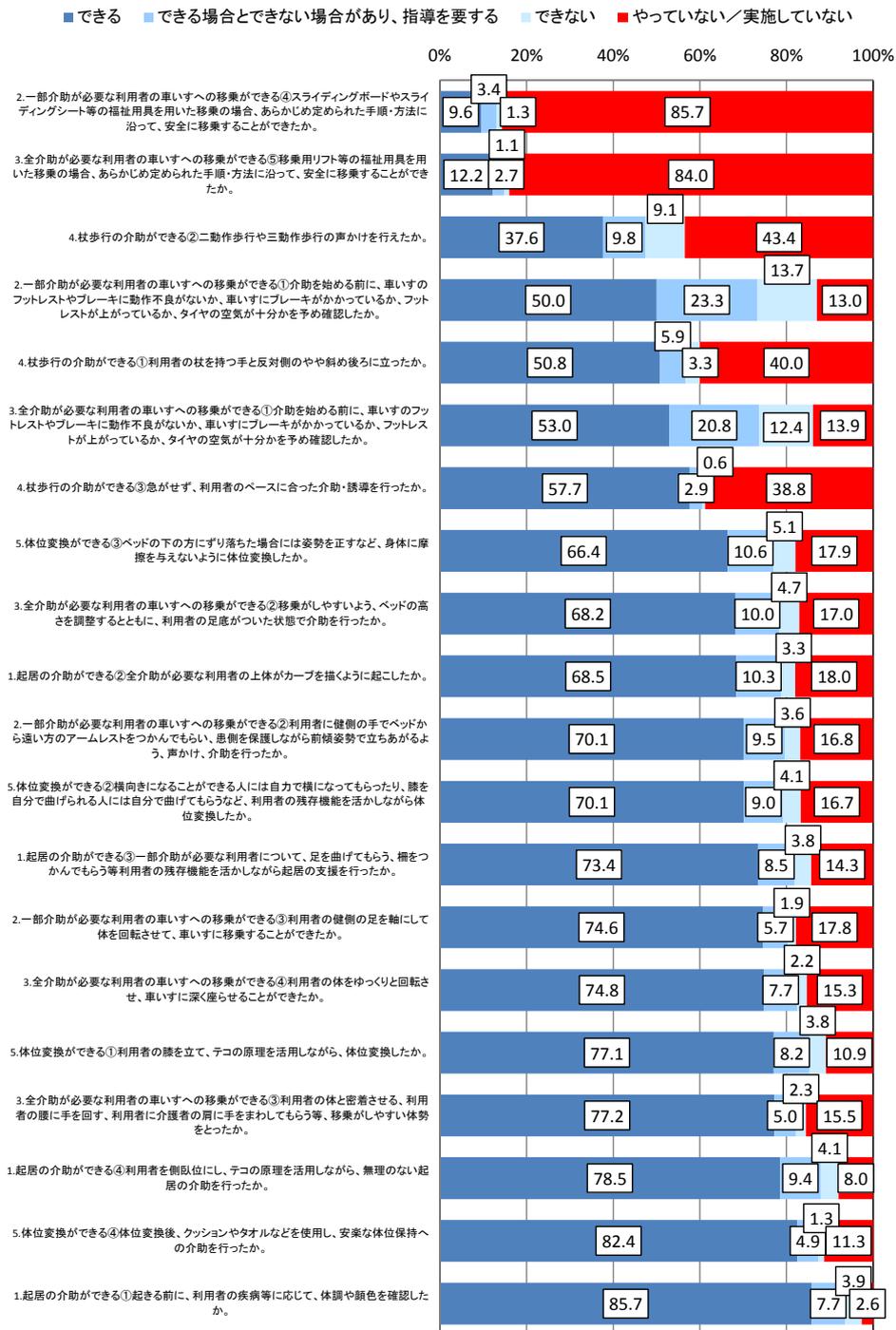
図表 17 排泄介助 (n=2611)



#### 4) 移乗・移動・体位変換（「できる」降順）

移乗・移動・体位変換 20 項目の評価結果を見ると、入浴介助・食事介助・排泄介助に比べ 8 割以上「できる」項目が 2 項目と少ない。一方、「できる」比率が 5 割を下回った項目は 3 項目で、いずれも「やっていない/実施していない」比率が高い。

図表 18 移乗・移動・体位変換



## (6) 事業所別

事業所別（施設系、訪問系、通所系）で「できる」比率が高い項目と「やっていない/実施していない」比率が高いまたは種別で差がある項目は以下のとおり。

### 1) 入浴介助

#### <種別に関わらず「できる」比率が高い項目>

- 1.入浴前の確認ができる
  - ①バイタルサインの測定や利用者へのヒアリング等による体調確認、意向確認を行い、入浴の可否について確認したか。(80%以上)
  - ②バイタルサインや医療職の指示、既往歴などに基づいて、利用者の状態に応じた入浴方法が選択できたか。(80%以上)
- 2.衣服の着脱ができる
  - ②スクリーンやバスタオル等を使い、プライバシーに配慮したか。(80%以上)
- 3.洗体ができる
  - ④入浴後、体調の確認をし、十分な水分補給ができたか。(80%以上)

#### <「やっていない/実施していない」比率が高く、種別で 30 ポイント以上の差が見られる項目>

- 3.洗体ができる
  - ③簡易リフト等、入浴機器を用いて入浴した場合、利用者の身体の位置を確認し、手が挟まれる等の事故に注意して、安全に入浴できたか。
- 4.清拭ができる
  - ①バイタルサインの測定、利用者へのヒアリング等による体調確認の結果や医療職の指示等に基づき、清拭の可否について確認したか。
  - ②スクリーンやバスタオル等を使い、プライバシーや保温に配慮したか。
  - ③末梢から中枢の順番で洗うなど、適切な手順でできたか。

図表 19 事業所別入浴介助

	できる			やっていない/実施していない			
	①施設系 n=1438	②訪問系 n=423	③通所系 n=540	①施設系 n=1438	②訪問系 n=423	③通所系 n=540	
1 ・ 入 浴 介 助	1.入浴前の確認ができる ①バイタルサインの測定や利用者へのヒアリング等による体調確認、意向確認を行い、入浴の可否について確認したか。	90.5	86.8	89.3	0.5	8.3	1.3
	1.入浴前の確認ができる ②バイタルサインや医療職の指示、既往歴などに基づいて、利用者の状態に応じた入浴方法が選択できたか。	89.6	87.0	88.9	0.7	8.5	1.5
	2.衣服の着脱ができる ①体調や気候に配慮しながら、利用者の好みの洋服を選んでもらったか。	53.5	67.1	42.8	9.1	13.9	33.3
	2.衣服の着脱ができる ②スクリーンやバスタオル等を使い、プライバシーに配慮したか。	84.6	81.6	80.6	0.3	5.0	1.7
	2.衣服の着脱ができる ③脱衣の際に、健側から患側の順番で行ったか。	84.8	72.6	82.6	11.3	20.3	10.4
	2.衣服の着脱ができる ④ボタンの取り外し等、自力でできるところは自分で行うよう利用者に促したか。	70.9	76.4	71.3	5.4	9.7	6.1
	2.衣服の着脱ができる ⑤しわやたるみがないか確認したか。	81.2	82.5	78.0	0.3	4.5	1.3
	3.洗体ができる ①末梢から中枢の順番で洗い、陰部は健側の手で洗ってもらったか。	63.1	67.1	61.5	2.4	10.6	5.2
	3.洗体ができる ②浴槽に入る時は、利用者に手すりや浴槽の縁をつかんでもらうとともに、バランスを崩さないよう身体を支え、入浴できたか。	71.8	65.2	71.5	21.5	30.7	20.7
	3.洗体ができる ③簡易リフト等、入浴機器を用いて入浴した場合、利用者の身体の位置を確認し、手が挟まれる等の事故に注意して、安全に入浴できたか。	73.6	23.4	63.0	22.4	74.9	33.0
	3.洗体ができる ④入浴後、体調の確認をし、十分な水分補給ができたか。	82.3	84.6	85.4	2.3	8.5	2.0
	4.清拭ができる ①バイタルサインの測定、利用者へのヒアリング等による体調確認の結果や医療職の指示等に基づき、清拭の可否について確認したか。	51.1	61.5	32.4	42.1	31.9	63.7
	4.清拭ができる ②スクリーンやバスタオル等を使い、プライバシーや保温に配慮したか。	50.1	58.2	30.2	41.9	31.7	64.3
	4.清拭ができる ③末梢から中枢の順番で洗うなど、適切な手順でできたか。	44.9	58.4	26.9	42.7	31.7	64.4

## 2) 食事介助

### <種別に関わらず「できる比率が高い項目」>

#### 1.食事前の準備を行うことができる

①声を掛けたり肩を叩いたりするなどして、利用者の覚醒状態を確認したか。(90%以上)

#### 1.食事前の準備を行うことができる

④飲み込むことができる食べ物の形態かどうかを確認したか。(80%以上)

⑤食べやすい座位の位置や体幹の傾きはないか等座位の安定を確認したか。(80%以上)

図表 20 事業所別食事介助

	できる			やっていない/実施していない		
	①施設系 n=1438	②訪問系 n=423	③通所系 n=540	①施設系 n=1438	②訪問系 n=423	③通所系 n=540
1.食事前の準備を行うことができる ①声を掛けたり肩を叩いたりするなどして、利用者の覚醒状態を確認したか。	95.3	91.7	90.7	0.8	5.2	2.2
1.食事前の準備を行うことができる ②嚥下障害のある利用者の食事にとろみをつけたか。	74.8	47.3	57.8	21.2	47.5	36.9
1.食事前の準備を行うことができる ③禁忌食の確認をしたか。	63.8	56.3	70.6	12.0	25.8	10.9
1.食事前の準備を行うことができる ④飲み込むことができる食べ物の形態かどうかを確認したか。	93.3	89.8	90.4	0.5	5.9	2.4
1.食事前の準備を行うことができる ⑤食べやすい座位の位置や体幹の傾きはないか等座位の安定を確認したか。	88.4	89.6	85.7	0.2	4.0	0.4
1.食事前の準備を行うことができる ⑥顎が引けている状態で食事が取れるようにしたか。	85.7	86.1	79.6	1.3	5.9	1.5
2.食事介助ができる ①食事の献立や中身を利用者説明する等食欲がわくように声かけを行ったか。	72.3	84.4	74.3	0.8	4.7	2.4
2.食事介助ができる ②利用者の食べたいものを聞きながら介助したか。	55.9	69.0	58.1	8.0	13.7	12.2
2.食事介助ができる ③利用者と同じ目線の高さで介助し、しっかり咀嚼して飲み込んだことを確認してから次の食事を口に運んだか。	85.3	78.7	79.1	7.2	13.2	10.9
2.食事介助ができる ④自力での摂食を促し、必要時に介助を行ったか。	75.9	72.1	75.2	9.5	18.0	8.7
2.食事介助ができる ⑤食事の量や水分量の記録をしたか。	92.3	82.0	87.4	1.9	6.9	1.7
3.口腔ケアができる ①出来る利用者には、義歯の着脱、自分で磨ける部分のブラッシング、その後のうがいを促したか。	77.5	69.5	76.7	10.1	21.3	13.1
3.口腔ケアができる ②義歯の着脱の際、利用者に着脱を理解してもらい、口を大きく開けて口腔内に傷をつけないよう配慮しながら、無理なく行ったか。	69.1	48.0	57.0	22.5	43.5	32.8
3.口腔ケアができる ③スポンジブラシやガーゼ等を用いた清拭について、速やかに行い、利用者に不快感を与えなかったか。	62.2	45.9	36.5	28.0	44.9	50.9
3.口腔ケアができる ④歯磨きや清拭の後、口腔内を確認し、磨き残し、歯茎の腫れ、出血等がないか確認したか。	68.1	68.1	58.5	1.4	10.6	6.1

### 3) 排泄介助

#### <種別に関わらず「できる比率が高い項目」>

1.排泄の準備を行うことができる

②排泄介助に当たり、介助内容を伝え、利用者の同意を得たか。(80%以上)

③利用者のADLを把握し、排泄する上で、できる部分は利用者によってもらうようにしたか。(80%以上)

図表 21 事業所別排泄介助

	できる			やっていない/実施していない		
	①施設系 n=1438	②訪問系 n=423	③通所系 n=540	①施設系 n=1438	②訪問系 n=423	③通所系 n=540
1.排泄の準備を行うことができる ①排泄の間隔を確認したか。	83.9	75.9	79.8	2.3	6.1	3.1
1.排泄の準備を行うことができる ②排泄介助に当たり、介助内容を伝え、利用者の同意を得たか。	88.9	92.9	86.3	1.7	2.4	1.3
1.排泄の準備を行うことができる ③利用者のADLを把握し、排泄する上で、できる部分は利用者によってもらうようにしたか。	82.5	82.7	81.7	4.9	9.7	4.6
2.トイレでの排泄介助ができる ①トイレ(ポータブルトイレ)で、利用者の足底がついているか、前屈姿勢がとれているか等座位の安定を確認したか。	83.3	78.3	82.8	6.3	14.9	5.7
2.トイレでの排泄介助ができる ②トイレ(ポータブルトイレ)での排泄の際、カーテンやスクリーンを使用したり、排泄時にはその場を離れ、排泄終了時には教えてくださいと説明する等してプライバシーに配慮したか。	80.3	74.2	81.7	7.6	15.6	7.8
3 2.トイレでの排泄介助ができる ③ズボン、下着を下ろす了承を得て、支えながら下ろしたか。	81.8	78.3	83.0	6.7	16.1	5.9
2.トイレでの排泄介助ができる ④排泄後、利用者にトイレトペーパー等で拭いてもらい、拭き残しがあれば清掃を行うとともに、利用者の手洗いを見守る等により清潔保持をしたか。	72.2	67.1	80.0	8.3	20.6	6.7
2.トイレでの排泄介助ができる ⑤失禁かトイレでの排泄かや、排泄物の量や性状について記録をしたか。	85.3	71.4	74.3	5.9	15.6	7.8
2.トイレでの排泄介助ができる ⑥排泄後、利用者の体調確認を行ったか。	53.7	66.7	56.7	6.5	14.2	5.2
3.おむつ交換を行うことができる ①利用者に尿意、便意の有無、排泄した感じの有無を聞き、おむつ・パッドを換えることなどの介助内容を伝え、承諾を得ているか。	74.2	80.1	62.0	5.5	9.9	23.9
3.おむつ交換を行うことができる ②おむつ・パッド交換の際、カーテンやスクリーンを使用する等してプライバシーに配慮したか。	89.8	77.5	72.4	5.2	10.4	23.3
3.おむつ交換を行うことができる ③おむつ・パッドを装着後、衣服、寝具等にしわがないように整えたか。	80.2	84.6	60.2	4.7	8.7	23.3
3.おむつ交換を行うことができる ④排泄時刻、排泄物の量・性状の異常について記録をしたか。	87.8	77.1	61.9	4.9	11.1	24.1

## 4) 移乗・移動・体位変換

### <種別に関わらず「できる比率が高い項目」>

#### 1.起居の介助ができる

- ①起きる前に、利用者の疾病等に応じて、体調や顔色を確認したか。(80%以上)

### <種別に関わらず「やっていない/実施していない」比率が高い項目>

#### 2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる

- ④スライディングボードやスライディングシート等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。(80%以上)

#### 3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる

- ⑤移乗用リフト等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。(80%以上)

図表 22 事業所別排泄介助

	できる			やっていない/実施していない		
	①施設系 n=1438	②訪問系 n=423	③通所系 n=540	①施設系 n=1438	②訪問系 n=423	③通所系 n=540
1.起居の介助ができる ①起きる前に、利用者の疾病等に応じて、体調や顔色を確認したか。	86.6	89.4	80.7	0.6	5.0	6.9
1.起居の介助ができる ②全介助が必要な利用者の上体がカーブを描くように起こしたか。	73.1	59.8	62.8	12.7	27.9	23.5
1.起居の介助ができる ③一部介助が必要な利用者について、足を曲げてもらう、柵をつかんでもらう等利用者の残存機能を活かしながら起居の支援を行ったか。	74.9	74.0	68.9	11.3	20.6	17.4
1.起居の介助ができる ④利用者を側臥位にし、テコの原理を活用しながら、無理のない起居の介助を行ったか。	81.4	75.7	72.6	4.7	15.1	11.7
2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ①介助を始める前に、車いすのフットレストやブレーキに動作不良がないか、車いすにブレーキがかかっているか、フットレストが上がっているか、タイヤの空気が十分かを予め確認したか。	48.1	57.2	50.9	10.1	22.0	12.4
2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ②利用者に健側の手でベッドから遠い方のアームレストをつかんでもらい、患側を保護しながら前傾姿勢で立ちあがるよう、声かけ、介助を行ったか。	72.0	65.0	70.6	13.6	26.7	16.9
2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ③利用者の健側の足を軸にして体を回転させて、車いすに移乗することができたか。	76.3	68.6	75.6	15.5	25.8	17.2
2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ④スライディングボードやスライディングシート等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。	11.3	8.5	6.3	84.0	87.9	88.5
3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ①介助を始める前に、車いすのフットレストやブレーキに動作不良がないか、車いすにブレーキがかかっているか、フットレストが上がっているか、タイヤの空気が十分かを予め確認したか。	53.4	56.3	47.6	8.2	24.6	21.9
3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ②移乗がしやすいよう、ベッドの高さを調整するとともに、利用者の足底がついた状態で介助を行ったか。	72.1	63.6	59.3	11.1	27.9	25.7
3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ③利用者の体と密着させる、利用者の腰に手を回す、利用者に介護者の肩に手をまわしてもらう等、移乗がしやすい体勢をとったか。	81.9	67.4	70.0	9.9	28.4	22.6
3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ④利用者の体をゆくりと回転させ、車いすに深く座らせることができたか。	80.0	63.1	67.4	9.9	27.0	22.4
3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ⑤移乗用リフト等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。	12.2	11.3	10.9	83.8	84.9	85.2
4.杖歩行の介助ができる ①利用者の杖を持つ手と反対側のやや斜め後ろに立ったか。	47.1	51.5	60.7	43.0	43.3	29.3
4.杖歩行の介助ができる ②二動作歩行や三動作歩行の声かけを行えたか。	36.2	37.6	42.0	46.6	46.3	31.9
4.杖歩行の介助ができる ③急がせず、利用者のペースに合った介助・誘導を行ったか。	54.6	55.1	68.1	41.9	43.3	27.2
5.体位変換ができる ①利用者の膝を立て、テコの原理を活用しながら、体位変換したか。	81.3	76.8	63.3	6.1	15.6	22.2
5.体位変換ができる ②横向きになることができる人には自力で横になってもらったり、膝を自分で曲げられる人には自分で曲げてもらうなど、利用者の残存機能を活かしながら体位変換したか。	73.2	75.4	59.6	12.5	18.0	25.4
5.体位変換ができる ③ベッドの下の方にずり落ちた場合には姿勢を正すなど、身体に摩擦を与えないように体位変換したか。	72.9	66.2	49.4	10.5	22.5	32.6
5.体位変換ができる ④体位変換後、クッションやタオルなどを使用し、安楽な体位保持への介助を行ったか。	88.0	78.0	68.9	6.1	16.5	22.2

## (7) アセッサーの介護職としての経験年数別

アセッサーの介護職としての経験年数別（10年未満、10年以上）で「できる」比率が高い項目と「やっていない/実施していない」比率が高いまたは種別で差がある項目は以下のとおり。

### 1) 入浴介助

#### <アセッサーの介護職としての経験年数に関わらず「できる」比率が高い項目>

##### 1.入浴前の確認ができる

- ①バイタルサインの測定や利用者へのヒアリング等による体調確認、意向確認を行い、入浴の可否について確認したか。(80%以上)
- ②バイタルサインや医療職の指示、既往歴などに基づいて、利用者の状態に応じた入浴方法が選択できたか。(80%以上)

##### 2.衣服の着脱ができる

- ②スクリーンやバスタオル等を使い、プライバシーに配慮したか。(80%以上)

##### 3.洗体ができる

- ④入浴後、体調の確認をし、十分な水分補給ができたか。(80%以上)

図表 23 アセッサーの介護職としての経験年数別入浴介助

	できる		やっていない/実施していない	
	①10年未満 n=1180	②10年以上 n=1337	①10年未満 n=1180	②10年以上 n=1337
1.入浴前の確認ができる ①バイタルサインの測定や利用者へのヒアリング等による体調確認、意向確認を行い、入浴の可否について確認したか。	88.7	90.8	2.5	1.5
1.入浴前の確認ができる ②バイタルサインや医療職の指示、既往歴などに基づいて、利用者の状態に応じた入浴方法が選択できたか。	88.0	89.8	2.9	1.6
2.衣服の着脱ができる ①体調や気候に配慮しながら、利用者の好みの洋服を選んでもらったか。	52.2	54.6	15.9	14.7
2.衣服の着脱ができる ②スクリーンやバスタオル等を使い、プライバシーに配慮したか。	81.5	84.7	1.7	1.0
2.衣服の着脱ができる ③脱衣の際に、健側から患側の順番で行ったか。	79.1	84.9	14.7	10.7
2.衣服の着脱ができる ④ボタンの取り外し等、自力でできるところは自分で行うよう利用者に促したか。	70.1	73.2	7.5	5.5
2.衣服の着脱ができる ⑤しわやたるみがないか確認したか。	79.2	82.3	1.6	0.8
3.洗体ができる ①末梢から中枢の順番で洗い、陰部は健側の手で洗ってもらったか。	59.4	67.2	6.2	3.2
3.洗体ができる ②浴槽に入る時は、利用者に手すりや浴槽の縁をつかんでもらうとともに、バランスを崩さないよう身体を支え、入浴できたか。	69.8	71.3	23.5	22.8
3.洗体ができる ③簡易リフト等、入浴機器を用いて入浴した場合、利用者の身体の位置を確認し、手が挟まれる等の事故に注意して、安全に入浴できたか。	55.5	68.6	39.4	28.9
3.洗体ができる ④入浴後、体調の確認をし、十分な水分補給ができたか。	82.4	83.9	3.4	3.3
4.清拭ができる ①バイタルサインの測定、利用者へのヒアリング等による体調確認の結果や医療職の指示等に基づき、清拭の可否について確認したか。	48.6	49.8	45.4	44.2
4.清拭ができる ②スクリーンやバスタオル等を使い、プライバシーや保温に配慮したか。	46.9	47.9	45.3	44.3
4.清拭ができる ③末梢から中枢の順番で洗うなど、適切な手順でできたか。	43.1	44.0	45.8	44.8

## 2) 食事介助

### <アセッサーの介護職としての経験年数に関わらず「できる比率が高い項目」>

#### 1. 食事前の準備を行うことができる

- ①声を掛けたり肩を叩いたりするなどして、利用者の覚醒状態を確認したか。(90%以上)
- ④飲み込むことができる食べ物の形態かどうかを確認したか。(90%以上)

#### 1. 食事前の準備を行うことができる

- ⑤食べやすい座位の位置や体幹の傾きはないか等座位の安定を確認したか。(80%以上)
- ⑥顎が引けている状態で食事が取れるようにしたか。(80%以上)

#### 2. 食事介助ができる

- ③利用者と同じ目線の高さで介助し、しっかり咀嚼して飲み込んだことを確認してから次の食事を口に運んだか。(80%以上)
- ⑤食事の量や水分量の記録をしたか。(80%以上)

図表 24 アセッサーの介護職としての経験年数別食事介助

	できる		やっていない/実施していない	
	①10年未満 n=1180	②10年以上 n=1337	①10年未満 n=1180	②10年以上 n=1337
1. 食事前の準備を行うことができる ①声を掛けたり肩を叩いたりするなどして、利用者の覚醒状態を確認したか。	94.0	93.7	1.9	1.8
1. 食事前の準備を行うことができる ②嚥下障害のある利用者の食事にとろみをつけたか。	64.4	67.8	30.8	27.9
1. 食事前の準備を行うことができる ③禁忌食の確認をしたか。	66.3	62.7	13.6	14.4
1. 食事前の準備を行うことができる ④飲み込むことができる食べ物の形態かどうかを確認したか。	92.0	92.3	2.3	1.4
1. 食事前の準備を行うことができる ⑤食べやすい座位の位置や体幹の傾きはないか等座位の安定を確認したか。	87.1	88.9	1.0	0.7
1. 食事前の準備を行うことができる ⑥顎が引けている状態で食事が取れるようにしたか。	83.5	85.4	2.2	2.1
2. 食事介助ができる ①食事の献立や中身を利用者説明する等食欲がわくように声かけを行ったか。	72.9	76.8	2.1	1.5
2. 食事介助ができる ②利用者の食べたいものを聞きながら介助したか。	57.7	60.1	10.5	9.1
2. 食事介助ができる ③利用者と同じ目線の高さで介助し、しっかり咀嚼して飲み込んだことを確認してから次の食事を口に運んだか。	81.2	84.4	9.5	8.2
2. 食事介助ができる ④自力での摂食を促し、必要時に介助を行ったか。	74.0	76.2	11.2	10.3
2. 食事介助ができる ⑤食事の量や水分量の記録をしたか。	88.8	90.2	2.5	2.7
3. 口腔ケアができる ①出来る利用者には、義歯の着脱、自分で磨ける部分のブラッシング、その後のうがい促したか。	74.9	77.0	14.1	11.9
3. 口腔ケアができる ②義歯の着脱の際、利用者に着脱を理解してもらい、口を大きく開けて口腔内に備をつけないよう配慮しながら、無理なく行ったか。	58.6	66.3	31.8	25.6
3. 口腔ケアができる ③スポンジブラシやガーゼ等を用いた清拭について、速やかに行い、利用者に不快感を与えなかったか。	51.5	55.6	37.5	34.3
3. 口腔ケアができる ④歯磨きや清拭の後、口腔内を確認し、磨き残し、歯茎の腫れ、出血等がないか確認したか。	64.8	67.5	4.6	3.4

### 3) 排泄介助

#### <アセッサーの介護職としての経験年数に関わらず「できる比率が高い項目」>

- 1.排泄の準備を行うことができる
  - ②排泄介助に当たり、介助内容を伝え、利用者の同意を得たか。(80%以上)
  - ③利用者のADLを把握し、排泄する上で、できる部分は利用者によってもらうようにしたか。(80%以上)
- 2.トイレでの排泄介助ができる
  - ①トイレ(ポータブルトイレ)で、利用者の足底がついているか、前屈姿勢がとれているか等座位の安定を確認したか。(80%以上)
  - ③ズボン、下着を下ろす了承を得て、支えながら下ろしたか。(80%以上)
- 3.おむつ交換を行うことができる
  - ②おむつ・パッド交換の際、カーテンやスクリーンを使用する等してプライバシーに配慮したか。(80%以上)

図表 25 アセッサーの介護職としての経験年数別排泄介助

	できる		やっていない/実施していない	
	①10年未満 n=1180	②10年以上 n=1337	①10年未満 n=1180	②10年以上 n=1337
1.排泄の準備を行うことができる ①排泄の間隔を確認したか。	79.6	83.1	3.4	3.1
1.排泄の準備を行うことができる ②排泄介助に当たり、介助内容を伝え、利用者の同意を得たか。	87.3	90.7	2.2	1.3
1.排泄の準備を行うことができる ③利用者のADLを把握し、排泄する上で、できる部分は利用者によってもらうようにしたか。	81.4	83.4	6.1	5.5
2.トイレでの排泄介助ができる ①トイレ(ポータブルトイレ)で、利用者の足底がついているか、前屈姿勢がとれているか等座位の安定を確認したか。	81.5	83.2	8.9	6.9
2.トイレでの排泄介助ができる ②トイレ(ポータブルトイレ)での排泄の際、カーテンやスクリーンを使用したり、排泄時にはその場を離れ、排泄終了時には教えてくださいと説明する等してプライバシーに配慮したか。	76.2	82.6	10.2	8.2
3. 2.トイレでの排泄介助ができる ③ズボン、下着を下ろす了承を得て、支えながら下ろしたか。	80.0	82.6	9.2	7.5
2.トイレでの排泄介助ができる ④排泄後、利用者にトイレトペーパー等で拭いてもらい、拭き残しがあれば清拭を行うとともに、利用者の手洗いを見守る等により清潔保持をしたか。	70.5	75.5	10.9	9.6
2.トイレでの排泄介助ができる ⑤失禁かトイレでの排泄かや、排泄物の量や性状について記録をしたか。	78.8	81.7	8.7	7.8
2.トイレでの排泄介助ができる ⑥排泄後、利用者の体調確認を行ったか。	55.3	58.1	8.0	7.4
3.おむつ交換を行うことができる ①利用者に尿意、便意の有無、排泄した感じの有無を聞き、おむつ・パッドを換えることなどの介助内容を伝え、承諾を得ているか。	71.0	74.6	12.1	8.6
3.おむつ交換を行うことができる ②おむつ・パッド交換の際、カーテンやスクリーンを使用する等してプライバシーに配慮したか。	81.1	86.2	11.4	8.8
3.おむつ交換を行うことができる ③おむつ・パッドを装着後、衣服、寝具等にしわがないように整えたか。	73.7	78.9	11.1	8.0
3.おむつ交換を行うことができる ④排泄時刻、排泄物の量・性状の異常について記録をしたか。	77.5	82.3	11.9	8.6

#### 4) 移乗・移動・体位変換

##### <種別に関わらず「できる比率が高い項目」>

###### 1.起居の介助ができる

- ①起きる前に、利用者の疾病等に応じて、体調や顔色を確認したか。(80%以上)

##### <アセッサーの介護職としての経験年数に関わらず「やっていない/実施していない」比率が高い項目>

###### 2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる

- ④スライディングボードやスライディングシート等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。(80%以上)

###### 3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる

- ⑤移乗リフト等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。(80%以上)

図表 26 アセッサーの介護職としての経験年数別移乗・移動・体位変換

	できる		やっていない/実施していない	
	①10年未満 n=1180	②10年以上 n=1337	①10年未満 n=1180	②10年以上 n=1337
1.起居の介助ができる ①起きる前に、利用者の疾病等に応じて、体調や顔色を確認したか。	85.2	86.2	3.1	2.2
1.起居の介助ができる ②全介助が必要な利用者の上体がカーブを描くように起こしたか。	64.3	72.4	21.1	14.8
1.起居の介助ができる ③一部介助が必要な利用者について、足を曲げてもらう、褥をつかんでもらう等利用者の残存機能を活かしながら起居の支援を行ったか。	71.9	75.0	15.6	13.0
1.起居の介助ができる ④利用者を側臥位にし、テコの原理を活用しながら、無理のない起居の介助を行ったか。	76.0	80.7	9.8	6.4
2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ①介助を始める前に、車いすのフットレストやブレーキに動作不良がないか、車いすにブレーキがかかっているか、フットレストが上がっているか、タイヤの空気が十分かを予め確認したか。	47.3	53.1	15.4	10.4
2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ②利用者に健側の手でベッドから遠い方のアームレストをつかんでもらい、患側を保護しながら前傾姿勢で立ちあがるよう、声かけ、介助を行ったか。	67.1	73.3	19.6	14.1
2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ③利用者の健側の足を軸にして体を回転させて、車いすに移乗することができたか。	72.4	77.0	20.3	15.2
2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ④スライディングボードやスライディングシート等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。	8.7	10.6	86.8	84.7
3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ①介助を始める前に、車いすのフットレストやブレーキに動作不良がないか、車いすにブレーキがかかっているか、フットレストが上がっているか、タイヤの空気が十分かを予め確認したか。	49.1	56.4	17.5	10.8
3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ②移乗しやすいよう、ベッドの高さを調整するとともに、利用者の足底がついた状態で介助を行ったか。	65.5	70.5	21.2	13.4
3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ③利用者の体と密着させる、利用者の腰に手を回す、利用者に介護者の肩に手をまわしてもらう等、移乗しやすい体勢をとったか。	72.4	81.2	19.6	12.3
3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ④利用者の体をゆっくりと回転させ、車いすに深く座らせることができたか。	69.2	79.4	19.1	12.2
3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ⑤移乗リフト等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。	12.3	12.2	84.0	84.0
4.杖歩行の介助ができる ①利用者の杖を持つ手と反対側のやや斜め後ろに立ったか。	48.0	53.5	42.2	38.0
4.杖歩行の介助ができる ②二動作歩行や三動作歩行の声かけを行えたか。	35.3	39.8	44.4	42.3
4.杖歩行の介助ができる ③急がせず、利用者のペースに合った介助・誘導を行ったか。	55.5	59.7	40.8	37.1
5.体位変換ができる ①利用者の膝を立て、テコの原理を活用しながら、体位変換したか。	74.0	79.4	13.9	8.7
5.体位変換ができる ②横向きになることができる人には自力で横になってもらったり、膝を自分で曲げられる人には自分で曲げてもらうなど、利用者の残存機能を活かしながら体位変換したか。	67.2	73.4	18.9	14.4
5.体位変換ができる ③ベッドの下の方にずり落ちた場合には姿勢を正すなど、身体に摩擦を与えないように体位変換したか。	62.9	69.9	21.1	14.5
5.体位変換ができる ④体位変換後、クッションやタオルなどを使用し、安楽な体位保持への介助を行ったか。	79.2	85.1	14.9	8.2

### Ⅲ.「統合データ」分析及び「統合データトライアル評価(うちトライアル評価)」分析

H23～H25トライアル評価を実施したデータの統合(標本数 600 件)

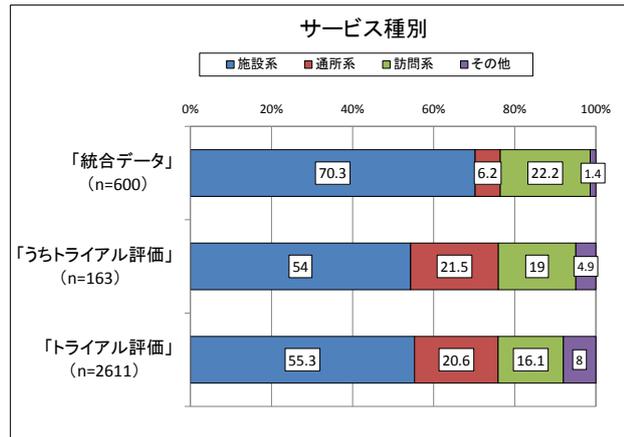
統合データトライアル評価(以下、うちトライアル評価)(標本数 163 件)

#### 1. 属性

##### 1) アセッサー属性

「統合データ」のサービス種別は、「施設系」70.3%、「訪問系」22.2%、「通所系」6.2%、「その他」1.4%で、「トライアル評価」に比べ、「統合データ」は「施設系」の比率が高く、「通所系」の比率が低い。なお、「うちトライアル評価」(n=163)については、「トライアル評価」とほぼ同様である。

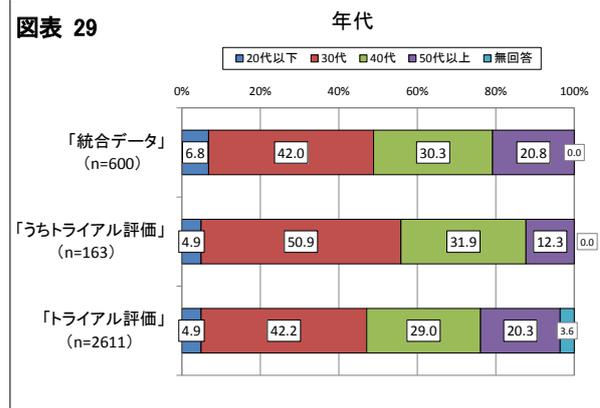
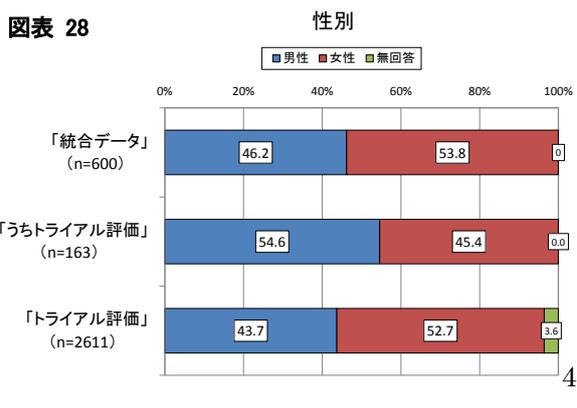
図表 27 事業所のサービス種別



図表 27 「統合データ」内訳

サービス種別 (n=600)					
施設系 70.3%	介護老人福祉施設(特養)	36.3%	訪問系 22.2%	訪問介護	21.7%
	介護老人保健施設	19.2%		訪問入浴介護	0.3%
	認知症対応型共同生活介護	11.5%		定期巡回随時対応訪問介護看護	0.2%
	小規模多機能型居宅介護	1.8%	通所系 6.2%	通所介護	5.2%
	認知症対応型通所介護	0.7%		通所リハ	1.0%
	短期入所生活介護	0.3%	その他 1.4%	その他	1.2%
	特定施設入居者生活介護	0.3%		複合型サービス	0.2%
	介護療養型医療施設	0.2%			

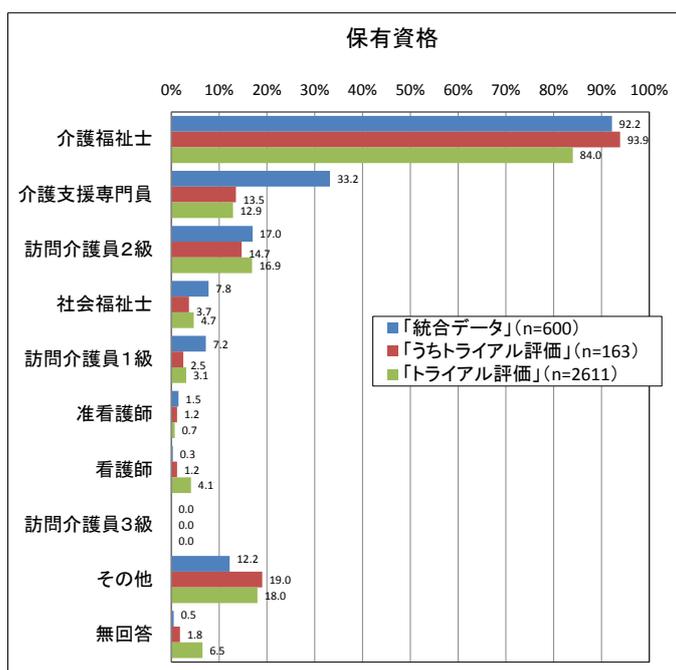
「統合データ」のアセッサーの属性を見ると、性別では「女性」の比率が高く、年代別では「30代」42%、「40代」30.3%の比率が高く、両者で7割を占める。なお、「うちトライアル評価」については「男性」比率が高く、年代は「30代」の比率が高く、「50代以上」の比率が低い。



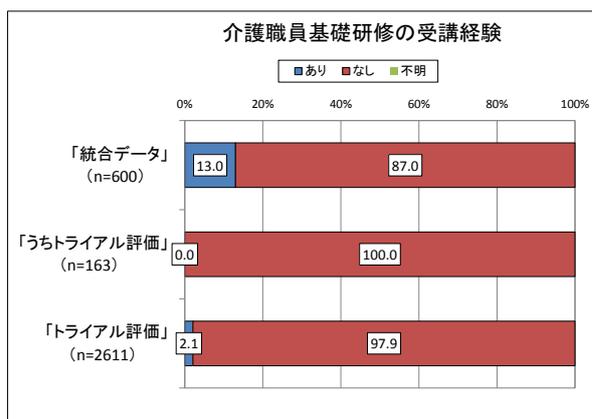
保有資格を見ると、「統合データ」は「介護福祉士」が92.2%と保有比率が高く、次いで「介護支援専門員」が33.2%で、「介護職員基礎研修」の受講経験「あり」は13.0%である。一方、「うちトライアル評価」の保有資格は「トライアル評価」とほぼ同様の傾向で、また「介護職員基礎研修」受講者は含まれていない。

介護職員としての経験年数を見ると「統合データ」は「10年以上」が60.8%と比率が高く、次いで「5年以上10年未満」が32.7%で、5年以上が全体の9割を占め、また「1年未満」は見られない。「うちトライアル評価」については、年代は「統合データ」に比べ若いものの、経験年数は同様となっている。

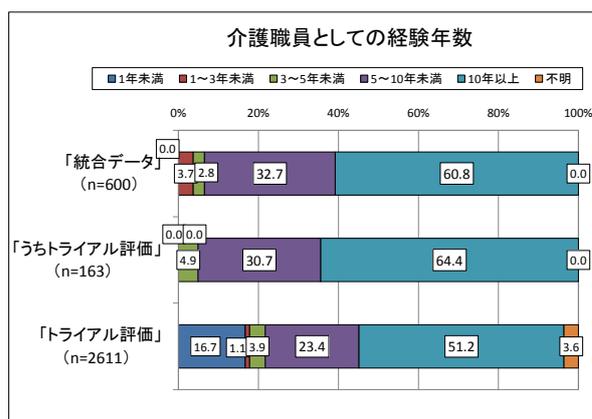
図表 30



図表 31



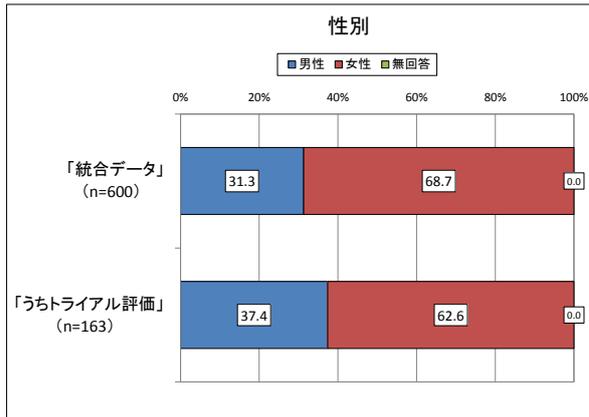
図表 32



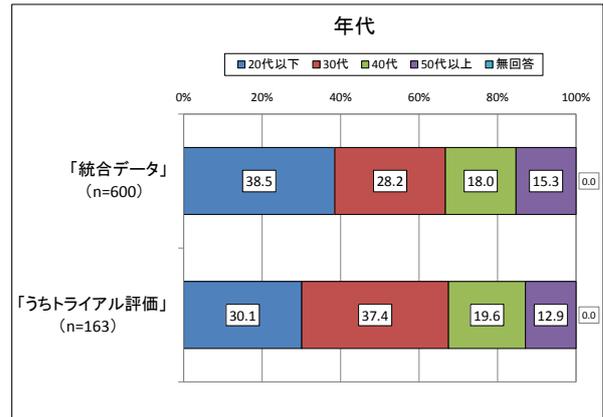
## 2) 被評価者属性

「統合データ」の被評価者の属性を見ると、性別では「女性」の比率が7割と高く、年代別では「20代以下」38.5%、「30代」28.2%で、30代以下が2/3を占める。なお、「うちトライアル評価」については性別の比率には「統合データ」との差は見られないが、年代は「30代」の比率が高く、次いで「20代以下」の比率が高い。

図表 33



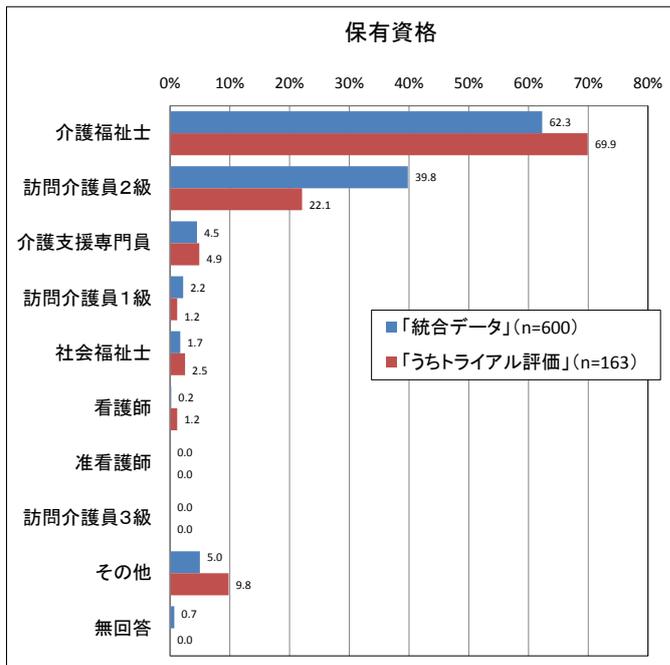
図表 34



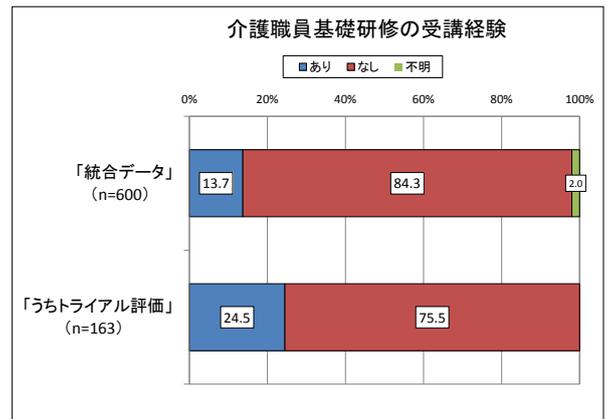
保有資格を見ると、「統合データ」は「介護福祉士」が62.3%、次いで「訪問介護員2級」39.8%の比率が高く、「介護職員基礎研修」の受講経験「あり」は13.7%である。

一方、「うちトライアル評価」については、「訪問介護員2級」の保有資格が「統合データ」に比べ低くなっている。なお、「うちトライアル評価」の「介護職員基礎研修」受講については、アセッサーでは一人も見られなかったが(図表 31)、被評価者については4人に1人が受講している。(図表 36)

図表 35



図表 36

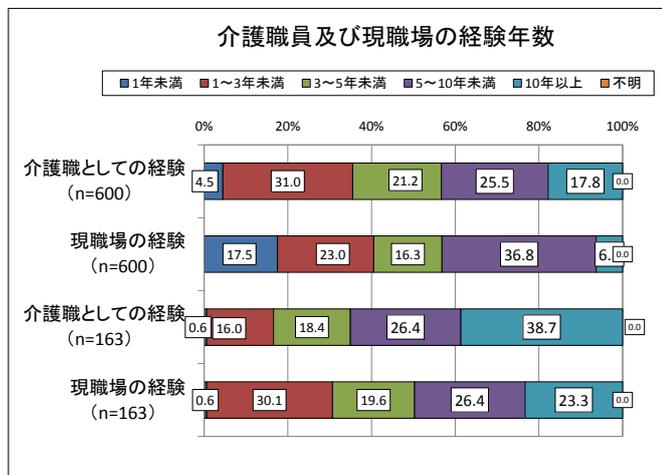


被評価者の介護職員としての経験年数は「1年以上3年未満」が31.0%、次いで「5年以上10年未満」が25.5%と比率が高く、3年以上が2/3を占めている。現職場の経験年数については、介護職員の経験年数に比べ、「10年以上」の比率が低く、「1年未満」の比率が高い。

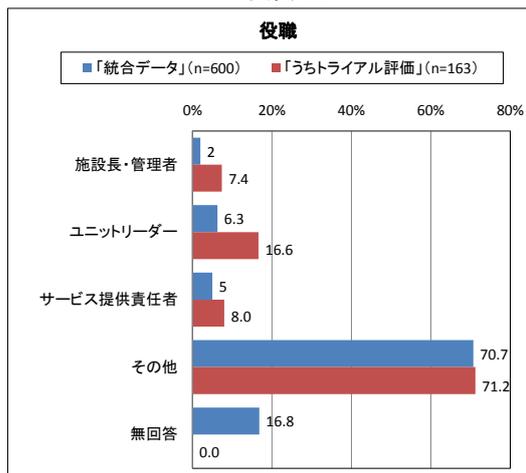
「うちトライアル評価」は「統合データ」に比べ介護職員としての経験年数が長く、また現職場における経験も長い。

資格と実務経験を見ると、「介護福祉士（実務者ルート）」の比率が高く、次いで「ホームヘルパー2級研修等（当該資格等取得後実務経験1-3年）」「介護福祉士（養成施設卒業者）（当該資格等取得後実務経験1-3年）」の比率が高い。なお、「うちトライアル評価」も同様であるが、「ホームヘルパー2級研修等（当該資格等取得後実務経験1-3年）」の比率がやや低くなっている。

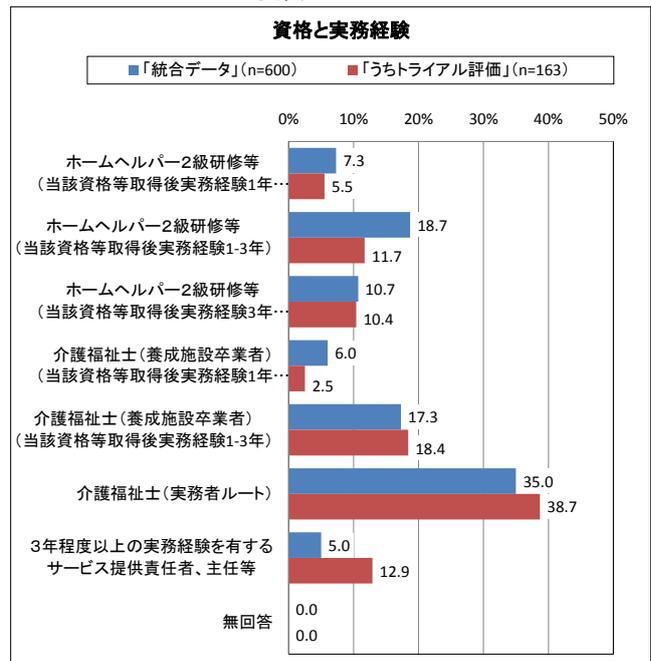
図表 37



図表 38



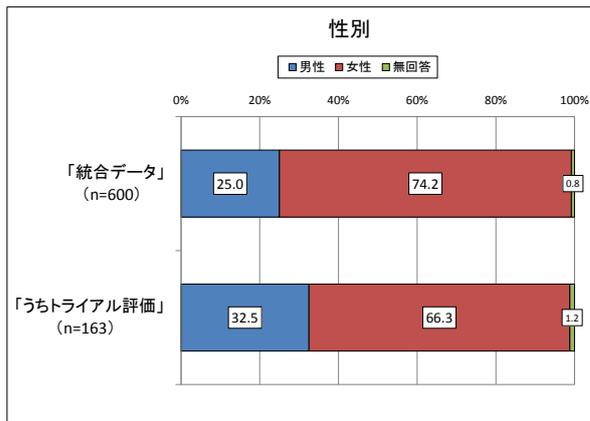
図表 39



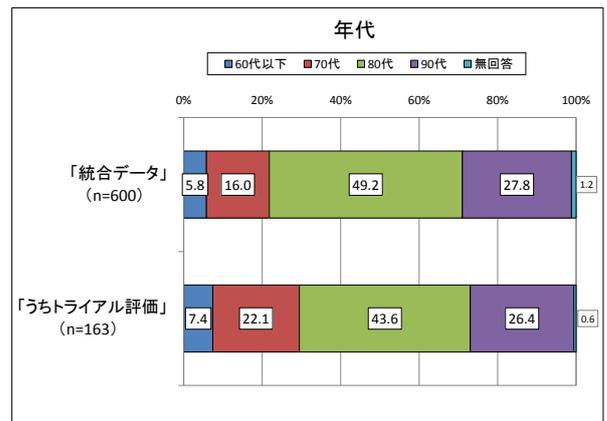
### 3) 利用者属性

利用者属性を見ると、「統合データ」は「女性」の比率が高く 3/4 を占め、年代は「80代」が 49.2%と最も比率が高く、次いで「90代」が 27.8%を占める。要介護度では「介護度 4」が 40.3%、次いで「介護度 5」が 36.0%で、認知症高齢者の日常生活自立度は「Ⅲ」及び障害高齢者の日常生活自立度は「B」以上の寝たきりが 2/3 を占めている。

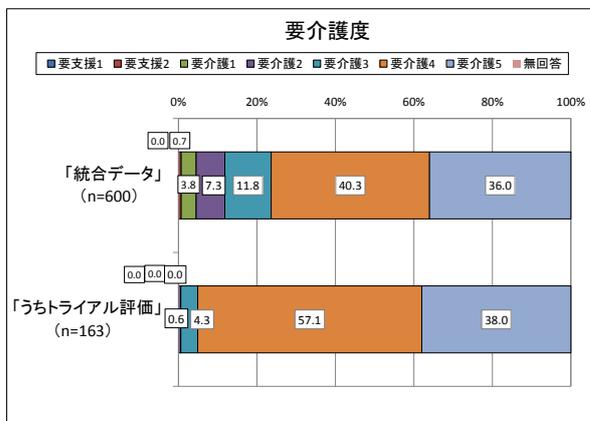
図表 40



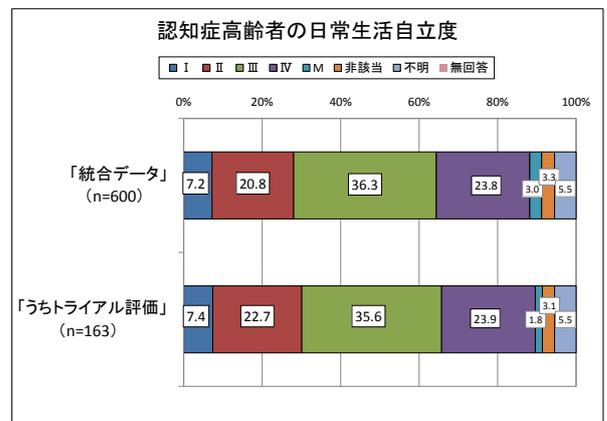
図表 41



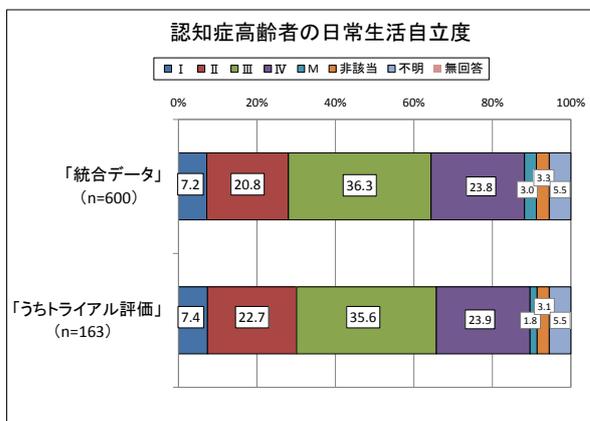
図表 42



図表 43

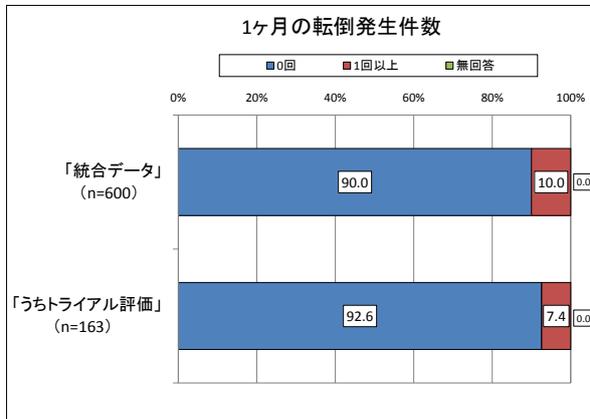


図表 44

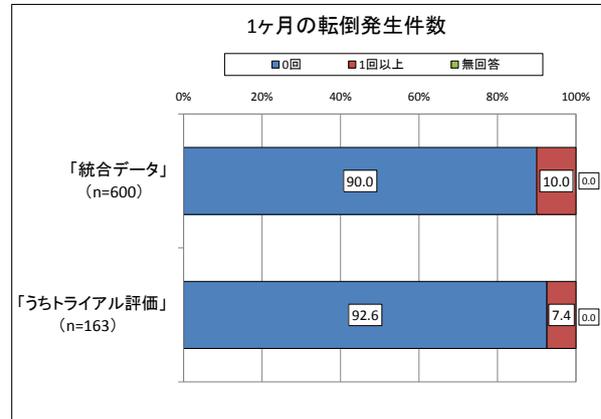


1ヶ月の転倒発生件数は「1回以上」が1割見られ、拘束発生件数は「1回」は0%であるが、「統合データ」で「2回以上」が1.5%見られた。

図表 45



図表 46

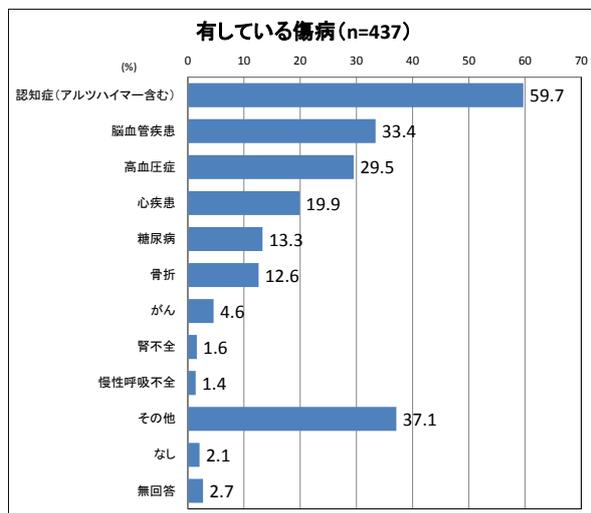


※参考データ

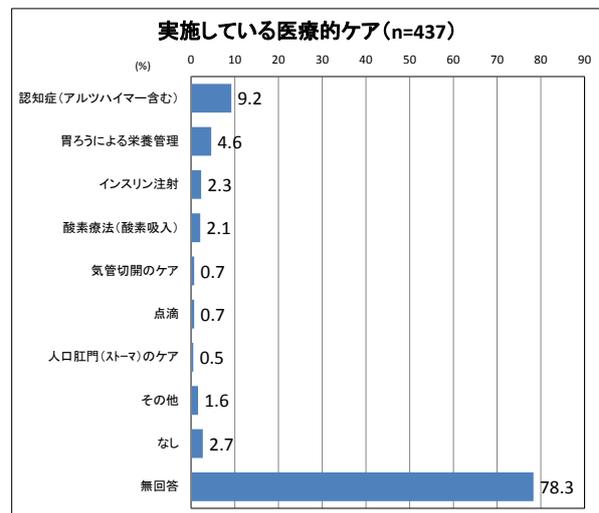
「有している傷病」、「実施している医療的ケア」及び「DASC」については、(ア) (イ) (ウ) で収集したデータ (n=437)

「利用者の状態」は (エ) (オ) で収集したデータ (n=163)

図表 47 (アイウのみ)



図表 48 (アイウのみ)



図表 49 DASC(アイウのみ)

(n=437)

	感じない	少し感じる	感じる	とても感じる	無回答
①もの忘れが多いと感じますか	8.9	14.6	30.4	43.0	3.0
②1年前と比べて、もの忘れが増えたと感じますか	22.0	27.0	25.4	22.2	3.4
	全くない	時々ある	頻繁にある	いつもそうだ	無回答
③財布や鍵など、物を置いた場所がわからなくなることがあります	11.2	22.7	15.8	47.1	3.2
④5分前に聞いた話を思い出せないことがありますか	15.1	17.6	20.8	43.7	2.7
⑤自分の生年月日がわからなくなることがあります	26.3	17.4	11.7	41.9	2.7
⑥今日が何月何日かわからなくなることがあります	11.4	14.4	14.6	56.8	2.7
⑦自分のいる場所がどこかわからなくなることがあります	29.1	15.8	11.9	40.0	3.2
⑧道に迷って家に帰ってこれなくなることはありますか	37.1	5.9	5.0	45.5	6.4
	問題なくできる	だいたいできる	あまりできない	全くできない	無回答
⑨電気や水道やガスが止まってしまったときに、自分で適切に対処できますか	1.6	1.6	5.7	89.9	1.1
⑩一日の計画を自分で立てることができますか	3.9	8.2	14.6	72.3	0.9
⑪季節や状況に合った服を自分で選ぶことができますか	6.2	13.7	19.0	60.2	0.9
⑫一人で買い物に行けますか	1.4	1.4	3.9	92.0	1.4
⑬バスや電車、自家用車などを使って一人で外出できますか	1.1	0.5	2.1	95.2	1.1
⑭貯金のお出し入れ、家賃や公共料金の支払いは一人でできますか	1.1	1.4	2.3	93.8	1.4
⑮電話をかけることができますか	3.2	7.1	11.9	76.2	1.6
⑯自分で食事の準備はできますか	1.1	1.4	5.7	90.4	1.4
⑰自分で、薬を決まった時間に決まった分量のむことはできますか	2.7	4.6	10.8	78.9	3.0
	問題なくできる	見守りや声かけを要する	一部介助を要する	全介助を要する	無回答
⑱入浴は一人でできますか	2.3	2.7	27.9	65.7	1.4
⑲着替えは一人でできますか	6.4	4.6	35.9	51.7	1.4
⑳トイレは一人でできますか	6.9	9.4	29.7	53.1	0.9

図表 50 利用者の状態(エオのみ)

(n=163)

	できる	できない	無回答	
(1)どちらかの手を胸元まで持ち上げられる	89.6	10.4	-	
(3)起き上がり	23.9	76.1	-	
(7)口腔清潔	35.6	63.8	0.6	
	できる	何かにつかまればできる	できない	無回答
(2)寝返り	14.1	47.2	38.7	-
	できる	支えがあればできる	できない	無回答
(4)座位保持	20.9	69.9	9.2	-
	できる	見守り・一部介助が必要	できない	無回答
(5)移乗	2.5	47.2	49.7	0.6
	できる	できる時とできない時がある	できない	無回答
(10)他者への意思の伝達	25.2	63.8	10.4	0.6
	介助を要しない移動	介助を要する移動	無回答	
(6)移動方法(主要なもの一つ)	6.1	93.9	-	
	介助なし	一部介助	全介助	無回答
(8)食事摂取	15.3	60.7	23.9	-
(9)衣服の着脱	0.0	47.9	52.1	-
	はい	いいえ	無回答	
(11)介護に係る指示が通じる	73.0	27.0	-	
(12)BPSD等に関する特別の介護を提供している	17.2	82.2	0.6	

## 2. 評価結果（62項目）

### （1）「やっていない/実施していない」比率が高いチェック項目

「やっていない/実施していない」比率が8割程度またはそれ以上の項目は5項目で（「トライアル評価」は2項目）、いずれも「移乗・移動・体位変換」の項目である。また、未実施率が4割以上の項目は21項目と「トライアル評価」の7項目に比べ多くなっている。これは、「統合データ」は一人の被評価者に対し評価を行っているためである。

#### 【移乗・移動・体位変換】

2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる

④スライディングボードやスライディングシート等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。

4.杖歩行の介助ができる

\*②二動作歩行や三動作歩行の声かけを行えたか。

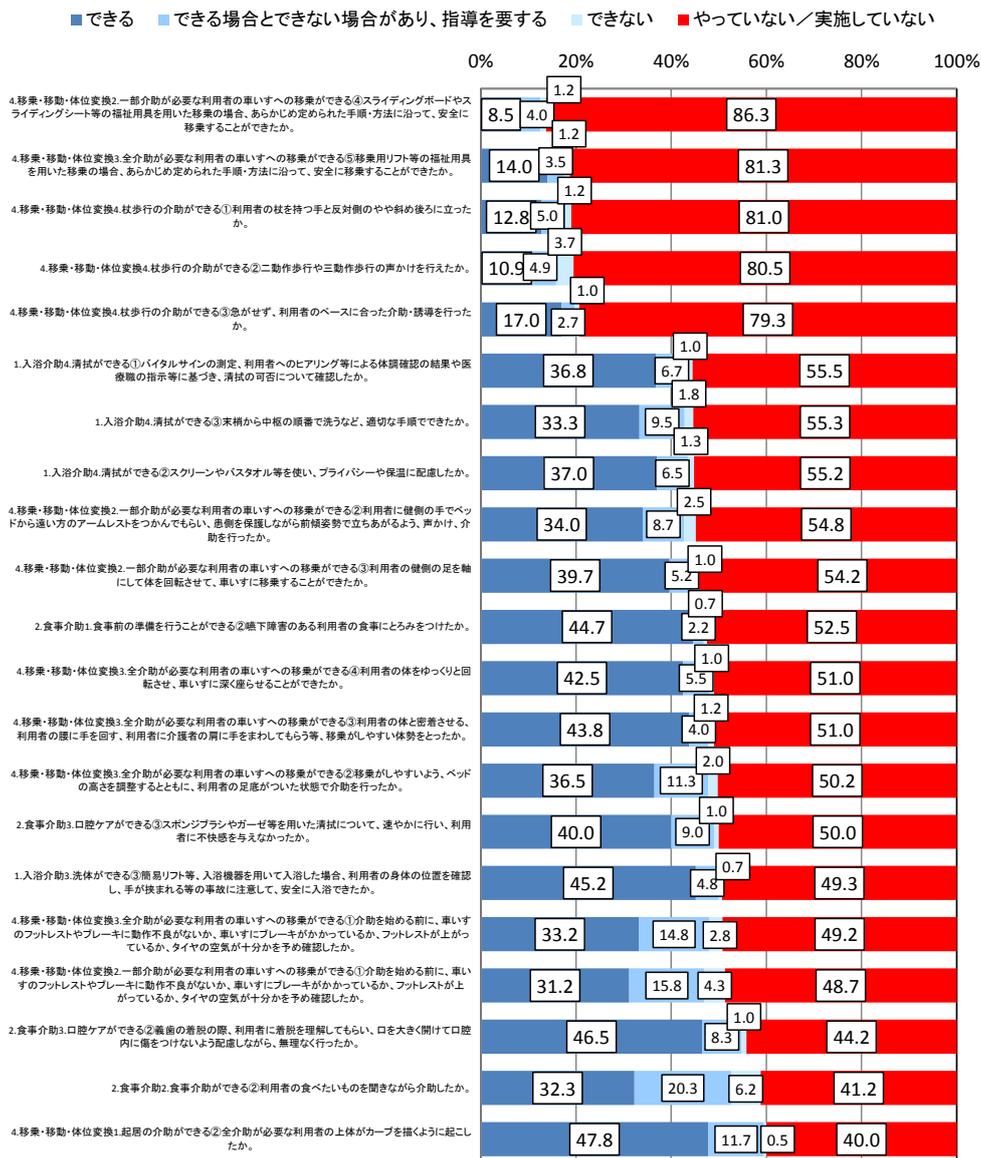
①利用者の杖を持つ手と反対側のやや斜め後ろに立ったか。

③急がせず、利用者のペースに合った介助・誘導を行ったか。

3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる

⑤移乗用リフト等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。

図表 51 「やっていない/実施していない」比率が高いチェック項目

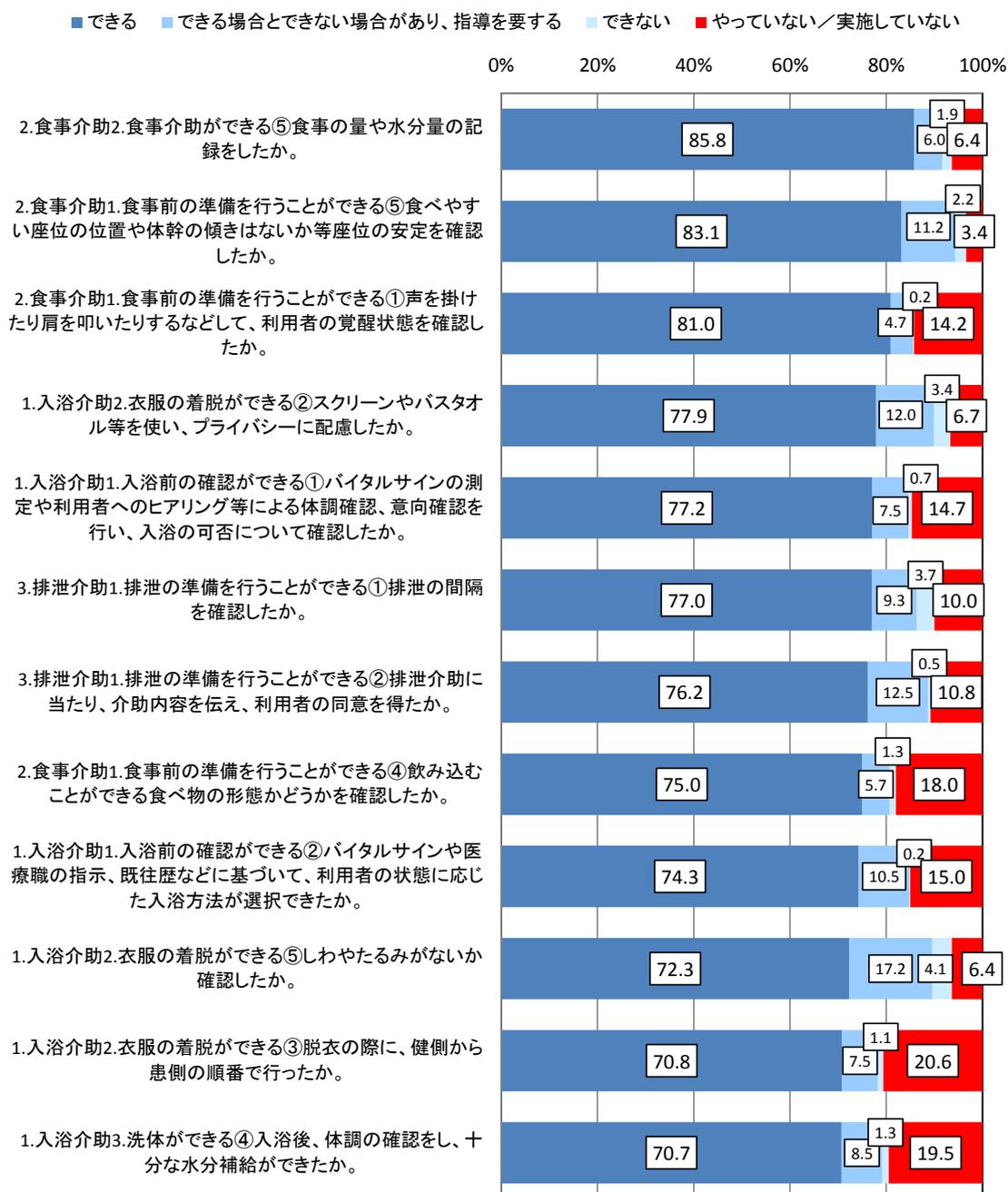


## (2) 「できる」比率が高いチェック項目

「できる」比率が8割を超えた項目は3項目（「トライアル評価」は22項目）で、7割を超えた項目は12項目にとどまる。8割を超えた項目はいずれも「食事介助」である。

- 【食事介助】
- 2.食事介助ができる
    - ⑤食事の量や水分量の記録をしたか。
  - 1.食事前の準備を行うことができる
    - ⑤食べやすい座位の位置や体幹の傾きはないか等座位の安定を確認したか。
    - ①声を掛けたり肩を叩いたりするなどして、利用者の覚醒状態を確認したか。

図表 52 「できる」比率が高いチェック項目



### (3) 「できる」比率が低いチェック項目

「できる」比率が6割を下回った項目は41項目（「トライアル評価」は14項目）、4割を下回ったのは14項目で、その中でも特に5項目が低くなっている（「トライアル評価」は2項目）が、いずれも「やっていない/実施していない」が8割と高い。

また、その他の9項目中6項目についても「やっていない/実施していない」比率が5割を上回っており、実施している人に占める「できる」割合は7割以上となる。

#### 【移乗・移動・体位変換】

2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる

④スライディングボードやスライディングシート等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。

4.杖歩行の介助ができる

\*②二動作歩行や三動作歩行の声かけを行えたか。

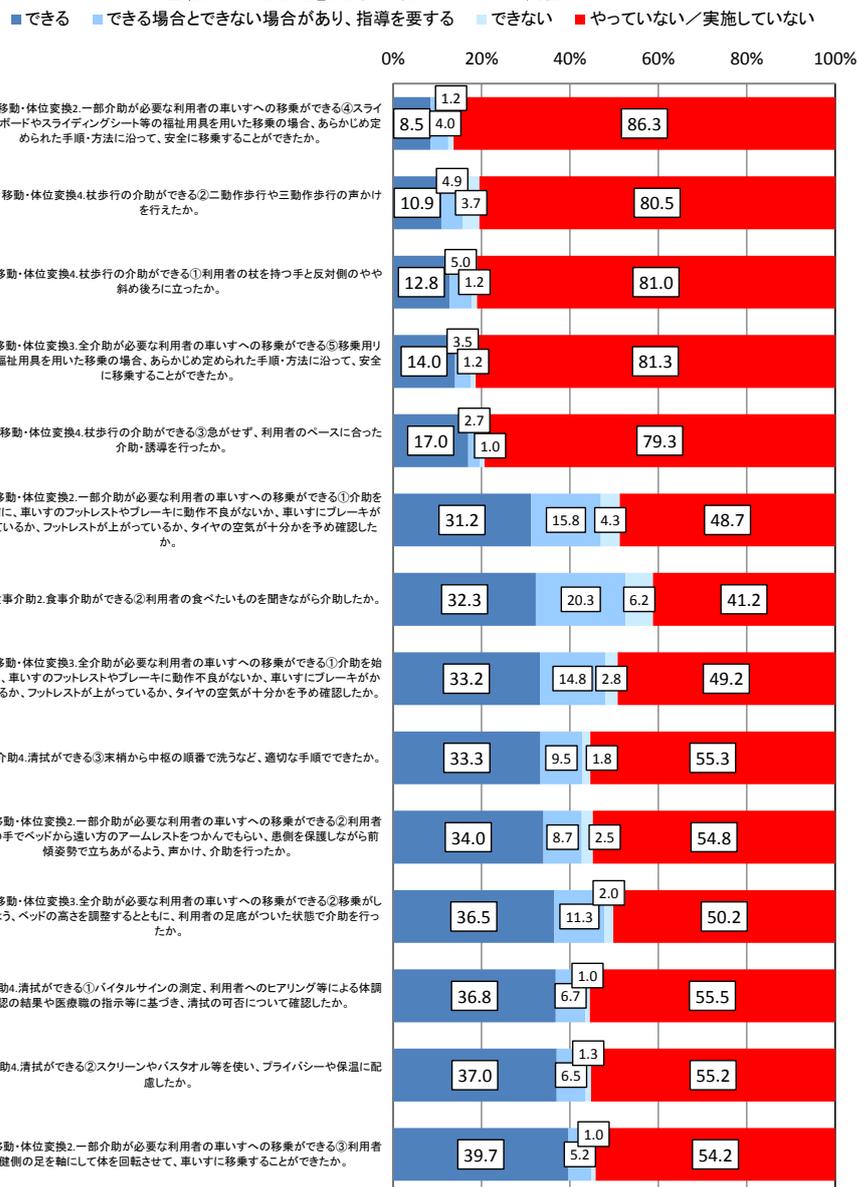
①利用者の杖を持つ手と反対側のやや斜め後ろに立ったか。

③急がせず、利用者のペースに合った介助・誘導を行ったか。

3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる

⑤移乗用リフト等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。

図表 53「できる」比率が低いチェック項目



## (4) カテゴリー別

### 1) 入浴介助

#### <「できる比率が高い項目」>

##### 「うちトライアル評価」のみ

##### 1.入浴前の確認ができる

①バイタルサインの測定や利用者へのヒアリング等による体調確認、意向確認を行い、入浴の可否について確認したか。(80%以上)

②バイタルサインや医療職の指示、既往歴などに基づいて、利用者の状態に応じた入浴方法が選択できたか。(80%以上)

##### 2.衣服の着脱ができる

②スクリーンやバスタオル等を使い、プライバシーに配慮したか。(80%以上)

#### <「やっていない/実施していない」比率が高い項目>

##### 4.清拭ができる

①バイタルサインの測定、利用者へのヒアリング等による体調確認の結果や医療職の指示等に基づき、清拭の可否について確認したか。(50%以上)

②スクリーンやバスタオル等を使い、プライバシーや保温に配慮したか。(50%以上)

③末梢から中枢の順番で洗うなど、適切な手順でできたか。(50%以上)

図表 54 入浴介助

	できる		やっていない/実施していない	
	「統合データ」 n=600/ * n=267	「うちトライアル評価」 n=163	「統合データ」 n=600/ * n=267	「うちトライアル評価」 n=163
1.入浴前の確認ができる ①バイタルサインの測定や利用者へのヒアリング等による体調確認、意向確認を行い、入浴の可否について確認したか。	77.2	84.7	14.7	6.7
1.入浴前の確認ができる ②バイタルサインや医療職の指示、既往歴などに基づいて、利用者の状態に応じた入浴方法が選択できたか。	74.3	87.1	15.0	6.7
2.衣服の着脱ができる ①体調や気候に配慮しながら、利用者の好みの洋服を選んでもらったか。	41.6	48.5	24.3	20.2
2.衣服の着脱ができる ②スクリーンやバスタオル等を使い、プライバシーに配慮したか。	77.9	83.4	6.7	3.7
2.衣服の着脱ができる ③脱衣の際に、健側から患側の順番で行ったか。	70.8	76.7	20.6	16.0
2.衣服の着脱ができる ④ボタンの取り外し等、自力でできるところは自分で行うよう利用者に促したか。	61.8	65.0	12.0	9.8
2.衣服の着脱ができる ⑤しわやたるみがないか確認したか。	72.3	76.1	6.4	3.7
3.洗体ができる ①末梢から中枢の順番で洗い、陰部は健側の手で洗ってもらったか。	49.8	63.2	27.8	10.4
3.洗体ができる ②浴槽に入る時は、利用者に手すりや浴槽の縁をつかんでもらうとともに、バランスを崩さないよう身体を支え、入浴できたか。	55.8	61.3	36.7	31.3
3.洗体ができる ③簡易リフト等、入浴機器を用いて入浴した場合、利用者の身体の位置を確認し、手が挟まれる等の事故に注意して、安全に入浴できたか。	45.2	59.5	49.3	35.0
3.洗体ができる ④入浴後、体調の確認をし、十分な水分補給ができたか。	70.7	79.1	19.5	6.1
4.清拭ができる ①バイタルサインの測定、利用者へのヒアリング等による体調確認の結果や医療職の指示等に基づき、清拭の可否について確認したか。	36.8	34.4	55.5	58.9
4.清拭ができる ②スクリーンやバスタオル等を使い、プライバシーや保温に配慮したか。	37.0	30.7	55.2	59.5
4.清拭ができる ③末梢から中枢の順番で洗うなど、適切な手順でできたか。	33.3	30.1	55.3	60.1

## 2) 食事介助

### <「できる比率が高い項目」>

#### 1. 食事前の準備を行うことができる

- ①声を掛けたり肩を叩いたりするなどして、利用者の覚醒状態を確認したか。(80%以上)
- ⑤食べやすい座位の位置や体幹の傾きはないか等座位の安定)を確認したか。(80%以上)

#### 2. 食事介助ができる

- ⑤食事の量や水分量の記録をしたか。(80%以上)

### 「うちトライアル評価」のみ

#### 1. 食事前の準備を行うことができる

- ④飲み込むことができる食べ物の形態かどうかを確認したか。(90%以上)
- ⑥顎が引けている状態で食事が取れるようにしたか。(80%以上)

図表 55 食事介助

	できる		やっていない/実施していない	
	「統合データ」	「うちトライアル評価」	「統合データ」	「うちトライアル評価」
	n=600/ * n=267	n=163	n=600/ * n=267	n=163
1. 食事前の準備を行うことができる ①声を掛けたり肩を叩いたりするなどして、利用者の覚醒状態を確認したか。	81.0	90.2	14.2	2.5
1. 食事前の準備を行うことができる ②嚥下障害のある利用者の食事にとろみをつけたか。	44.7	56.4	52.5	39.3
1. 食事前の準備を行うことができる ③禁忌食の確認をしたか。	55.8	67.5	30.5	11.0
1. 食事前の準備を行うことができる ④飲み込むことができる食べ物の形態かどうかを確認したか。	75.0	90.8	18.0	1.8
1. 食事前の準備を行うことができる ⑤食べやすい座位の位置や体幹の傾きはないか等座位の安定を確認したか。	83.1	90.2	3.4	
1. 食事前の準備を行うことができる ⑥顎が引けている状態で食事が取れるようにしたか。	68.5	85.3	21.5	3.7
2. 食事介助ができる ①食事の献立や中身を利用者説明する等食欲がわくように声かけを行ったか。	53.7	73.0	22.0	0.6
2. 食事介助ができる ②利用者の食べたいものを聞きながら介助したか。	32.3	56.4	41.2	18.4
2. 食事介助ができる ③利用者と同じ目線の高さで介助し、しっかり咀嚼して飲み込んだことを確認してから次の食事を口に運んだか。	58.1	71.2	28.5	17.2
2. 食事介助ができる ④自力での摂食を促し、必要時に介助を行ったか。	51.8	69.3	37.7	14.1
2. 食事介助ができる ⑤食事の量や水分量の記録をしたか。	85.8	89.6	6.4	2.5
3. 口腔ケアができる ①出来る利用者には、義歯の着脱、自分で磨ける部分のブラッシング、その後のうがいを促したか。	60.0	71.2	28.2	17.2
3. 口腔ケアができる ②義歯の着脱の際、利用者に着脱を理解してもらい、口を大きく開けて口腔内に傷をつけないよう配慮しながら、無理なく行ったか。	46.5	47.9	44.2	42.9
3. 口腔ケアができる ③スポンジブラシやガーゼ等を用いた清拭について、速やかに行い、利用者に不快感を与えなかったか。	40.0	44.8	50.0	46.6
3. 口腔ケアができる ④歯磨きや清拭の後、口腔内を確認し、磨き残し、歯茎の腫れ、出血等がないか確認したか。	54.7	69.3	17.2	6.7

### 3) 排泄介助

#### <「できる比率が高い項目」>

##### 「うちトライアル評価」のみ

1.排泄の準備を行うことができる

②排泄介助に当たり、介助内容を伝え、利用者の同意を得たか。(90%以上)

①排泄の間隔を確認したか。(80%以上)

③利用者のADLを把握し、排泄する上で、できる部分は利用者によってもらうようにしたか。(80%以上)

図表 56 排泄介助

	できる		やっていない/実施していない	
	「統合データ」 n=600/ * n=267	「うちトライアル評価」 n=163	「統合データ」 n=600/ * n=267	「うちトライアル評価」 n=163
1.排泄の準備を行うことができる ①排泄の間隔を確認したか。	77.0	83.4	10.0	1.8
1.排泄の準備を行うことができる ②排泄介助に当たり、介助内容を伝え、利用者の同意を得たか。	76.2	90.2	10.8	1.8
1.排泄の準備を行うことができる ③利用者のADLを把握し、排泄する上で、できる部分は利用者によってもらうようにしたか。	69.5	81.0	17.8	8.0
2.トイレでの排泄介助ができる ①トイレ(ポータブルトイレ)で、利用者の足底がついているか、前屈姿勢がとれているか等座位の安定を確認したか。	58.5	69.3	34.2	20.9
2.トイレでの排泄介助ができる ②トイレ(ポータブルトイレ)での排泄の際、カーテンやスクリーンを使用したり、排泄時にはその場を離れ、排泄終了時には教えてくださいと説明する等してプライバシーに配慮したか。	54.0	65.0	34.2	21.5
2.トイレでの排泄介助ができる ③ズボン、下着を下ろす了承を得て、支えながら下ろしたか。	54.7	68.7	35.3	20.2
2.トイレでの排泄介助ができる ④排泄後、利用者にトイレトペーパー等で拭いてもらい、拭き残しがあれば清拭を行うとともに、利用者の手洗いを見守る等により清潔保持をしたか。	51.0	63.2	38.2	22.7
2.トイレでの排泄介助ができる ⑤失禁かトイレでの排泄かや、排泄物の量や性状について記録をしたか。	60.2	68.7	32.0	17.8
2.トイレでの排泄介助ができる ⑥排泄後、利用者の体調確認を行ったか。	42.7	49.1	33.5	17.8
3.おむつ交換を行うことができる ①利用者に尿意、便意の有無、排泄した感じの有無を聞き、おむつ・パッドを換えることなどの介助内容を伝え、承諾を得ているか。	57.8	65.6	29.8	21.5
3.おむつ交換を行うことができる ②おむつ・パッド交換の際、カーテンやスクリーンを使用する等してプライバシーに配慮したか。	64.2	73.6	29.8	20.9
3.おむつ交換を行うことができる ③おむつ・パッドを装着後、衣服、寝具等にしわがないように整えたか。	58.7	68.1	28.3	20.9
3.おむつ交換を行うことができる ④排泄時刻、排泄物の量・性状の異常について記録をしたか。	63.3	66.9	28.5	20.2

#### 4) 移乗・移動・体位変換

##### <「できる比率が高い項目」>

##### 「うちトライアル評価」のみ

##### 1.起居の介助ができる

- ①起きる前に、利用者の疾病等に応じて、体調や顔色を確認したか。(80%以上)

##### <「やっていない/実施していない」比率が高い項目>

##### 2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる

- ④スライディングボードやスライディングシート等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。(80%以上)

##### 3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる

- ⑤移乗用リフト等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。(70%以上)

##### 4.杖歩行の介助ができる

- ①利用者の杖を持つ手と反対側のやや斜め後ろに立ったか。(70%以上)
- ②二動作歩行や三動作歩行の声かけを行えたか。(70%以上)
- ③急がせず、利用者のペースに合った介助・誘導を行ったか。(70%以上)

図表 57 移乗・移動・体位変換

	できる		やっていない/実施していない	
	「統合データ」	「うちトライアル評価」	「統合データ」	「うちトライアル評価」
	n=600/ * n=267	n=163	n=600/ * n=267	n=163
1.起居の介助ができる ①起きる前に、利用者の疾病等に応じて、体調や顔色を確認したか。	69.5	84.7	15.0	4.9
1.起居の介助ができる ②全介助が必要な利用者の上体がカーブを描くように起こしたか。	47.8	61.3	40.0	27.6
1.起居の介助ができる ③一部介助が必要な利用者について、足を曲げてもらう、柵をつかんでもらう等利用者の残存機能を活かしながら起居の支援を行ったか。	51.2	66.9	35.8	17.2
1.起居の介助ができる ④利用者を側臥位にし、テコの原理を活用しながら、無理のない起居の介助を行ったか。	60.2	78.5	28.8	11.7
2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ①介助を始める前に、車いすのフットレストやブレーキに動作不良がないか、車いすにブレーキがかかっているか、フットレストが上がっているか、タイヤの空気が十分かを予め確認したか。	31.2	40.5	48.7	27.0
2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ②利用者に健側の手でベッドから遠い方のアームレストをつかんでもらい、患側を保護しながら前傾姿勢で立ちあがるよう、声かけ、介助を行ったか。	34.0	49.7	54.8	31.9
2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ③利用者の健側の足を軸にして体を回転させて、車いすに移乗することができたか。	39.7	58.3	54.2	32.5
2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ④スライディングボードやスライディングシート等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。	8.5	6.7	86.3	87.1
3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ①介助を始める前に、車いすのフットレストやブレーキに動作不良がないか、車いすにブレーキがかかっているか、フットレストが上がっているか、タイヤの空気が十分かを予め確認したか。	33.2	39.9	49.2	32.5
3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ②移乗がしやすいよう、ベッドの高さを調整するとともに、利用者の足底がついた状態で介助を行ったか。	36.5	52.1	50.2	33.1
3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ③利用者の体と密着させる、利用者の腰に手を回す、利用者に介護者の肩に手をまわしてもらい等、移乗がしやすい体勢をとったか。	43.8	59.5	51.0	35.0
3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ④利用者の体をゆっくりと回転させ、車いすに深く座らせることができたか。	42.5	60.7	51.0	34.4
3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ⑤移乗用リフト等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。	14.0	16.6	81.3	79.1
4.杖歩行の介助ができる ①利用者の杖を持つ手と反対側のやや斜め後ろに立ったか。	12.8	16.6	81.0	75.5
4.杖歩行の介助ができる ②二動作歩行や三動作歩行の声かけを行えたか。	10.9	15.3	80.5	75.5
4.杖歩行の介助ができる ③急がせず、利用者のペースに合った介助・誘導を行ったか。	17.0	19.6	79.3	74.2
5.体位変換ができる ①利用者の膝を立て、テコの原理を活用しながら、体位変換したか。	50.8	66.9	34.5	19.6
5.体位変換ができる ②横向きになることができる人には自力で横になってもらったり、膝を自分で曲げられる人には自分で曲げてもらうなど、利用者の残存機能を活かしながら体位変換したか。	49.2	67.5	38.7	20.2
5.体位変換ができる ③ベッドの下の方にずり落ちた場合には姿勢を正すなど、身体に摩擦を与えないように体位変換したか。	47.0	56.4	35.8	25.8
5.体位変換ができる ④体位変換後、クッションやタオルなどを使用し、安楽な体位保持への介助を行ったか。	55.5	66.9	35.2	20.9

## (5) 入浴介助属性別

### 1) 認知症高齢者の日常生活自立度別

＜認知症高齢者の日常生活自立度別に関わらず「できる比率が高い項目＞

#### 「うちトライアル評価」のみ

##### 1.入浴前の確認ができる

①バイタルサインの測定や利用者へのヒアリング等による体調確認、意向確認を行い、入浴の可否について確認したか。(80%以上)

②バイタルサインや医療職の指示、既往歴などに基づいて、利用者の状態に応じた入浴方法が選択できたか。(80%以上)

##### 2.衣服の着脱ができる

②スクリーンやバスタオル等を使い、プライバシーに配慮したか。(80%以上)

＜「やっていない/実施していない」比率が高い項目＞

##### 4.清拭ができる

①バイタルサインの測定、利用者へのヒアリング等による体調確認の結果や医療職の指示等に基づき、清拭の可否について確認したか。(50%以上)

②スクリーンやバスタオル等を使い、プライバシーや保温に配慮したか。(50%以上)

③末梢から中枢の順番で洗うなど、適切な手順でできたか。(50%以上)

図表 58

	「統合データ」 できる		「うちトライアル評価」 できる		「統合データ」 やっていない/実施していない		「うちトライアル評価」 やっていない/実施していない	
	①Ⅱ以下 n=168 *n=61	②Ⅲ以上 n=379 *n=191	①Ⅱ以下 n=49	②Ⅲ以上 n=100	①Ⅱ以下 n=168 *n=61	②Ⅲ以上 n=379 *n=191	①Ⅱ以下 n=49	②Ⅲ以上 n=100
1.入浴前の確認ができる ①バイタルサインの測定や利用者へのヒアリング等による体調確認、意向確認を行い、入浴の可否について確認したか。	71.4	79.7	83.7	88.0	22.6	10.8	6.1	4.0
1.入浴前の確認ができる ②バイタルサインや医療職の指示、既往歴などに基づいて、利用者の状態に応じた入浴方法が選択できたか。	72.0	75.5	89.8	89.0	22.6	11.3	6.1	4.0
2.衣服の着脱ができる ①体調や気候に配慮しながら、利用者の好みの洋服を選んでもらったか。	52.5	37.7	55.1	45.0	21.3	24.6	14.3	21.0
2.衣服の着脱ができる ②スクリーンやバスタオル等を使い、プライバシーに配慮したか。	85.2	75.4	85.7	83.0	8.2	6.3	6.1	2.0
2.衣服の着脱ができる ③脱衣の際に、健側から患側の順番で行ったか。	73.8	70.2	77.6	78.0	19.7	20.4	14.3	15.0
2.衣服の着脱ができる ④ボタンの取り外し等、自力でできるところは自分で行うよう利用者に促したか。	73.8	58.1	71.4	62.0	11.5	12.0	10.2	9.0
2.衣服の着脱ができる ⑤しわやたるみがないか確認したか。	78.7	70.2	77.6	75.0	6.6	6.3	6.1	2.0
3.洗体ができる ①末梢から中枢の順番で洗い、陰部は健側の手で洗ってもらったか。	55.4	45.6	71.4	61.0	30.4	27.7	8.2	10.0
3.洗体ができる ②浴槽に入る時は、利用者に手すりや浴槽の縁をつかんでもらうとともに、バランスを崩さないよう身体を支え、入浴できたか。	73.8	50.3	79.6	53.0	19.7	41.9	14.3	39.0
3.洗体ができる ③簡易リフト等、入浴機器を用いて入浴した場合、利用者の身体の位置を確認し、手が挟まれる等の事故に注意して、安全に入浴できたか。	34.5	52.5	51.0	67.0	62.5	40.9	42.9	29.0
3.洗体ができる ④入浴後、体調の確認をし、十分な水分補給ができたか。	67.9	70.2	83.7	77.0	24.4	17.9	8.2	3.0
4.清拭ができる ①バイタルサインの測定、利用者へのヒアリング等による体調確認の結果や医療職の指示等に基づき、清拭の可否について確認したか。	32.7	35.6	34.7	35.0	63.1	54.6	55.1	59.0
4.清拭ができる ②スクリーンやバスタオル等を使い、プライバシーや保温に配慮したか。	28.6	37.7	28.6	32.0	62.5	54.1	55.1	60.0
4.清拭ができる ③末梢から中枢の順番で洗うなど、適切な手順でできたか。	29.2	31.7	28.6	31.0	63.1	54.4	57.1	60.0

## 2) 被評価者の介護福祉士資格の有無別

### <被評価者の介護福祉士資格の有無関わらず「できる比率が高い項目」>

#### 「うちトライアル評価」のみ

##### 1.入浴前の確認ができる

- ①バイタルサインの測定や利用者へのヒアリング等による体調確認、意向確認を行い、入浴の可否について確認したか。(80%以上)
- ②バイタルサインや医療職の指示、既往歴などに基づいて、利用者の状態に応じた入浴方法が選択できたか。(80%以上)

##### 2.衣服の着脱ができる

- ②スクリーンやバスタオル等を使い、プライバシーに配慮したか。(80%以上)

### <「やっていない/実施していない」比率が高い項目>

##### 4.清拭ができる

- ①バイタルサインの測定、利用者へのヒアリング等による体調確認の結果や医療職の指示等に基づき、清拭の可否について確認したか。(50%以上)
- ②スクリーンやバスタオル等を使い、プライバシーや保温に配慮したか。(50%以上)
- ③末梢から中枢の順番で洗うなど、適切な手順でできたか。(50%以上)

図表 59

	「統合データ」 できる		「うちトライアル評価」 できる		「統合データ」 やっていない/実施していない		「うちトライアル評価」 やっていない/実施していない	
	①介護福祉士 n=374 *n=172	②資格なし n=226 *n=95	①介護福祉士 n=114	②資格なし n=49	①介護福祉士 n=374 *n=172	②資格なし n=226 *n=95	①介護福祉士 n=114	②資格なし n=49
1.入浴前の確認ができる ①バイタルサインの測定や利用者へのヒアリング等による体調確認、意向確認を行い、入浴の可否について確認したか。	81.3	70.4	86.0	81.6	11.5	19.9	7.9	4.1
1.入浴前の確認ができる ②バイタルサインや医療職の指示、既往歴などに基づいて、利用者の状態に応じた入浴方法が選択できたか。	79.4	65.9	88.6	83.7	12.0	19.9	7.9	4.1
2.衣服の着脱ができる ①体調や気候に配慮しながら、利用者の好みの洋服を選んでもらったか。	46.5	32.6	48.2	49.0	24.4	24.2	21.9	16.3
2.衣服の着脱ができる ②スクリーンやバスタオル等を使い、プライバシーに配慮したか。	78.5	76.8	83.3	83.7	7.6	5.3	4.4	2.0
2.衣服の着脱ができる ③脱衣の際に、健側から患側の順番で行ったか。	72.7	67.4	75.4	79.6	20.9	20.0	17.5	12.2
2.衣服の着脱ができる ④ボタンの取り外し等、自力でできるところは自分で行うよう利用者に促したか。	64.5	56.8	64.0	67.3	12.2	11.6	11.4	6.1
2.衣服の着脱ができる ⑤しわやたるみがないか確認したか。	73.3	70.5	76.3	75.5	7.0	5.3	4.4	2.0
3.洗体ができる ①末梢から中枢の順番で洗い、陰部は健側の手で洗ってもらったか。	51.9	46.5	64.0	61.2	28.3	27.0	12.3	6.1
3.洗体ができる ②浴槽に入る時は、利用者に手すりや浴槽の縁をつかんでもらうとともに、バランスを崩さないよう身体を支え、入浴できたか。	53.5	60.0	60.5	63.3	39.0	32.6	33.3	26.5
3.洗体ができる ③簡易リフト等、入浴機器を用いて入浴した場合、利用者の身体の位置を確認し、手が挟まれる等の事故に注意して、安全に入浴できたか。	48.4	39.8	61.4	55.1	47.3	52.7	34.2	36.7
3.洗体ができる ④入浴後、体調の確認をし、十分な水分補給ができたか。	73.3	66.4	77.2	83.7	16.6	24.3	6.1	6.1
4.清拭ができる ①バイタルサインの測定、利用者へのヒアリング等による体調確認の結果や医療職の指示等に基づき、清拭の可否について確認したか。	41.7	28.8	36.8	28.6	51.9	61.5	56.1	65.3
4.清拭ができる ②スクリーンやバスタオル等を使い、プライバシーや保温に配慮したか。	43.3	26.5	33.3	24.5	51.6	61.1	57.0	65.3
4.清拭ができる ③末梢から中枢の順番で洗うなど、適切な手順でできたか。	39.8	22.6	33.3	22.4	51.6	61.5	57.0	67.3

### 3) 被評価者の現職場の経験年数別

<被評価者の現職場の経験年数に関わらず「できる比率が高い項目」>

#### 「うちトライアル評価」のみ

##### 1.入浴前の確認ができる

- ①バイタルサインの測定や利用者へのヒアリング等による体調確認、意向確認を行い、入浴の可否について確認したか。(80%以上)
- ②バイタルサインや医療職の指示、既往歴などに基づいて、利用者の状態に応じた入浴方法が選択できたか。(80%以上)

<「やっていない/実施していない」比率が高い項目>

##### 4.清拭ができる

- ①バイタルサインの測定、利用者へのヒアリング等による体調確認の結果や医療職の指示等に基づき、清拭の可否について確認したか。(50%以上)
- ②スクリーンやバスタオル等を使い、プライバシーや保温に配慮したか。(50%以上)
- ③末梢から中枢の順番で洗うなど、適切な手順でできたか。(50%以上)

図表 60

	「統合データ」 できる		「うちトライアル評価」 できる		「統合データ」 やっていない/実施していない		「うちトライアル評価」 やっていない/実施していない		
	①3年未満 n=243 *n=154	②3年以上 n=357 *n=113	①3年未満 n=50	②3年以上 n=113	①3年未満 n=243 *n=154	②3年以上 n=357 *n=113	①3年未満 n=50	②3年以上 n=113	
1. 入浴 介助	1.入浴前の確認ができる ①バイタルサインの測定や利用者へのヒアリング等による体調確認、意向確認を行い、入浴の可否について確認したか。								
	74.1	79.3	82.0	85.8	16.0	13.7	6.0	7.1	
	1.入浴前の確認ができる ②バイタルサインや医療職の指示、既往歴などに基づいて、利用者の状態に応じた入浴方法が選択できたか。								
	67.5	79.0	82.0	89.4	16.5	14.0	6.0	7.1	
	2.衣服の着脱ができる ①体調や気候に配慮しながら、利用者の好みの洋服を選んでもらったか。								
	34.4	51.3	42.0	51.3	29.2	17.7	26.0	17.7	
	2.衣服の着脱ができる ②スクリーンやバスタオル等を使い、プライバシーに配慮したか。								
	72.1	85.8	78.0	85.8	9.7	2.7	6.0	2.7	
	2.衣服の着脱ができる ③脱衣の際に、健側から患側の順番で行ったか。								
	64.9	78.8	72.0	78.8	24.0	15.9	16.0	15.9	
	2.衣服の着脱ができる ④ボタンの取り外し等、自力でできるところは自分で行うよう利用者に促したか。								
	57.1	68.1	58.0	68.1	13.6	9.7	10.0	9.7	
	2.衣服の着脱ができる ⑤しわやたるみがないか確認したか。								
	68.8	77.0	74.0	77.0	9.1	2.7	6.0	2.7	
	3.洗体ができる ①末梢から中枢の順番で洗い、陰部は健側の手で洗ってもらったか。								
47.3	51.5	58.0	65.5	23.9	30.5	8.0	11.5		
3.洗体ができる ②浴槽に入る時は、利用者に手すりや浴槽の縁をつかんでもらうとともに、バランスを崩さないよう身体を支え、入浴できたか。									
52.6	60.2	64.0	60.2	39.6	32.7	28.0	32.7		
3.洗体ができる ③簡易リフト等、入浴機器を用いて入浴した場合、利用者の身体の位置を確認し、手が挟まれる等の事故に注意して、安全に入浴できたか。									
45.7	44.8	52.0	62.8	48.6	49.9	42.0	31.9		
3.洗体ができる ④入浴後、体調の確認をし、十分な水分補給ができたか。									
69.5	71.4	82.0	77.9	19.3	19.6	6.0	6.2		
4.清拭ができる ①バイタルサインの測定、利用者へのヒアリング等による体調確認の結果や医療職の指示等に基づき、清拭の可否について確認したか。									
32.5	39.8	26.0	38.1	56.4	54.9	62.0	57.5		
4.清拭ができる ②スクリーンやバスタオル等を使い、プライバシーや保温に配慮したか。									
32.1	40.3	24.0	33.6	55.6	54.9	62.0	58.4		
4.清拭ができる ③末梢から中枢の順番で洗うなど、適切な手順でできたか。									
27.6	37.3	20.0	34.5	56.0	54.9	64.0	58.4		

## (6) 食事介助属性別

### 1) 認知症高齢者の日常生活自立度別

#### <認知症高齢者の日常生活自立度別に問わず「できる比率が高い項目」>

1. 食事前の準備を行うことができる
  - ⑤ 食べやすい座位の位置や体幹の傾きはないか等座位の安定を確認したか。(80%以上)
2. 食事介助ができる
  - ⑤ 食事の量や水分量の記録をしたか。(80%以上)

#### 「うちトライアル評価」のみ

1. 食事前の準備を行うことができる
  - ① 声を掛けたり肩を叩いたりするなどして、利用者の覚醒状態を確認したか。(80%以上)
  - ④ 飲み込むことができる食べ物の形態かどうかを確認したか。(80%以上)
  - ⑥ 顎が引けている状態で食事が取れるようにしたか。(80%以上)

図表 61

	「統合データ」 できる		「うちトライアル評価」 できる		「統合データ」 やっていない/実施していない		「うちトライアル評価」 やっていない/実施していない	
	①Ⅱ以下 n=168 *n=61	②Ⅲ以上 n=379 *n=191	①Ⅱ以下 n=49	②Ⅲ以上 n=100	①Ⅱ以下 n=168 *n=61	②Ⅲ以上 n=379 *n=191	①Ⅱ以下 n=49	②Ⅲ以上 n=100
1. 食事前の準備を行うことができる ①声を掛けたり肩を叩いたりするなどして、利用者の覚醒状態を確認したか。	73.8	84.4	89.8	90.0	22.0	10.3	-	4.0
1. 食事前の準備を行うことができる ②嚥下障害のある利用者の食事にとろみをつけたか。	34.5	47.0	51.0	59.0	61.9	50.4	40.8	38.0
1. 食事前の準備を行うことができる ③禁忌食の確認をしたか。	56.0	52.8	63.3	68.0	31.5	31.7	10.2	12.0
1. 食事前の準備を行うことができる ④飲み込むことができる食べ物の形態かどうかを確認したか。	70.8	76.8	87.8	94.0	22.6	16.1	2.0	2.0
1. 食事前の準備を行うことができる ⑤食べやすい座位の位置や体幹の傾きはないか等座位の安定を確認したか。	86.9	81.7	91.8	90.0	3.3	3.7	-	-
1. 食事前の準備を行うことができる ⑥顎が引けている状態で食事が取れるようにしたか。	59.5	71.8	85.7	86.0	33.9	16.6	4.1	4.0
2. 食事介助ができる ①食事の献立や中身を利用者に説明する等食欲がわくように声かけを行ったか。	53.6	51.7	83.7	69.0	33.3	17.9	-	1.0
2. 食事介助ができる ②利用者の食べたいものを聞きながら介助したか。	31.5	28.8	49.0	58.0	54.2	36.9	24.5	14.0
2. 食事介助ができる ③利用者と同じ目線の高さで介助し、しっかり咀嚼して飲み込んだことを確認してから次の食事を口に運んだか。	65.6	56.0	71.4	73.0	29.5	28.3	22.4	13.0
2. 食事介助ができる ④自力での摂食を促し、必要時に介助を行ったか。	49.4	50.9	75.5	65.0	44.0	35.9	10.2	16.0
2. 食事介助ができる ⑤食事の量や水分量の記録をしたか。	86.9	85.9	87.8	92.0	6.6	6.8	4.1	2.0
3. 口腔ケアができる ①出来る利用者には、義歯の着脱、自分で磨ける部分のブラッシング、その後のうがい促したか。	68.5	54.1	81.6	67.0	25.0	31.1	12.2	20.0
3. 口腔ケアができる ②義歯の着脱の際、利用者に着脱を理解してもらい、口を大きく開けて口腔内に傷をつけないよう配慮しながら、無理なく行ったか。	41.7	48.5	42.9	53.0	51.2	41.2	42.9	41.0
3. 口腔ケアができる ③スポンジブラシやガーゼ等を用いた清拭について、速やかに行い、利用者に不快感を与えなかったか。	31.0	44.3	34.7	53.0	65.5	42.0	59.2	37.0
3. 口腔ケアができる ④歯磨きや清拭の後、口腔内を確認し、磨き残し、歯茎の腫れ、出血等がないか確認したか。	50.0	56.2	59.2	76.0	31.0	10.0	12.2	3.0

## 2) 被評価者の介護福祉士資格の有無別

### <被評価者の介護福祉士資格の有無関わらず「できる比率が高い項目」>

#### 2.食事介助ができる

- ⑤食事の量や水分量の記録をしたか。(80%以上)

### 「うちトライアル評価」のみ

#### 1.食事前の準備を行うことができる

- ①声を掛けたり肩を叩いたりするなどして、利用者の覚醒状態を確認したか。(80%以上)
- ④飲み込むことができる食べ物の形態かどうかを確認したか。(80%以上)
- ⑤食べやすい座位の位置や体幹の傾きはないか等座位の安定を確認したか。(80%以上)
- ⑥顎が引けている状態で食事が取れるようにしたか。(80%以上)

図表 62

	「統合データ」 できる		「うちトライアル評価」 できる		「統合データ」 やっていない/実施していない		「うちトライアル評価」 やっていない/実施していない	
	①介護福祉士 n=374 *n=172	②資格なし n=226 *n=95	①介護福祉士 n=114	②資格なし n=49	①介護福祉士 n=374 *n=172	②資格なし n=226 *n=95	①介護福祉士 n=114	②資格なし n=49
	1.食事前の準備を行うことができる ①声を掛けたり肩を叩いたりするなどして、利用者の覚醒状態を確認したか。	86.1	72.6	93.9	81.6	10.4	20.4	0.9
1.食事前の準備を行うことができる ②嚥下障害のある利用者の食事にとろみをつけたか。	49.5	36.7	56.1	57.1	49.2	58.0	40.4	36.7
1.食事前の準備を行うことができる ③禁忌食の確認をしたか。	59.9	49.1	66.7	69.4	29.1	32.7	11.4	10.2
1.食事前の準備を行うことができる ④飲み込むことができる食べ物の形態かどうかを確認したか。	82.1	63.3	93.9	83.7	13.6	25.2	0.9	4.1
1.食事前の準備を行うことができる ⑤食べやすい座位の位置や体幹の傾きはないか等座位の安定を確認したか。	86.6	76.8	91.2	87.8	1.7	6.3	-	-
1.食事前の準備を行うことができる ⑥顎が引けている状態で食事が取れるようにしたか。	74.6	58.4	86.0	83.7	16.8	29.2	3.5	4.1
2.食事介助ができる ①食事の献立や中身を利用者に説明する等食欲がわくように声かけを行ったか。	57.0	48.2	74.6	69.4	16.6	31.0	-	2.0
2.食事介助ができる ②利用者の食べたいものを聞きながら介助したか。	35.8	26.5	57.9	53.1	35.8	50.0	15.8	24.5
2.食事介助ができる ③利用者と同じ目線の高さで介助し、しっかり咀嚼して飲み込んだことを確認してから次の食事を口に運んだか。	63.4	48.4	71.9	69.4	25.0	34.7	14.9	22.4
2.食事介助ができる ④自力での摂食を促し、必要時に介助を行ったか。	55.9	45.1	71.1	65.3	35.8	40.7	16.7	8.2
2.食事介助ができる ⑤食事の量や水分量の記録をしたか。	84.9	87.4	89.5	89.8	4.7	9.5	1.8	4.1
3.口腔ケアができる ①出来る利用者には、義歯の着脱、自分で磨ける部分のブラッシング、その後のうがいを促したか。	60.4	59.3	68.4	77.6	27.0	30.1	18.4	14.3
3.口腔ケアができる ②義歯の着脱の際、利用者に着脱を理解してもらい、口を大きく開けて口腔内に傷をつけないよう配慮しながら、無理なく行ったか。	46.0	47.3	46.5	51.0	45.5	42.0	44.7	38.8
3.口腔ケアができる ③スポンジブラシやガーゼ等を用いた清拭について、速やかに行い、利用者に不快感を与えなかったか。	43.6	34.1	43.9	46.9	47.3	54.4	49.1	40.8
3.口腔ケアができる ④歯磨きや清拭の後、口腔内を確認し、磨き残し、歯茎の腫れ、出血等がないか確認したか。	61.2	43.8	70.2	67.3	12.6	24.8	7.0	6.1

### 3) 被評価者の現職場の経験年数別

#### <被評価者の現職場の経験年数に関わらず「できる比率が高い項目」>

##### 2.食事介助ができる

- ⑤食事の量や水分量の記録をしたか。(80%以上)

#### 「うちトライアル評価」のみ

##### 1.食事前の準備を行うことができる

- ⑤食べやすい座位の位置や体幹の傾きはないか等座位の安定を確認したか。(90%以上)
- ①声を掛けたり肩を叩いたりするなどして、利用者の覚醒状態を確認したか。(80%以上)
- ④飲み込むことができる食べ物の形態かどうかを確認したか。(80%以上)
- ⑥顎が引けている状態で食事が取れるようにしたか。(80%以上)

図表 63

	「統合データ」 できる		「うちトライアル評価」 できる		「統合データ」 やっていない/実施していない		「うちトライアル評価」 やっていない/実施していない	
	①3年未満 n=243 *n=154	②3年以上 n=357 *n=113	①3年未満 n=50	②3年以上 n=113	①3年未満 n=243 *n=154	②3年以上 n=357 *n=113	①3年未満 n=50	②3年以上 n=113
1.食事前の準備を行うことができる ①声を掛けたり肩を叩いたりするなどして、利用者の覚醒状態を確認したか。	83.5	79.3	94.0	88.5	12.8	15.1	2.0	2.7
1.食事前の準備を行うことができる ②嚥下障害のある利用者の食事にとろみをつけたか。	39.1	48.5	50.0	59.3	57.2	49.3	44.0	37.2
1.食事前の準備を行うことができる ③禁忌食の確認をしたか。	52.7	58.0	70.0	66.4	31.3	30.0	14.0	9.7
1.食事前の準備を行うことができる ④飲み込むことができる食べ物の形態かどうかを確認したか。	73.3	76.2	88.0	92.0	16.9	18.8	2.0	1.8
1.食事前の準備を行うことができる ⑤食べやすい座位の位置や体幹の傾きはないか等座位の安定を確認したか。	77.9	90.3	90.0	90.3	5.8	-	-	-
1.食事前の準備を行うことができる ⑥顎が引けている状態で食事が取れるようにしたか。	68.3	68.6	84.0	85.8	18.5	23.5	-	5.3
2.食事介助ができる ①食事の献立や中身を利用者へ説明する等食欲がわくように声かけを行ったか。	52.7	54.3	68.0	75.2	21.0	22.7	-	0.9
2.食事介助ができる ②利用者の食べたいものを聞きながら介助したか。	26.3	36.4	56.0	56.6	44.9	38.7	22.0	16.8
2.食事介助ができる ③利用者と同じ目線の高さで介助し、しっかり咀嚼して飲み込んだことを確認してから次の食事を口に運んだか。	46.8	73.5	66.0	73.5	37.0	16.8	18.0	16.8
2.食事介助ができる ④自力での摂食を促し、必要時に介助を行ったか。	53.5	50.7	66.0	70.8	35.4	39.2	14.0	14.2
2.食事介助ができる ⑤食事の量や水分量の記録をしたか。	83.8	88.5	92.0	88.5	9.1	2.7	2.0	2.7
3.口腔ケアができる ①出来る利用者には、義歯の着脱、自分で磨ける部分のブラッシング、その後のうがいを促したか。	61.3	59.1	74.0	69.9	25.1	30.3	12.0	19.5
3.口腔ケアができる ②義歯の着脱の際、利用者に着脱を理解してもらい、口を大きく開けて口腔内に傷をつけないよう配慮しながら、無理なく行ったか。	49.4	44.5	46.0	48.7	37.9	48.5	42.0	43.4
3.口腔ケアができる ③スポンジブラシやガーゼ等を用いた清拭について、速やかに行い、利用者に不快感を与えなかったか。	32.5	45.1	34.0	49.6	54.7	46.8	54.0	43.4
3.口腔ケアができる ④歯磨きや清拭の後、口腔内を確認し、磨き残し、歯茎の腫れ、出血等がないか確認したか。	46.5	60.2	70.0	69.0	18.1	16.5	6.0	7.1

## (7) 排泄介助属性別

### 1) 認知症高齢者の日常生活自立度別

<認知症高齢者の日常生活自立度別に関わらず「できる比率が高い項目」>

#### 「うちトライアル評価」のみ

##### 1.排泄の準備を行うことができる

- ①排泄の間隔を確認したか。(80%以上)
- ②排泄介助に当たり、介助内容を伝え、利用者の同意を得たか。(80%以上)

図表 64

	「統合データ」 できる		「うちトライアル評価」 できる		「統合データ」 やっていない/実施していない		「うちトライアル評価」 やっていない/実施していない		
	①Ⅱ以下 n=168 *n=61	②Ⅲ以上 n=379 *n=191	①Ⅱ以下 n=49	②Ⅲ以上 n=100	①Ⅱ以下 n=168 *n=61	②Ⅲ以上 n=379 *n=191	①Ⅱ以下 n=49	②Ⅲ以上 n=100	
3 排泄 介 助	1.排泄の準備を行うことができる ①排泄の間隔を確認したか。	69.0	80.7	83.7	86.0	17.9	6.1	-	2.0
	1.排泄の準備を行うことができる ②排泄介助に当たり、介助内容を伝え、利用者の同意を得たか。	73.8	77.6	98.0	87.0	16.7	7.7	-	3.0
	1.排泄の準備を行うことができる ③利用者のADLを把握し、排泄する上で、できる部分は利用者によってもらうようにしたか。	72.0	67.3	77.6	81.0	19.0	18.2	6.1	10.0
	2.トイレでの排泄介助ができる ①トイレ(ポータブルトイレ)で、利用者の足底がついているか、前屈姿勢がとれているか等座位の安定を確認したか。	55.4	58.6	69.4	70.0	39.3	32.5	18.4	21.0
	2.トイレでの排泄介助ができる ②トイレ(ポータブルトイレ)での排泄の際、カーテンやスクリーンを使用したり、排泄時にはその場を離れ、排泄終了時には教えてくださいと説明する等してプライバシーに配慮したか。	52.4	53.3	69.4	63.0	36.9	33.5	18.4	22.0
	2.トイレでの排泄介助ができる ③ズボン、下着を下ろす了承を得て、支えながら下ろしたか。	51.2	54.6	73.5	68.0	40.5	34.0	18.4	21.0
	2.トイレでの排泄介助ができる ④排泄後、利用者にトイレットペーパー等で拭いてもらい、拭き残しがあれば清拭を行うとともに、利用者の手洗いを見守る等により清潔保持をしたか。	54.2	48.0	75.5	59.0	38.7	38.8	18.4	24.0
	2.トイレでの排泄介助ができる ⑤失禁かトイレでの排泄かや、排泄物の量や性状について記録をしたか。	57.7	61.5	67.3	72.0	35.1	30.9	18.4	17.0
	2.トイレでの排泄介助ができる ⑥排泄後、利用者の体調確認を行ったか。	42.3	41.2	40.8	55.0	36.9	32.7	20.4	16.0
	3.おむつ交換を行うことができる ①利用者に尿意、便意の有無、排泄した感じの有無を聞き、おむつ・パッドを換えることなどの介助内容を伝え、承諾を得ているか。	45.8	62.8	61.2	69.0	45.8	22.2	28.6	16.0
	3.おむつ交換を行うことができる ②おむつ・パッド交換の際、カーテンやスクリーンを使用する等してプライバシーに配慮したか。	45.8	72.3	61.2	82.0	45.8	22.2	28.6	15.0
	3.おむつ交換を行うことができる ③おむつ・パッドを装着後、衣服、寝具等にしわがないように整えたか。	48.8	63.9	61.2	72.0	44.0	20.6	28.6	15.0
	3.おむつ交換を行うことができる ④排泄時刻、排泄物の量・性状の異常について記録をしたか。	49.4	69.4	65.3	68.0	44.0	20.6	26.5	15.0

## 2) 被評価者の介護福祉士資格の有無別

＜被評価者の介護福祉士資格の有無関わらず「できる比率が高い項目」＞

### 「うちトライアル評価」のみ

1.排泄の準備を行うことができる

- ①排泄の間隔を確認したか。(80%以上)
- ②排泄介助に当たり、介助内容を伝え、利用者の同意を得たか。(80%以上)

図表 65

	「統合データ」 できる		「うちトライアル評価」 できる		「統合データ」 やっていない/実施していない		「うちトライアル評価」 やっていない/実施していない	
	①介護福祉士 n=374 *n=172	②資格なし n=226 *n=95	①介護福祉士 n=114	②資格なし n=49	①介護福祉士 n=374 *n=172	②資格なし n=226 *n=95	①介護福祉士 n=114	②資格なし n=49
	1.排泄の準備を行うことができる ①排泄の間隔を確認したか。	82.9	67.3	83.3	83.7	6.4	15.9	0.9
1.排泄の準備を行うことができる ②排泄介助に当たり、介助内容を伝え、利用者の同意を得たか。	79.1	71.2	92.1	85.7	9.4	13.3	1.8	2.0
1.排泄の準備を行うことができる ③利用者のADLを把握し、排泄する上で、できる部分は利用者によってもらうようにしたか。	70.6	67.7	78.1	87.8	18.7	16.4	10.5	2.0
2.トイレでの排泄介助ができる ①トイレ(ポータルトイレ)で、利用者の足底がついているか、前屈姿勢がとれているか等座位の安定を確認したか。	62.3	52.2	71.9	63.3	33.4	35.4	22.8	16.3
2.トイレでの排泄介助ができる ②トイレ(ポータルトイレ)での排泄の際、カーテンやスクリーンを使用したり、排泄時にはその場を離れ、排泄終了時には教えてくださいと説明する等してプライバシーに配慮したか。	56.1	50.4	62.3	71.4	33.4	35.4	23.7	16.3
2.トイレでの排泄介助ができる ③スポン、下着を下ろす了承を得て、支えながら下ろしたか。	56.4	51.8	67.5	71.4	35.0	35.8	23.7	12.2
2.トイレでの排泄介助ができる ④排泄後、利用者にトイレトペーパー等で拭いてもらい、拭き残しがあれば清拭を行うとともに、利用者の手洗いを促す等により清潔保持をしたか。	52.9	47.8	60.5	69.4	37.7	38.9	25.4	16.3
2.トイレでの排泄介助ができる ⑤失禁かトイレでの排泄かや、排泄物の量や性状について記録をしたか。	63.4	54.9	68.4	69.4	30.7	34.1	19.3	14.3
2.トイレでの排泄介助ができる ⑥排泄後、利用者の体調確認を行ったか。	44.9	38.9	50.0	46.9	32.6	35.0	19.3	14.3
3.おむつ交換を行うことができる ①利用者に尿意、便意の有無、排泄した感じの有無を聞き、おむつ・パッドを換えることなどの介助内容を伝え、承諾を得ているか。	60.7	53.1	64.9	67.3	27.0	34.5	21.9	20.4
3.おむつ交換を行うことができる ②おむつ・パッド交換の際、カーテンやスクリーンを使用する等してプライバシーに配慮したか。	68.7	56.6	72.8	75.5	26.7	35.0	21.1	20.4
3.おむつ交換を行うことができる ③おむつ・パッドを装着後、衣服、寝具等にしわがないように整えたか。	62.6	52.2	66.7	71.4	25.1	33.6	21.1	20.4
3.おむつ交換を行うことができる ④排泄時刻、排泄物の量・性状の異常について記録をしたか。	67.6	56.2	67.5	65.3	25.1	34.1	20.2	20.4

### 3) 被評価者の現職場の勤務年数別

<被評価者の現職場の勤務年数に関わらず「できる比率が高い項目>

#### 「うちトライアル評価」のみ

1.排泄の準備を行うことができる

- ①排泄の間隔を確認したか。(80%以上)
- ②排泄介助に当たり、介助内容を伝え、利用者の同意を得たか。(80%以上)

図表 66

	「統合データ」 できる		「うちトライアル評価」 できる		「統合データ」 やっていない/実施していない		「うちトライアル評価」 やっていない/実施していない	
	①3年未満 n=243 *n=154	②3年以上 n=357 *n=113	①3年未満 n=50	②3年以上 n=113	①3年未満 n=243 *n=154	②3年以上 n=357 *n=113	①3年未満 n=50	②3年以上 n=113
1 排泄の準備を行うことができる ①排泄の間隔を確認したか。	74.9	78.4	80.0	85.0	9.1	10.6	6.0	-
1 排泄の準備を行うことができる ②排泄介助に当たり、介助内容を伝え、利用者の同意を得たか。	77.8	75.1	86.0	92.0	8.2	12.6	6.0	-
1 排泄の準備を行うことができる ③利用者のADLを把握し、排泄する上で、できる部分は利用者によってもらうようにしたか。	73.3	66.9	86.0	78.8	11.5	22.1	6.0	8.8
2 トイレでの排泄介助ができる ①トイレ(ポータブルトイレ)で、利用者の足底がついているか、前屈姿勢がとれているか等座位の安定を確認したか。	61.3	56.6	64.0	71.7	26.3	39.5	18.0	22.1
2 トイレでの排泄介助ができる ②トイレ(ポータブルトイレ)での排泄の際、カーテンやスクリーンを使用したり、排泄時にはその場を離れ、排泄終了時には教えてくださいと説明する等してプライバシーに配慮したか。	57.2	51.8	64.0	65.5	28.0	38.4	18.0	23.0
2 トイレでの排泄介助ができる ③スポン、下着を下ろす了承を得て、支えながら下ろしたか。	61.3	50.1	68.0	69.0	28.0	40.3	18.0	21.2
2 トイレでの排泄介助ができる ④排泄後、利用者にトイレペーパー等で拭いてもらい、拭き残しがあれば清拭を行うとともに、利用者の手洗いを促す等により清潔保持をしたか。	53.5	49.3	64.0	62.8	32.1	42.3	18.0	24.8
2 トイレでの排泄介助ができる ⑤失禁かトイレでの排泄かや、排泄物の量や性状について記録をしたか。	65.8	56.3	70.0	68.1	24.7	37.0	14.0	19.5
2 トイレでの排泄介助ができる ⑥排泄後、利用者の体調確認を行ったか。	45.3	40.9	48.0	49.6	26.7	38.1	16.0	18.6
3 おむつ交換を行うことができる ①利用者に尿意、便意の有無、排泄した感じの有無を聞き、おむつ・パッドを換えることなどの介助内容を伝え、承諾を得ているか。	59.3	56.9	66.0	65.5	28.4	30.8	26.0	19.5
3 おむつ交換を行うことができる ②おむつ・パッド交換の際、カーテンやスクリーンを使用する等してプライバシーに配慮したか。	63.0	65.0	70.0	75.2	30.0	29.7	24.0	19.5
3 おむつ交換を行うことができる ③おむつ・パッドを装着後、衣服、寝具等にしわがないように整えたか。	58.8	58.5	72.0	66.4	27.6	28.9	24.0	19.5
3 おむつ交換を行うことができる ④排泄時刻、排泄物の量・性状の異常について記録をしたか。	65.0	62.2	64.0	68.1	27.6	29.1	24.0	18.6

## (8) 移乗・移動・体位変換属性別

### 1) 認知症高齢者の日常生活自立度別

<認知症高齢者の日常生活自立度別に関わらず「できる比率が高い項目」>

#### 「うちトライアル評価」のみ

##### 1.起居の介助ができる

- ①起きる前に、利用者の疾病等に応じて、体調や顔色を確認したか。(80%以上)

<認知症高齢者の日常生活自立度別に関わらず「やっていない/実施していない」比率が高い項目>

##### 2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる

- ④スライディングボードやスライディングシート等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。(80%以上)

##### 3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる

- ⑤移乗用リフト等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。(70%以上)

##### 4.杖歩行の介助ができる

- ①利用者の杖を持つ手と反対側のやや斜め後ろに立ったか。(70%以上)
- ②二動作歩行や三動作歩行の声かけを行えたか。(70%以上)
- ③急がせず、利用者のペースに合った介助・誘導を行ったか。(70%以上)

図表 67

	「統合データ」 できる		「うちトライアル評価」 できる		「統合データ」 やっていない/実施していない		「うちトライアル評価」 やっていない/実施していない	
	①Ⅱ以下 n=168 *n=61	②Ⅲ以上 n=379 *n=191	①Ⅱ以下 n=49	②Ⅲ以上 n=100	①Ⅱ以下 n=168 *n=61	②Ⅲ以上 n=379 *n=191	①Ⅱ以下 n=49	②Ⅲ以上 n=100
	1.起居の介助ができる ①起きる前に、利用者の疾病等に応じて、体調や顔色を確認したか。	69.6	69.9	87.8	84.0	22.0	10.8	2.0
1.起居の介助ができる ②全介助が必要な利用者の上体がカーブを描くように起こしたか。	36.9	51.7	57.1	65.0	54.8	33.8	32.7	24.0
1.起居の介助ができる ③一部介助が必要な利用者について、足を曲げてもらう、橋をつかんでもらう等利用者の残存機能を活かしながら起居の支援を行ったか。	49.4	50.7	71.4	64.0	41.7	33.8	14.3	19.0
1.起居の介助ができる ④利用者を側臥位にし、テコの原理を活用しながら、無理のない起居の介助を行ったか。	52.4	62.8	75.5	83.0	39.3	24.3	14.3	8.0
2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ①介助を始める前に、車いすのフットレストやブレーキに動作不良がないか、車いすにブレーキがかかっているか、フットレストが上がっているか、タイヤの空気が十分かを予め確認したか。	32.7	28.0	44.9	38.0	51.8	48.5	24.5	28.0
2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ②利用者に健側の手でベッドから遠い方のアームレストをつかんでもらい、患側を保護しながら前傾姿勢で立ちあがるよう、声かけ、介助を行ったか。	36.3	30.9	51.0	49.0	55.4	55.7	26.5	34.0
2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ③利用者の健側の足を軸にして体を回転させて、車いすに移乗することができたか。	40.5	37.7	61.2	57.0	54.8	54.9	28.6	34.0
2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ④スライディングボードやスライディングシート等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。	8.3	6.9	6.1	5.0	87.5	87.1	89.8	88.0
3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ①介助を始める前に、車いすのフットレストやブレーキに動作不良がないか、車いすにブレーキがかかっているか、フットレストが上がっているか、タイヤの空気が十分かを予め確認したか。	26.2	38.8	40.8	41.0	64.3	38.3	34.7	28.0
3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ②移乗がしやすいよう、ベッドの高さを調整するとともに、利用者の足底がついた状態で介助を行ったか。	26.2	39.8	44.9	58.0	66.1	42.7	34.7	29.0
3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ③利用者の体と密着させる、利用者の腰に手を回す、利用者に介護者の肩に手をまわしてもらい等、移乗がしやすい体勢をとったか。	29.8	50.1	51.0	68.0	66.1	43.5	34.7	30.0
3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ④利用者の体をゆっくりと回転させ、車いすに深く座らせることができたか。	33.3	46.7	61.2	64.0	64.9	44.3	34.7	30.0
3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ⑤移乗用リフト等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。	10.7	13.7	12.2	17.0	88.1	79.7	83.7	78.0
4.杖歩行の介助ができる ①利用者の杖を持つ手と反対側のやや斜め後ろに立ったか。	16.1	11.3	20.4	15.0	78.6	81.8	69.4	77.0
4.杖歩行の介助ができる ②二動作歩行や三動作歩行の声かけを行えたか。	13.1	9.9	14.3	16.0	75.4	81.7	71.4	76.0
4.杖歩行の介助ができる ③急がせず、利用者のペースに合った介助・誘導を行ったか。	19.6	16.1	22.4	19.0	76.2	80.5	69.4	75.0
5.体位変換ができる ①利用者の膝を立て、テコの原理を活用しながら、体位変換したか。	41.7	54.4	69.4	68.0	45.8	29.8	12.2	20.0
5.体位変換ができる ②横向きになることができる人には自力で横になってもらったり、膝を自分で曲げられる人には自分で曲げてもらうなど、利用者の残存機能を活かしながら体位変換したか。	45.2	49.3	75.5	66.0	48.2	35.6	12.2	22.0
5.体位変換ができる ③ベッドの下の方にずり落ちた場合には姿勢を正すなど、身体に摩擦を与えないように体位変換したか。	43.5	48.5	65.3	54.0	48.2	30.9	20.4	27.0
5.体位変換ができる ④体位変換後、クッションやタオルなどを使用し、安楽な体位保持への介助を行ったか。	44.6	59.9	67.3	68.0	48.2	30.1	16.3	21.0

## 2) 被評価者の介護福祉士資格の有無別

<被評価者の介護福祉士資格の有無に関わらず「やっていない/実施していない」比率が高い項目>

2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる

④スライディングボードやスライディングシート等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。(80%以上)

3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる

⑤移乗用リフト等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。(70%以上)

4.杖歩行の介助ができる

①利用者の杖を持つ手と反対側のやや斜め後ろに立ったか。(60%以上)

②二動作歩行や三動作歩行の声かけを行えたか。(60%以上)

③急がせず、利用者のペースに合った介助・誘導を行ったか。(60%以上)

図表 68

	「統合データ」 できる		「うちトライアル評価」 できる		「統合データ」 やっていない/実施していない		「うちトライアル評価」 やっていない/実施していない	
	①介護福祉士 n=374 *n=172	②資格なし n=226 *n=95	①介護福祉士 n=114	②資格なし n=49	①介護福祉士 n=374 *n=172	②資格なし n=226 *n=95	①介護福祉士 n=114	②資格なし n=49
1.起居の介助ができる ①起きる前に、利用者の疾病等に応じて、体調や顔色を確認したか。	74.3	61.5	86.8	79.6	12.8	18.6	4.4	6.1
1.起居の介助ができる ②全介助が必要な利用者の上体がカーブを描くように起こしたか。	53.5	38.5	64.9	53.1	37.7	43.8	28.1	26.5
1.起居の介助ができる ③一部介助が必要な利用者について、足を曲げてもらう、柵をつかんでもらう等利用者の残存機能を活かしながら起居の支援を行ったか。	53.2	47.8	66.7	67.3	34.8	37.6	18.4	14.3
1.起居の介助ができる ④利用者を側臥位にし、テコの原理を活用しながら、無理のない起居の介助を行ったか。	65.5	51.3	81.6	71.4	26.5	32.7	10.5	14.3
2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ①介助を始める前に、車いすのフットレストやブレーキに動作不良がないか、車いすにブレーキがかかっているか、フットレストが上がっているか、タイヤの空気が十分かを予め確認したか。	32.1	29.6	41.2	38.8	46.8	51.8	28.9	22.4
2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ②利用者に健側の手でベッドから遠い方のアームレストをつかんでもらい、患側を保護しながら前後姿勢で立ちあがるよう、声かけ、介助を行ったか。	35.8	31.0	51.8	44.9	54.3	55.8	33.3	28.6
2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ③利用者の健側の足を軸にして体を回転させて、車いすに移乗することができたか。	41.4	36.7	57.9	59.2	53.2	55.8	33.3	30.6
2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ④スライディングボードやスライディングシート等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。	9.6	6.6	8.8	2.0	86.1	86.7	86.0	89.8
3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ①介助を始める前に、車いすのフットレストやブレーキに動作不良がないか、車いすにブレーキがかかっているか、フットレストが上がっているか、タイヤの空気が十分かを予め確認したか。	34.2	31.4	40.4	38.8	47.1	52.7	34.2	28.6
3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ②移乗しやすいよう、ベッドの高さを調整するとともに、利用者の足底がついた状態で介助を行ったか。	38.0	34.1	50.0	57.1	48.7	52.7	35.1	28.6
3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ③利用者の体と密着させる、利用者の腰に手を回す、利用者に介護者の肩に手をまわしてもらい等、移乗しやすい姿勢をとったか。	47.3	38.1	58.8	61.2	49.2	54.0	36.8	30.6
3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ④利用者の体をゆっくりと回転させ、車いすに深く座らせることができたか。	44.9	38.5	60.5	61.2	48.9	54.4	36.0	30.6
3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ⑤移乗用リフト等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。	15.8	11.1	19.3	10.2	79.4	84.5	78.1	81.6
4.杖歩行の介助ができる ①利用者の杖を持つ手と反対側のやや斜め後ろに立ったか。	10.2	17.3	14.0	22.4	85.0	74.3	78.1	69.4
4.杖歩行の介助ができる ②二動作歩行や三動作歩行の声かけを行えたか。	9.9	12.6	13.2	20.4	82.0	77.9	78.1	69.4
4.杖歩行の介助ができる ③急がせず、利用者のペースに合った介助・誘導を行ったか。	14.2	21.7	18.4	22.4	83.4	72.6	76.3	69.4
5.体位変換ができる ①利用者の膝を立て、テコの原理を活用しながら、体位変換したか。	56.7	41.2	69.3	61.2	30.2	41.6	20.2	18.4
5.体位変換ができる ②横向きになることができる人には自力で横になってもったり、膝を自分で曲げられる人には自分で曲げてもらうなど、利用者の残存機能を活かしながら体位変換したか。	53.2	42.5	66.7	69.4	36.1	42.9	21.9	16.3
5.体位変換ができる ③ベッドの下の方にずり落ちた場合には姿勢を正すなど、身体に摩擦を与えないように体位変換したか。	52.7	37.6	59.6	49.0	30.7	44.2	25.4	26.5
5.体位変換ができる ④体位変換後、クッションやタオルなどを使用し、安楽な体位保持への介助を行ったか。	59.6	48.7	66.7	67.3	30.7	42.5	21.1	20.4

### 3) 被評価者の現職場の経験年数別

#### <被評価者の現職場の経験年数に関わらず「やっていない/実施していない」比率が高い項目>

- 2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる
  - ④スライディングボードやスライディングシート等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。(80%以上)
- 3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる
  - ⑤移乗用リフト等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。(70%以上)
- 4.杖歩行の介助ができる
  - ①利用者の杖を持つ手と反対側のやや斜め後ろに立ったか。(70%以上)
  - ②二動作歩行や三動作歩行の声かけを行えたか。(70%以上)
  - ③急がせず、利用者のペースに合った介助・誘導を行ったか。(70%以上)

図表 69

	「統合データ」 できる		「うちトライアル評価」 できる		「統合データ」 やっていない/実施していない		「うちトライアル評価」 やっていない/実施していない	
	①3年未満 n=243 *n=154	②3年以上 n=357 *n=113	①3年未満 n=50	②3年以上 n=113	①3年未満 n=243 *n=154	②3年以上 n=357 *n=113	①3年未満 n=50	②3年以上 n=113
1.起居の介助ができる ①起きる前に、利用者の疾病等に応じて、体調や顔色を確認したか。	62.1	74.5	76.0	88.5	14.4	15.4	6.0	4.4
1.起居の介助ができる ②全介助が必要な利用者の上体がカーブを描くように起こしたか。	43.6	50.7	52.0	65.5	41.2	39.2	34.0	24.8
1.起居の介助ができる ③一部介助が必要な利用者について、足を曲げてもらう、柵をつかんでもらう等利用者の残存機能を活かしながら起居の支援を行ったか。	50.2	51.8	62.0	69.0	35.8	35.9	20.0	15.9
1.起居の介助ができる ④利用者を側臥にし、テコの原理を活用しながら、無理のない起居の介助を行ったか。	55.1	63.6	70.0	82.3	28.8	28.9	18.0	8.8
2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ①介助を始める前に、車いすのフットレストやブレーキに動作不良がないか、車いすにブレーキがかかっているか、フットレストが上がっているか、タイヤの空気が十分かを予め確認したか。	28.8	32.8	36.0	42.5	46.9	49.9	26.0	27.4
2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ②利用者に健側の手でベッドから遠い方のアームレストをつかんでもらい、患側を保護しながら前後姿勢で立ちあがるよう、声かけ、介助を行ったか。	31.3	35.9	42.0	53.1	51.9	56.9	30.0	32.7
2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ③利用者の健側の足を軸にして体を回転させて、車いすに移乗することができたか。	38.7	40.3	52.0	61.1	51.4	56.0	30.0	33.6
2.一部介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ④スライディングボードやスライディングシート等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。	7.4	9.2	4.0	8.0	85.2	87.1	84.0	88.5
3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ①介助を始める前に、車いすのフットレストやブレーキに動作不良がないか、車いすにブレーキがかかっているか、フットレストが上がっているか、タイヤの空気が十分かを予め確認したか。	28.0	36.7	34.0	42.5	52.3	47.1	38.0	30.1
3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ②移乗しやすいよう、ベッドの高さを調整するとともに、利用者の足底がついた状態で介助を行ったか。	34.2	38.1	52.0	52.2	51.9	49.0	38.0	31.0
3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ③利用者の体と密着させる、利用者の腰に手を回す、利用者に介護者の肩に手をまわしてもらい等、移乗しやすい体勢をとったか。	40.3	46.2	54.0	61.9	52.7	49.9	40.0	32.7
3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ④利用者の体をゆくりと回転させ、車いすに深く座らせることができたか。	39.1	44.8	48.0	66.4	53.1	49.6	40.0	31.9
3.全介助が必要な利用者の車いすへの移乗ができる ⑤移乗用リフト等の福祉用具を用いた移乗の場合、あらかじめ定められた手順・方法に沿って、安全に移乗することができたか。	11.9	15.4	16.0	16.8	84.4	79.3	78.0	79.6
4.杖歩行の介助ができる ①利用者の杖を持つ手と反対側のやや斜め後ろに立ったか。	11.9	13.4	14.0	17.7	80.2	81.5	76.0	75.2
4.杖歩行の介助ができる ②二動作歩行や三動作歩行の声かけを行えたか。	7.8	15.0	16.0	15.0	83.8	76.1	74.0	76.1
4.杖歩行の介助ができる ③急がせず、利用者のペースに合った介助・誘導を行ったか。	17.7	16.5	20.0	19.5	78.2	80.1	74.0	74.3
5.体位変換ができる ①利用者の膝を立て、テコの原理を活用しながら、体位変換したか。	48.6	52.4	64.0	68.1	35.0	34.2	24.0	17.7
5.体位変換ができる ②横向きになることができる人には自力で横になってもらったり、膝を自分で曲げられる人には自分で曲げてもらうなど、利用者の残存機能を活かしながら体位変換したか。	46.1	51.3	58.0	71.7	37.4	39.5	26.0	17.7
5.体位変換ができる ③ベッドの下の方にずり落ちた場合には姿勢を正すなど、身体に摩擦を与えないように体位変換したか。	41.2	51.0	50.0	59.3	39.5	33.3	36.0	21.2
5.体位変換ができる ④体位変換後、クッションやタオルなどを使用し、安楽な体位保持への介助を行ったか。	54.7	56.0	64.0	68.1	34.2	35.9	22.0	20.4

## IV. 検討委員会における議論のまとめ

### (1) キャリア段位制度に係わるこれまでのデータを用いた分析データの作成プロセスから得られた課題

キャリア段位制度については、今後もデータに基づいた介護技術評価項目の精査や制度の改正が重要と考えられる。

今年度の研究事業において、これまで収集したアセッサー講習会において収集したトライアル評価結果を含めた評価データを分析可能なデータベースとして整備したが、トライアル評価において被評価者の属性を収集していないこと、そして、評価対象利用者を5名まで設定していることが評価データのデータベース整備にあたっての課題となっていた。

トライアル評価については、事業者、アセッサー、被評価者、利用者の四つの属性との関連からその妥当性を検証していくことが求められることから、上記の課題を克服する様式に修正すべきと考えられ、これらのデータを事業実施主体が管理できるようシステムの構築を行うべきと考えられた。

### (2) データ分析による介護技術評価項目の修正および構成変更の必要について

今年度のデータ分析の結果、通過率が高い項目、項目間の相関が高い項目、未実施率が高い項目などが、現行の介護技術評価に含まれていることが明らかになった。

検討委員の専門的な知見からデータ分析を踏まえた技術評価項目の修正の視点が提示された（P32参照）が、評価のブレをなくすためには、項目の加除の他にも、介護技術評価項目の構造の再検討、文言の微修正を行う必要があると考えられた。

### (3) 今後の課題

今年度実施した評価データの分析より、利用者の状態ごとに介護技術評価項目ごとの通過率が異なってくる傾向が示された。

とりわけ、認知症の症状がある要介護高齢者等に対する介護技術の提供については、現場からの追加の要望が高く、これらに関する評価項目の追加が必要と考えられた。